公立大学法人
福井県立大学
Fukui Prefectural University

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL. 0776-61-6000　FAX. 0776-61-6011
https://www.fpu.ac.jp/

WEBサイト　Twitter　Facebook

FUKUI PREFECTURAL UNIVERSITY CAMPUS GUIDE 2024

福井県立大学 大学案内 2024

# 福井県立大学 2024

## Fukui Prefectural University

大学案内
CAMPUS GUIDE

# 福井県立大学は、
# 志を持って挑むあなたを
# 全力でサポートします

**北陸新幹線 2024年春 福井・敦賀開業!**

首都圏、信越、北陸との
移動時間がぐっと短縮し、
往来や帰省が
しやすくなります。

CONTENTS


**福井県がまるごとキャンパス** 04
**学長からのメッセージ** 05
**福井県立大学 学科TOPICS** 06

**学部等紹介**
- 経済学部 10
- 生物資源学部 20
- 海洋生物資源学部 30
- 看護福祉学部 40

学術教養センター 50
情報センター 53
大学院 54
研究所等 58
国際交流・留学サポート 62
キャリアサポート・就職支援 64

CAMPUS LIFE
クラブ・サークル紹介 68
永平寺キャンパス 70
あわらキャンパス 72
小浜キャンパス 74
かつみキャンパス 76
学生生活サポート 78

DATA
沿革・組織図 80
入試 DATA 81
大学 DATA ACCESS MAP 82


360° VIEW

**『 360° view 』で施設を体感！**

スマートフォンを使って大学内の施設を
360度全方位ビューで体感できます！

# 福井県がまるごとキャンパス

❶ 透明度の高いことで有名な小浜市内の海水浴場
❷ 樹上に広がる森のジャングルジム ツリーピクニックアドベンチャーいけだ
❸ 世界三大恐竜博物館の一つ 福井県立恐竜博物館　❹ “禅の里”大本山永平寺の旧参道
❺ 福井を代表する眼鏡産業

## 地域と連携し、福井で学ぶ

県大では、キャンパスがある永平寺町や小浜市、あわら市と連携し、地域の特色を実際に現地で学ぶ授業を実施しています。また3市町以外の県内の各地域にも出向き、地域が抱える課題の解決を探る授業などキャンパスの外に出てフィールドで学ぶ授業を豊富に提供します。そのほか、県内企業の社長をはじめ各分野のプロを特任講師等にお願いして実践に強い授業を用意。地域と連携した学びを展開しています。

特任講師による6次産業化の授業

地域の企業を訪問し、経営学の理論と実践を学ぶ

地域の人々から永平寺町について学び、冊子を作成

越前水仙の産地で地域活性化策を検討し、住民に提案

## 豊かな県土と県民とのふれあいから学ぶ

県大は、福井の持続可能性を支える大学を目指して、開かれた大学「オープン・ユニバーシティ」の理念を掲げています。

### 福井県立大学 オープン・ユニバーシティ

**県民のにわ**

キャンパスを県民に広く開放し、多彩な県民が集い交流できる、楽しく創造的な活動拠点です。

**県民の学び**

県民向けの生涯学習の公開講座を行っています。また、学生と同じ授業を受講できる「聴講生」制度もあります。

**県民・地域とのつながり**

県内外のあらゆる自治体や企業・団体とのネットワークを強化し、県民のあらゆるニーズに応える大学を目指します。



## 学長からのメッセージ

学長／農学博士　岩崎（いわさき） 行玄（ゆきもと）

PROFILE
愛知県生まれ。1992年福井県立大学開学時に講師として着任。生化学・分子生物学の講義および化学実験、分子生物学実験を担当。イネ種子の大きさ、草丈を決定する遺伝子・タンパク質の研究に関する多数の研究実績を持つ。

# 皆さんの挑戦を支援します

**福井県立大学は、皆さんが学んだ知識を基に、皆さん自身が、直面する課題や突発的に発生した難題に向き合い、自分なりの解決策を提案できる力を身につけることを支援します。**

### やる気（motivation）と志（ambitious）

「絶対に合格したい」など、具体的な目標がある皆さんは、「やる気（motivation）が高い」と言われます。時間を区切って具体的な目標を設定することは、人の成長に極めて効果的です。試験に向かっての努力、進路を考える経験、両親や先生方と話し合ったことなどは、重要な体験です。しかし、目標を入試の合格に限定すると、入学後に目的を失ってしまう人がいます。

日本語には、「やる気」のほかに「志」という言葉があります。私は、「志」には「やる気」に加え、人生の長い道のりを考えたり、社会に貢献したいという気概が含まれると思っています。安全安心な食品を提供したい、難病治療薬を開発したい、困っている人を助けたい、教師になりたいなど、いろいろな「志」があろうかと思います。福井県立大学は、「やる気」とともに皆さんの「志」も大切にします。

### 多様な課題に対処する能力は、座学と体験学習の繰り返しで開発される

福井県立大学は、講義とともに、演習、実習、フィールドワーク、インターンシップなどの体験学習の充実に努めています。皆さんがプロフェッショナルを目指したり、人間力を高めるには、知識を修得する座学と体験学習を交互にバランスよく繰り返すことが必要だと確信しています。座学と体験学習の繰り返しで、自分に合った分野・将来を見つけてください。

### 福井県立大学は、“一芸”も支援

福井県立大学は、クラブ、サークル、留学、ボランテイア活動などの活動も、積極的に支援します。「一芸で身を立てる」とは、高みにたどり着いた芸そのものも重要ですが、芸を求める“過程”に大きな意義があると思います。一芸に励む過程で社会性が身につき、粘ることを覚え、人間力が総体的に向上すると思います。福井県立大学は、“勉学”と“一芸”を共に奨励し、皆さんの成長を支援します。

## 2025年4月、県大に国内初の恐竜学部（仮称）が誕生します！

福井県の豊かな自然を活かし、県を代表する恐竜や、地質・古気候学などについて学びます。また、学術研究拠点として、恐竜学や地質学に関する人材育成・研究を進めるとともに、我が国のオンリーワン、ナンバーワンの学部として、福井県をより一層盛り上げます。

※学部の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。

福井県大学

# 学科TOPICS

福井県立大学の4学部8学科について、
最新のニュースや特長的な授業を紹介！

## 経済学部

### 経済学科／経営学科

2つのコース！
データ利活用(DU)コース
フィールドワーク(FW)コース

#### 2023年4月 新たにコース制スタート！

経済学部では、系統的な履修プロセスを通じた学びを充実させることを目的として、「データ利活用(DU)コース」と「フィールドワーク(FW)コース」の2つのコースから成るコース制を開始しました。1年次に、経済学・経営学の学問的な基礎を固めた後、2年次からコースを選択し、応用力の向上を意識した学びにつなげていきます。

データ利活用(DU)コースでは、統計ソフトの操作や会計情報の読解にとどまらず、経済や経営に関する諸課題の原因を探り、解決するための発展的応用力の修得を目指します。データ利活用（DU）コースでの学びを通じて、表面的事実に流されたり、印象論だけで終わることなく、必要なデータを収集し、適切な手法で解析することで具体性を持った提案ができる能力を身に付けていきます。

フィールドワーク(FW)コースでは、豊かな地域資源を活かして理論と実践とを高度に融合し、実践で活用できる「生きた経済学・経営学」を学修することを目指します。フィールドワーク(FW)コースでの学びを通じて、課題設定から実態調査、分析、考察、フィードバックまで一連のプロセスを実践的に経験することで、社会に出てからも活かせる能力を身に付けることができます。

そして、3年終了時にコース修了認定を行うことで、就職、大学院進学、起業などにつなげていきます。

経済学科 PAGE 12　経営学科 PAGE 16

## 生物資源学部

### 生物資源学科

#### 情報技術を駆使して生命現象を理解する

情報技術の活用は、生命科学の分野においても重要です。新設の授業「情報生物学」では、遺伝子・ゲノム情報などのビッグデータを学習材料に、専門的な解析手法を演習形式で学びます。例えば、ノートPCを大型計算機（サーバ）に接続し、さまざまな生物のゲノム情報を用いて遺伝子の機能予測や、発現量の計算を行います。プログラミング言語も学習できます。

生物資源学科 PAGE 22

### 創造農学科

県大マルシェ
初開催 大成功！

創造農学科の学生が主体となり、県大で開発され福井県内で生産された農産物等を販売する県大マルシェ。企画から販売までを学生が一貫して行うことにより、農産物販売の得難い教育環境の場となりました。

#### 学生主体で企画、販売！

創造農学科では、最先端の栽培技術を用いて農作物の栽培実習を行っています。それらの農作物はこれまで学内外に無償で配布していましたが、2022年度から、「販売実習」として学生が販売し収益を得るしくみを作りました。生産実費がどれくらいになるのか、収益をどれくらいにして販売価格を決めるのか、それをどのように販売するのか、全てが実習です。生産から販売まで携わり、実際に売り上げ金を集計するところまで実施するので、教育効果は抜群です！

創造農学科 PAGE 26

キャベツ販売実習の
動画はこちら

# 海洋生物資源学部

## 海洋生物資源学科

### 水圏の生物・環境・食について、フィールドに出て学ぼう！

2年次で行うフィールド演習IIでは世界のあらゆる海域で調査・研究を行っている船に乗り、海洋物理学・化学・生物学的な調査を経験します。調査内容や調査船の役割、海洋調査が社会とどのように関連するかを学習し、海洋学や地球環境を学習する意義について深く考えます。

海洋生物資源学科 PAGE 32

北海道大学水産学部付属の練習船「おしょろ丸」を共同利用して、2泊3日で実習を行います。水質調査、微生物観察、魚釣り、魚捌き実習、ロープワークと盛りだくさんです。
※天候などの条件により調査項目は年によって異なります

## 先端増養殖科学科

### 水産増養殖の幅広い分野を体験し、その潜在力を考える

水産増養殖は、食料資源の安定供給に貢献するだけでなく、地域経済の振興や地域文化の伝承、環境保全という役割も担っています。1年次に実施する海洋生物資源学フィールド演習では、水産増養殖と社会のつながりを実際に体験することで、水産増養殖の潜在力を考えるきっかけになることを目指しています。写真は、九頭竜川でのアユの資源増殖に関する実習の風景です。実習では、投網を使って産卵親魚を捕獲し、自らの手で人工授精を行います。もちろん、実習後には、ありがたくアユをいただきます。実習を通して、なぜアユの増殖事業が必要なのか、地域産業とどのように関わっているのか、今後の事業の課題は何かなど、アユを題材に水産増養殖の可能性について考え、議論します。

先端増養殖科学科 PAGE 36



# 看護福祉学部

## 看護学科

### 緩和ケアを領域横断型カリキュラムで学ぶ

緩和ケア論では、小児から高齢者まで全人的苦痛（身体的苦痛だけでなく精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛）を持つ方にQOLの維持向上を目的として苦痛を緩和し、その人らしく最期まで生活することを支える知識と技術を学びます。

これまでは、ライフサイクルごとの領域で学修していましたが、2022年度からのカリキュラム改正に伴い、成人、老年、母子、精神、在宅看護の領域横断の考え方に基づいた柔軟なカリキュラムを実施します。看護の対象の特性にあわせて包括的かつ継続的な看護を学修できるようにそれぞれの専門領域の教員による講義・演習を楽しみにしてください。

看護学科 PAGE 42

## 社会福祉学科

**県社協とのコラボ企画**

社会福祉学科の学生が福井県社会福祉協議会の実施する「福幸チャレンジ2022」とコラボレーションしました。

### 学生の感性×実践者の想い 新たな視点から福祉の魅力を発信

社会福祉学科の学生が、福祉業界のイメージアップを図ることを目的に、福井県社会福祉協議会との協働企画にチャレンジしました。この企画では、コロナ禍においても福祉を止めなかった福祉関係者の実践について、学生がその活動への想いや利用者（対象者）に対して大切にしていることなどを取材し、そのことが広く県民に福祉の魅力として「伝わる」ように広報内容・方法を検討しました。そして成果報告会では、実際に自分たちで作成した広報媒体（例：福祉施設のインスタグラムの立ち上げ・ポスター作成、紙芝居の作成、チラシの作成など）を紹介しました。この活動を通して、学生たちは実践者の語りから「お互いに成長すること」、「伝え合うこと」、「地域でつながること」の大切さを学びました。

社会福祉学科 PAGE 46

社会福祉協議会との協働企画の動画はこちら

# 経済学部

Faculty of Economics

経済学科／経営学科

## 経済学部の特長 -Features-

### 1 個性豊かな教員による きめ細やかな指導

専攻分野も経歴も個性も様々な教員が在籍し、少人数教育のメリットを最大限生かしたきめの細かい指導を行います。一人一人の興味や好奇心を満たし個性を伸ばしてくれる教員との出会いがきっとあります。

### 2 双方向性の強い 多彩な教育の場

講義や演習（ゼミ）という基本的なプラットフォームの中で、アクティブ・ラーニングの場を多く提供します。議論参加型の講義、フィールドワーク、プレゼンテーション、実験など、あなたを巻き込む授業が多数あります。

### 3 学科の垣根を越えた 総合的な学修

募集は学科ごとですが、カリキュラムは相互乗り入れしており、両学科の科目が履修可能です。経済と経営を総合的にとらえるために、特定の分野に閉じこもらない多様な観点の獲得を目指します。

## 学部の概要 -Overview-

### 自らの進路を切り開くことができる 自立した個人になる

経済学・経営学を学ぶことは、社会を冷静に眺めることの第一歩です。少子高齢化が進む中でどのように地域を活性化していくのかという身近な問題から、国家という枠組みを超えていくGAFAのようなプラットフォーマーとどう付き合うかという問題まで、私たちの社会には課題が山積しています。こういうときこそじっくりと腰を据えて、何が起きているのかを自分の頭で考える必要があります。本学部で経済学・経営学を学び、地に足のついた視点を身に付けることで、自立した個人へと成長することができます。

経済学部

# 経済学科

経済学科では、マクロ経済学とミクロ経済学を基礎として、古今の学説や経済活動の歴史、経済政策の手段とその効果、地域や国際経済などへの理解を深め、詳しく分析するための、オーソドックスでありながらもしっかりとした体系のカリキュラムを準備しています。そして、講義だけでなくフィールドワークや少人数でのゼミを通じて、主体的で対話的な深い学びを実践しています。ぜひ色々な考え方に触れながら社会への見識を広め、自ら考え行動する力を養ってください。

## 学びのポイント -Point-

### 1 オーソドックスな体系が応用力を高める

経済学科のカリキュラム体系は、非常にオーソドックスです。しかし、経済学という学問を体系的に基礎からしっかりと学ぶことで、思考力や判断力が養われ、応用力も身に付いていきます。

### 2 少人数教育

3、4年次のゼミは1ゼミ8 ～ 13人となっています。個性豊かな教員が少人数教育のメリットを最大限に活かした、きめ細かい指導を行います。必然的にそこでのコミュニケーションは加速し、主体的、対話的な深い学びの場となります。

### 3 理論と現実のバランスが身に付く

経済は教室で一方的に講義を聞いているだけで理解できるものではありません。経済学科にはフィールドワークを実践する先生も多く、理論と現実をバランス良く学ぶことができます。

### 4 垣根を超えた経営学科とのつながり

経営学総論、企業論、簿記原理など、経営学科との共通の履修科目があります。両学科の垣根を超えて、多様な視点から経済学を学ぶことができます。

## 学科の特長 -Features-

経済学科の特長は、理論や歴史、政策、統計や情報、国際などの領域について、経営や法律などの視点も含めて学ぶことができる、オーソドックスでありながらも充実したカリキュラムにあります。この履修プロセスに沿った学びを通じて、「経済成長と経済格差」、「財政・金融と社会保障」、「グローバル経済と地域経済」、「環境問題と経済活動」など、経済活動に関する様々な問題を分析するための

- 経済社会の仕組みを把握する力
- 分析能力と政策判断力
- 自ら主体的に考え、具体的に取り組む力

を身に付けていきます。これらは社会に出てからも皆さんを支える力になってくれるでしょう。





## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

| | 1年次<br>経済学の基礎理論を学ぶ<br>経済学の基礎理論を必修として履修し、2年次からの専門的な学びに備えます。経営学総論、企業論、簿記原理など経営学科の科目も用意し、垣根を越えた学修ができます。 | 2年次<br>専門分野への本格的参入<br>専門科目の分野が一気に増えます。さらに、文献講読や資料解析、フィールドワークを実践する科目なども加わり、経済学の世界がぐっと広がります。自分の興味関心に沿って履修する科目を決め、内容について深く理解していくことになります。3年次から始まるゼミに備えて、専門分野を意識する学年です。 | 3年次<br>ゼミを中心に研究への導入<br>演習I(ゼミ)が中心です。全教員により開講されるゼミに分かれて、専門分野の研究を掘り下げていきます。文献や資料を精読し、分析に必要な知識やスキルも蓄えていきます。本格的な研究に取り組むと共に、卒業論文の準備を行う期間です。 | 4年次<br>研究活動の総仕上げに向けて<br>演習II(ゼミ)が中心です。これまでの講義やゼミで身に付けた知識とスキルを駆使し、自らの問題意識に沿った研究を進め、成果につなげていきます。最終的には卒業論文などの形で完成させることになるでしょう。 |
|---|---|---|---|---|
| 理論・歴史 | ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ<br>マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ<br>経済数学、西洋経済史 | マクロ経済学Ⅲ<br>世界経済論、政治経済学<br>経済学史、日本経済史 | アジア経済史 | |
| 政　策 | | 経済政策、産業組織論、財政学<br>中小企業論Ⅰ・Ⅱ、金融論<br>国際経済学A・B、社会保障論、労働経済学<br>文化経済学、農業生産・流通政策論、<br>公益事業論、地域マネジメント論 | 地方財政論、地域経済論、農業経済学、環境経済学、応用経済学 | |
| 統計・情報 | 統計学 | 計量経済学 | | |
| 国　際 | | 中国経済論、アジア経済論、ロシア経済論 | 開発経済論、移行経済論 | |
| 経　営 | 経営学総論Ⅰ・Ⅱ<br>企業論、簿記原理 | 会計学Ⅰ・Ⅱ | | |
| 法　律 | | 権利擁護を支える法制度<br>会社法、取引法 | | |
| 外書・演習 | | 基礎ゼミ、外書講読Ⅰ | 外書購読Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文 | |
| 現代社会とその課題 | 特別企画講座A<br>経済学特講A | 特別企画講座B・C・D<br>経済学特講B・C・D | 特別企画講座E・F・G<br>経済学特講E・F・G | |
| その他の科目 | キャリアデザイン概論I・II | 福祉のまちづくり論<br>キャリアデザイン特論 | 社会的企業論 | |

PICK UP CLASS

### グループ研究を通して学ぶ

#### インターゼミナール・コンテスト

経済学部教員有志

毎年3年生の演習参加者がグループ研究の成果を披露し合うインターゼミナール・コンテストは、経済学部の名物企画の一つとなっています。指導教員の研究スタイルごとに様々なテーマや問題意識にもとづくユニークな共同研究が発表され、参加者同士で評価し合うコンテストです。先行研究の文献渉猟、フィールドワークや実験など、様々な手法を駆使した研究を通して、論理的で説得力のある表現を学ぶと同時に、グループワーク・マネジメントを経験する貴重な機会となっています。

### 世界とつながる地域課題

#### 演習Ⅰ、Ⅱ（財政学演習）

桑原（くわはら） 美香（みか） 教授

例えば身近な電気・エネルギーや水道、道路などのインフラも、世界の問題と繋がっているということを学んでいます。経済だけでなく、地理や歴史、政治や文化など広く学んでおくことで課題の本質に気付けると思います。そのために、国内外の外部講師から直接お話を伺ったり、現地視察や合宿、他大学等とワークショップをしたり、様々な機会を設けていますので、対話を通して主体的に考える力を養うことができます。

インタビュー動画はこちら▶

interview 在学生インタビュー

## 福井との強い繋がりの中で県大ならではの学びを実感！

経済学科
**高間 光汰**（たかま こうた）さん　福井県立福井商業高等学校出身

地域活性化に興味があり、福井について深く知ることで地元をもっと盛り上げたいと思い県大の経済学科へ。「福井を学ぶ」という講義があったり、フィールドワークで自分の足で地域の現状を体感できたりと、福井との強い結びつきの中で、よりリアルな経済を主体的に学べている実感があります。

所属するゼミでは、東京オリンピックやエンタメ市場について「コロナ禍の影響により経済効果（損失）はどの程度受けたか」という研究を行いました。少人数のゼミなので先生は一人一人をしっかりサポートしてくださり、就職活動のアドバイスなどもいただけてとても心強かったです。今は卒業論文に奮闘中。興味のあるテーマを自由に設定できるので、「コーヒーの2050年問題」をテーマに調査を進めています。資料収集には苦戦していますが、知りたい情報にたどり着けた時にはとても嬉しく、大変ながらもやりがいを感じています。

卒業後は営業職に就く予定です。いずれ経営企画に携わり会社の中心となって活躍できるよう、学んだことを活かしていきたいです。県大は人との関わりが深いのが魅力。刺激あふれる4年間を過ごしてください。

interview 卒業生インタビュー

## 自分で考え、学ぶ姿勢を大学も全力でサポート

株式会社オーディオテクニカフクイ 勤務
**青木 花蓮**（あおき かれん）さん　2021年度卒業

商業高校で学んだことをさらに深めたいと思い経済学科へ進学しました。

在学中はアメリカとフィリピン、2回の留学を経験し、語学力だけでなく主体的に行動する力も身に付きました。卒論では日本の外国人労働者について研究しました。問題を整理して情報を探し、疑問を一つずつ解消しながら論理的にまとめる過程が面白く、自分の考えを相手に伝わるように言葉にする力が身に付いたと思います。また、グループで取り組むゼミコン（研究の発表会）では、色々な人の意見や伝え方に触れ、自分の思う正しさしか見えていなかったことに気付かされました。

現在はメーカーの生産管理課でたくさんの人と関わりながら仕事をしていますが、県大で得た物事を多角的に見て考えるスキルや人との関わり方は、今の仕事にも役立っていると感じます。

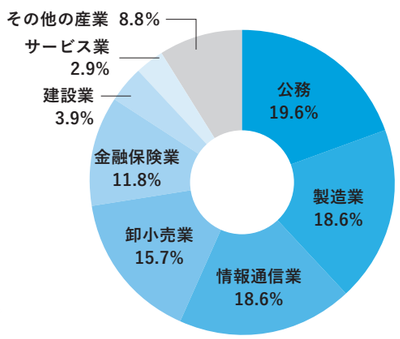
さまざまなアルバイトも経験し、自分の個の力を高めることに注力した大学生活だったと思います。高校までと違って何をするにも自由であるからこそ、どんな4年間にするかは自分の頑張り次第です。先生も職員の方も、自ら学ぼう、頑張ろうとする学生には親身にサポートしてくださるので、実りある大学生活にしてください。

## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

**98.1%**

就職 94.4%　進学 1.9%　その他 3.7%




### キャリア展望

- **企業**
  金融・保険、製造業、卸小売業、サービス業、運輸業、電力・ガス会社、情報通信、商社、航空、旅行、マスコミなど
- **NPO、NGO、農協、生協、大学法人職員**
- **中小企業診断士・経営コンサルタント**
- **税理士**
- **公認会計士**
- **ファイナンシャルプランナー**
- **証券アナリスト**
- **国家・地方公務員**（行政職・警察官など）
- **高等学校教員**

### 卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

［製造業］福井村田製作所、ウラセ、ギャレックス、酒井化学工業、TOP、松浦機械製作所、小野谷機工、キョーセー、小松ウオール工業、前田工繊、セーレン　など
［卸小売業］ゲンキー、興和江守、クスリのアオキ、イガラシ、ローソン　など
［金融保険業］福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行、福邦銀行、北陸労働金庫、今村証券、越前信用金庫、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、富山信用金庫、八十二銀行　など
［情報通信業］三谷コンピュータ、天晴データネット、石川コンピュータ・センター、共同コンピュータ、ALL CONNECT、ビジュアルソフト、SCSKニアショアシステムズ、NTTデータ北陸、カーネル・ソフト・エンジニアリング、データシステム、福井新聞社　など
［サービス業］税理士法人合同経営会計事務所、税理士法人上坂会計、福井県民生活協同組合、税理士法人日本綜研、福井商工会議所　など
［公務］福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部、金沢国税局、名古屋国税局、財務省四国財務局、三重労働局、北陸地方整備局、富山地方検察庁、石川県庁、富山県庁、福井市役所、越前市役所、あわら市役所、坂井市役所、加賀市役所　など
［進学］福井県立大学大学院　など

### 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（公民/商業）
  ※教職課程の単位を修得することにより得られる。

経済学部

# 経営学科

福井には高い技術を持ち付加価値の高い製品を生み出す、キラリと光る強みを持つ企業が多くあります。産業界とも連携しながら、「生きた教科書」に実際に触れて、肌で感じながら学ぶ機会を多く設けています。一方で、基礎理論を学ぶことも重視しており、経済学科とも連携しながら、経営学、商学、会計学、情報分野などの幅広い分野を学ぶことができます。地域性を活かし楽しみながら理論と応用・実践をバランスよく学ぶことができる「福井で学ぶ、福井でしか学べない経営学」を、一緒に学んでいきましょう。

## 学びのポイント -Point-

### 1 多様なバックグラウンドを持つ教授陣

経営学科には社会人経験を持つ教員や外国人など、様々なバックグラウンドを持つ教授陣がいます。体験に裏打ちされた理論の講義は皆さんの興味をひくことになるでしょう。

### 2 少人数教育

少人数教育を掲げる県大の演習は、例えば標準的な高校のクラス人数の5分の1から10分の1の人数で行われます。必然的にそこでのコミュニケーションは加速し、また主体性が身に付くことになります。

### 3 地域の協力に基づくフィールドワーク、外部講師

講義や演習では地域と積極的に連携し、多彩なゲストスピーカーをお招きしたり、企業訪問を行うなどの実践的教育を積極的に展開しています。単にそれを聞きっぱなしにすることなく、学問体系とそれを結びつけていきます。

### 4 他大学との交流、大学院生との交流

京都の大学、岩手の大学との合同ゼミも行っています。ネットを使った遠隔開催となりましたが、ICTを使って、他の大学や他地域との交流を深めています。

## 学科の特長 -Features-

経営学科では、以下の4つの領域について学びます。

**企業経営に必要な経営管理**
経営学総論、経営戦略論、人的資源管理論、経営組織論、生産管理論、流通論、マーケティング論、消費者行動論、広告論、会社法、取引法

**企業の構造・理論・形態**
企業論、中小企業論、非営利組織論、欧米企業論、社会的企業論、産業組織論、地域経済論、国際経済論、西洋経営史、日本経営史

**ICTの高度化と情報管理**
経営情報論、情報管理論、統計学、情報基礎演習、情報科学、情報処理　※一般教育科目含む

**経営状況を把握する会計・財務**
簿記原理、簿記論、原価計算論、会計学、経営分析論、管理会計論、税務関係論、財政学、金融論





## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|
| | **経営学の基礎理論を学ぶ**<br>経営学の基礎理論を必修として履修し、2年次からの専門的な学びに備えます。ミクロ・マクロ経済学など両学科に共通した科目も用意されており、学科の垣根を越えた学修ができます。 | **本格的に専門分野を学ぶ**<br>本格的に専門科目を学ぶことになります。また、少人数教育として前期は「基礎ゼミ」、後期は「外書講読」が必修。少人数制を活かした丁寧な指導のもと3年次からの専門的な研究に必要となる能力を高めます。 | **ゼミを中心に専門分野を学ぶ**<br>演習Ⅰ(ゼミ)が中心。全教員により開講されるゼミに分かれて、専門分野の研究を掘り下げていきます。文献講読やフィールドワークなどを行い、必要な知識やスキルを身に付けます。本格的な研究に取り組むと共に、卒業論文の準備を行う期間です。 | **4年間の総仕上げである研究活動**<br>大学時代の総仕上げとしての学修と研究の大切な期間です。多くの学生が、演習Ⅱ(ゼミ)で自ら課題(研究テーマ)を設定し、卒業研究や卒業論文に取り組みます。 |
| 経営理論 | 経営学総論Ⅰ・Ⅱ<br>西洋経営史 | 経営戦略論Ⅰ・Ⅱ<br>人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ<br>経営財務論、経営組織論<br>流通論、マーケティング論<br>消費者行動論、日本経営史 | 生産管理論Ⅰ・Ⅱ、非営利組織論<br>広告論、産業デザイン | |
| 企業・地域 | 企業論 | 中小企業論Ⅰ・Ⅱ、産業組織論<br>公益事業論、地域マネジメント論 | 地域経済論、国際経営論、欧米企業論 | |
| 情報・会計 | 統計学、簿記原理<br>簿記論Ⅰ | 経営情報論、簿記論Ⅱ<br>原価計算論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ | 情報管理論、経営分析論、管理会計論、税務会計論 | |
| 経　済 | ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ<br>マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ | 財政学、金融論、国際経済学A<br>マクロ経済学Ⅲ | | |
| 法　律 | | 権利擁護を支える法制度<br>会社法、取引法 | | |
| 外書・演習 | | 基礎ゼミ、外書講読Ⅰ | 外書講読Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文 | |
| 現代社会とその課題 | 特別企画講座A<br>経済学特講A | 特別企画講座B・C・D<br>経済学特講B・C・D | 特別企画講座E・F・G<br>経済学特講E・F・G | |
| その他の科目 | キャリアデザイン概論Ⅰ・Ⅱ | 福祉のまちづくり論<br>キャリアデザイン特論 | 社会的企業論 | |

PICK UP CLASS

### 経営者に質問してみよう！

**演習Ⅰ（中小企業経営論演習）**
山崎 淳（やまざき あつし） 准教授

教室で学び、疑問に感じた「なぜ?」を経営者に質問して理解を深めることを大切にしています。中小企業の特徴を知るためには、企業訪問し、経営者に質問してみるのが一番の方法です。実際にお話を聞いてみると、予想もしなかった「経営者の視点」に驚かされることも少なくありません。五感を通してのこの経験は、きっと将来社会を生き抜くための財産になるでしょう。
地域社会の形成者である中小企業を理解することは、地域の理解を深めることにもつながります。是非、中小企業を通して地域を理解し、地域の理解から中小企業経営を探求してみましょう。

### 繊維産業の展開と若手社員の仕事内容を知る

**特別企画講座E**
木野 龍太郎（きの りゅうたろう） 教授

福井商工会議所・繊維部会との連携による、世界的にも評価の高い「繊維王国・福井」について学ぶリレー形式の講義です。繊維産業に関わる人々の生の声を聞き、その実態について知見を深めるとともに、繊維産業を基盤とした地域産業集積・発展について学ぶことで、講義で学んだ経済学・経営学の理論がどのように展開されているかを学びます。さらに、若手社員の話を聞き、就職活動における業界研究・職種研究など、将来の進路選択に役立てることで、地域産業の人材確保にもつなげる講義となっています。

インタビュー動画はこちら▶

interview
## 在学生インタビュー

### 就職後に役立つ実践的で身近な経営学

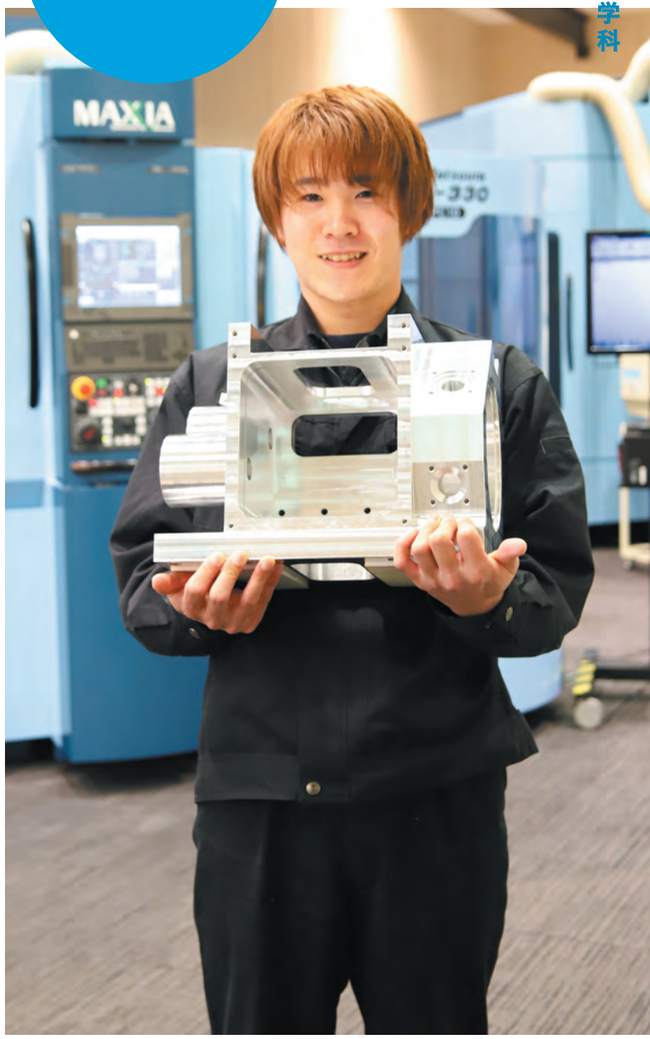
経営学科
**福澤 江里子**（ふくざわ えりこ）さん　福井県 北陸高等学校出身

経営学科では、企業経営の基礎や会計の他、キャリアデザインなどを幅広く学べます。企業で働くことをイメージしながら学びを深めていけるので、社会に出てから役に立つことが大いにあると思います。経済が私たちの生活に深く関係していると身に染みて分かることも、学ぶ楽しさの一つ。日々目にするニュースや新聞に対する理解が深まったことで、さらに新たな疑問が生まれ、学ぶ意欲も高まりました。

ものづくりに憧れがあるので、ゼミでは生産管理論を学び、ものづくりにおける効率的な生産や改善について研究しています。大小関係なくさまざまなものづくりが社会を支えていると思うと、学びがいもあります。将来はものづくりで社会のインフラを支える仕事に携わりたいと思っています。

先生には、卒業論文だけでなく就活や日常的な悩みにも親身に相談に乗っていただきました。フレンドリーな先生方とアットホームな雰囲気は県大の大きな魅力だと思います。規模の大きな大学ではないので、落ち着いて勉強に取り組める環境も整っています。自分自身に向き合って将来をじっくり考えることができ、県大に来てよかったと思っています。

interview
## 卒業生インタビュー




### 県大での学びを糧にものづくりの世界に挑む

株式会社松浦機械製作所 勤務
**中島 颯貴**（なかじま さつき）さん　2019年度卒業

ものづくりに興味があり、全ての製造業に関わる工作機械業界で働きたいと思い、インターンを経て今の職場を志望しました。テスト加工やサンプルワーク作成、展示会の対応、エンドユーザーサポートなど担当業務は幅広いですが、自分でモデリングして実際に削り出す作業はとても楽しく、一番のやりがいとなっています。

経営学科の授業は就職後もとても役に立っています。モノが完成するまでの製造業の工程や会社内のセクションについて、入社前にしっかりと理解できていたことは大きなアドバンテージでした。フィールドワークでは自動車の生産工場見学もあり、製造業の現場を実際にこの目で見たことで、講義で学んだ内容の理解がさらに深まりました。

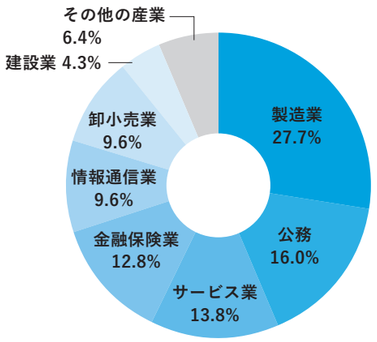
豊かな自然に囲まれ、静かな場所に位置する県大は、落ち着いて勉学に集中できる環境です。図書館などの施設やその他の設備も充実し、学びをしっかりサポートしてくれます。また、福井県に関する授業など地域密着の学びがあることも特徴です。少人数制で先生方も丁寧に教えてくださり、とても面倒見の良い大学だと思います。

## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

**100%**

就職 95.9%　その他 4.1%




### キャリア展望

- **企業**
  金融・保険、製造業、卸小売業、サービス業、運輸業、電力・ガス会社、情報通信、商社、航空、旅行、マスコミなど
- **NPO、NGO、農協、生協、大学法人職員**
- **中小企業診断士・経営コンサルタント**
- **税理士**
- **公認会計士**
- **ファイナンシャルプランナー**
- **証券アナリスト**
- **国家・地方公務員（行政職・警察官など）**
- **高等学校教員**

### 卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

［製　造　業］福井村田製作所、松浦機械製作所、酒井化学工業、フクビ化学工業、シンフォニアテクノロジー、前田工繊、アイシン福井、カズマ、光生アルミニューム工業、サカイオーベックス、サカイエルコム、凸版印刷、日本エー・エム・シー、セーレン　など
［卸 小 売 業］ゲンキー、タッセイ、山崎金属、ユニフォームネクスト、白崎コーポレーション、イガラシ、興和江守、クスリのアオキ、コスモス薬品、福井キヤノン事務機　など
［金融保険業］福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行、北陸労働金庫、八十二銀行、敦賀信用金庫、ジェイリース、福邦銀行、三井住友信託銀行　など
［情報通信業］三谷コンピュータ、福井コンピュータホールディングス、ART AGE、天晴データネット、福井新聞社、福井放送　など
［サービス業］税理士法人合同経営会計事務所、税理士法人上坂会計、日本郵便、北村労務会計事務所　など
［公　　務］福井県庁、福井県警察本部、北陸財務局、東京国税局、富山県庁、福井市役所、鯖江市役所、永平寺町役場、坂井市役所、越前市役所、おおい町役場　など
［進　　学］福井県立大学大学院　など

### 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（公民/商業）
  ※教職課程の単位を修得することにより得られる。

# 生物資源学部

Faculty of Bioscience and Biotechnology

生物資源学科／創造農学科

## 生物資源学部の特長 -Features-

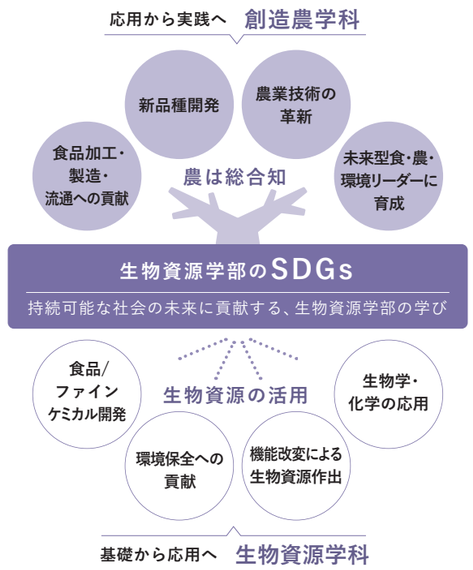
歴史と文化が薫る知の拠点「永平寺キャンパス」にある生物資源学科、自然環境豊かな「あわらキャンパス」に新設された創造農学科の2学科体制です。

生物資源学科では、動植物や微生物など生物の資源利用に関わる自然科学を幅広く学び、食や生命、環境に配慮したものづくりに活用できる人材を育成しています。

創造農学科では、農に関するスキルや知識だけでなく、リーダーシップやマネジメント等に関して実践的に学び、農のジェネラリストを育成しています。

優れた研究施設と少人数教育により豊かな学びの場を提供しています。

研究成果を広く世界に発信するとともに、福井県全体をキャンパスとする実践的な学びを通して地域社会に成果を還元しています。




## 学部の概要 -Overview-

生物資源学部は、生物資源学科と創造農学科の2学科からなり、生物資源に関わる基礎研究から応用研究を行います。独自のカリキュラムにより実践力を身に付けた卒業後は、食品、医薬、化学工業などの製造業、環境汚染防止、廃棄物処理・資源有効利用、自然環境保全などの環境産業、農業など幅広い分野で活躍しています。

生物資源学部

# 生物資源学科

本学科では、「食」、「生命」、「環境」を3本柱として、教育と研究に取り組んでいます。微生物から動植物までさまざまな生物を対象とし、基礎研究で得られた成果を活用して、地域社会や人類の役に立つ取り組みを進めています。最先端の技術を使用した世界をリードする研究から、地元福井の活性化を目指した地域貢献研究まで、幅広い研究内容が特徴となっています。入学後いろいろな専門知識を得る中で、幅広い研究領域から自分のやりたい領域を選び、取り組むことができます。企業経験者など多彩な背景を持つ教員から、基礎だけでなく実社会で役立つ応用的な教育を受けることができるのも魅力の１つです。

## 学びのポイント -Point-

### 1 多彩な教員による少人数教育

教員1名当たりの学生数が約2名の少人数教育により、密度の高い研究・教育指導を受けることができます。応用生化学、分子機能学、分子生物学、植物資源学と幅広い領域で、各自の興味に合ったテーマで卒業研究に取り組むことができます。

### 2 最新の実験装置と充実した設備

質量分析装置や遺伝子分析装置など最新の実験装置があり、圃場、大量培養施設、実験動物施設などを活用して研究・教育を行っています。また、産学連携拠点としてバイオインキュベーションセンターを有し、企業との共同研究に取り組んでいます。

### 3 研究成果の発信を通じた深い学び

基礎および応用研究で得られた成果を国内外の学会で広く発信しています。学生の学会発表も盛んで、優秀賞や学会賞などを受賞する演題も増えています。こうした機会は大学での研究生活をより充実させるものとなります。

### 4 実社会での研究開発や製造に関する学び

民間企業の研究開発担当者による講義や企業の見学を通して、企業において行われている研究開発、製品化、生産について学ぶ機会を提供しています。これらは就職における進路の選択にも役立ちます。

## 学科の特長 -Features-

「タンパク質科学」、「生物分析化学」、「食品機能科学」、「応用微生物学」、「植物分子機能学」、「植物病理学」、「植物遺伝資源学」、「環境植物学」の8分野の研究領域があり、生物から化学まで関連した幅広い分野を学ぶことができます。

詳しくはPICK UP CLASS（P23）をチェック！





## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

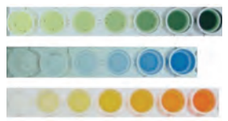
| | 1年次<br>生物・化学の基礎を修得する<br>一般教養の広い裾野をベースに専門的知識を高く積み上げるピラミッド型の人材育成を目指し、1年次では専門教員による幅広い一般教養を学びます。理科系科目の導入教育も充実させ、生物学と化学の基礎原理をしっかり理解します。 | 2年次<br>実験・実習により応用力を養成<br>2～3年次にかけて、生物、化学、微生物学、食品生化学、生物物理化学、分子生物学、植物資源学、環境科学の実験・実習を行い、応用力を養います。県内外の研究機関・部門を訪問し、県の行政における研究機関の役割や民間企業における研究内容や生産施設についても学びます。 | 3年次<br>応用力強化と卒業論文の準備<br>専門実験および実習で、引き続き応用力をステップアップさせます。また、卒業論文に向けて、多様な専門科目を学びます。さらに、インターンシップや技術者倫理などで、社会との接点を学びます。 | 4年次<br>4年間の総仕上げである研究活動<br>大学時代の総仕上げとしての学修と研究の大切な期間です。全ての学生が研究室に所属し、自ら課題（研究テーマ）を設定し、卒業論文に取り組みます。 |
|---|---|---|---|---|
| 生物学の基礎と応用 | 生物学Ⅰ・Ⅱ | 遺伝学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ・Ⅱ<br>植物生理学Ⅰ、動物生理学 | 育種学Ⅰ・Ⅱ、植物栄養学、分子生物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ<br>植物病理学、植物生理学Ⅱ、生物有機化学<br>動物資源学、細胞免疫学<br>施設園芸学、果樹園芸学 | |
| 化学の基礎と応用 | 化学Ⅰ・Ⅱ | 分析化学、有機化学<br>一般微生物学、応用微生物学Ⅰ<br>食品化学、農産物利用学 | 生物物理化学Ⅰ・Ⅱ、生物物質化学<br>生体高分子化学、応用微生物学Ⅱ、食品衛生学<br>栄養化学、農薬化学 | |
| 生物資源学の基礎と応用 | 地学概論<br>数学基礎 | 環境生物学、応用気象学、土壌学<br>生態学Ⅰ、地圏環境学<br>生物資源学概論、地域生物生産実習 | 森林生理・生態学、生態学Ⅱ、農業経営論<br>技術者倫理、作物学、ゲノム生物学<br>情報生物学、応用昆虫学 | |
| 問題解決能力 | 化学実験<br>生物学実験 | 応用生物学実験、生物化学実験<br>科学英語Ⅰ | 生物物理化学実験、微生物学実験<br>食品生化学実験、分子生物学実験<br>植物資源学実験、環境生物学実験、科学英語Ⅱ<br>インターンシップ、応用生化学演習<br>分子機能科学演習、分子生物学演習<br>植物資源学演習、技術者と企業 | 専攻演習、卒業論文 |

## PICK UP CLASS

### タンパク質科学分野（応用生化学領域）

日幸 隆雄（ひゆき たかお）教授／伊藤 貴文（いとう たかふみ）教授／向山 厚（むかいやま あつし）准教授／黒川 洋一（くろかわ よういち）講師

本研究室では、食品・医薬・化成品など様々な分野で利用される酵素の構造解析や機能改変について研究しています。例えば、牛乳を凝固する酵素を低温で働かせ植物乳酸菌を利用することで、風味豊かなチーズを生産者と共同開発しています。



### 生物分析化学分野（応用生化学領域）

片野 肇（かたの はじめ）教授／植松 宏平（うえまつ こうへい）准教授

医薬品、化学品、環境・健康の指標となる物質を対象として、それらの分析や単離精製の方法をつくっています。また、特定の機能の評価方法をつくると同時に、新しい応用を見出す試みも行っています。

### 食品機能科学分野（分子機能科学領域）

伊藤 崇志（いとう たかし）教授／高橋 正和（たかはし まさかず）准教授／松井 孝憲（まつい たかのり）准教授

食品機能科学分野では、食による健康・長寿社会の実現を目指し、地域特産農作物・海産物の健康増進効果や疾患予防効果の解明を行っています。これらの研究を通して、県内特産物の付加価値を発見し、地域の活性化に貢献していきます。

### 応用微生物学分野（分子機能科学領域）

濱野 吉十（はまの よしみつ）教授／丸山 千登勢（まるやま ちとせ）准教授／長谷部 文人（はせべ ふみひと）助教

微生物学は、生化学や分子生物学の礎となるだけでなく、バイオテクノロジーの中核を担っています。応用微生物学分野ではその幅広い知識を学ぶことで、微生物が持つ未知な機能の解明や、微生物を活用したものづくりに挑んでいます。

### 植物分子機能学分野（分子生物学研究領域）

篠原 秀文（しのはら ひでふみ）准教授／林 潤（はやし ひろし）講師

植物分子機能学研究分野では、多彩な植物を使って、ゲノム中の機能未知な遺伝子のはたらきを解明する研究を行っています。生命の根源である遺伝子の機能解明という基礎的研究を通じて、植物の生長を分子レベルで理解し、応用に繋げることを目指しています。

### 植物病理学分野（分子生物学研究領域）

仲下 英雄（なかした ひでお）教授／石川 敦司（いしかわ あつし）教授／加藤 久晴（かとう ひさはる）准教授

植物と病原菌との相互作用を分子レベルで解明することを目指しています。特に、相互作用を制御する遺伝子やタンパク質に着目し、その機能解明を行い、有用作物の創出ならびに農作物の栽培・保護の基盤技術開発への貢献を目指しています。

### 植物遺伝資源学分野（植物資源学研究領域）

風間 裕介（かざま ゆうすけ）教授／池田 美穂（いけだ みほ）准教授／西嶋 遼（にしじま りょう）助教

自然界に存在する多種多様な穀物（特にコムギ）や花きとその近縁野生種などを採取し、それらの遺伝資源を用いて有用遺伝子を同定しています。また、重イオンビームを用いた新たな遺伝資源の創出も行っています。

### 環境植物学分野（植物資源学研究領域）

深尾 武司（ふかお たけし）教授／塩野 克宏（しおの かつひろ）教授／角田 智詞（つのだ ともの り）准教授

環境植物学分野では、気候変動に負けない植物の開発や環境保全に配慮した新たな栽培法の確立を目指し、植物と環境の相互作用のメカニズムを生理、生態、分子生物学的手法を駆使して研究しています。

インタビュー
動画はこちら▶

interview
## 在学生インタビュー

### 研究の大変さも大学生活の醍醐味 多様な学びを楽しんで

生物資源学科
**近藤（こんどう） 一宏（かずひろ）**さん　福井県立金津高等学校出身

微生物などの細かいものから病理、環境まで幅広い領域が存在し、近年ではAIに着手する研究室もあるなど多様な選択肢が魅力の生物資源学科。入学後でも講義や実験を通して、自身の興味・関心を広げていけることは大きなメリットだと感じます。

今は、外来昆虫や外来植物の振る舞いについて研究し、昆虫と植物の種間相互作用の観点から外来生物の侵略性の解明に取り組んでいます。調査・実験手法だけでなく、研究計画の立て方や成果発表に至るまでのプロセスも学び、大変ながらも研究を進め、まとめ上げていくことにやりがいと楽しさを感じています。将来は環境アセスメントをはじめとした、自然環境保全に関わる職に就きたいと考えているので、これらの経験はきっと役に立つと思います。

3年次には環境系学生団体を設立し、地域の環境教育イベントなどに参画してきました。こういったアウトリーチ活動に協力的な環境にも感謝しています。大学では高校までとは違い、講義や研究室の選択などで自分自身の判断を迫られる場面が多々ありますが、夢が広がる未来への選択だと思ってそんな場面も楽しんでください。

interview
## 卒業生インタビュー

### 県大で身に付ける力や考え方は 人生における大きな武器

ソニー生命保険株式会社 福井支社 勤務
**金井（かない） 伸一郎（しんいちろう）**さん　2008年度卒業

保険会社でお客様への保障の提供のほか、企業の財務コンサルティングなどに携わっています。未経験の金融分野でしたが、県大の新しいものへチャレンジしていく校風にも刺激を受け、挑むことができました。お客様の課題を共に解決していくことにやりがいを感じています。

大学では有機化学の研究室に所属し、防錆剤を合成して金属の防錆効果を測定する実験をしていました。実験に必要となる、仮説と事実を冷静に見極めて真実を探究する姿勢やロジカル思考は、現在の仕事だけでなく人生の色々な場面で役に立っています。また、アメリカンフットボール部のキャプテンを務めていましたが、理系でも部活との両立ができる研究室だったので、部活にも打ち込むことができました。一般教養では大学ならではの幅広い学びができ、哲学やメディア論などは特に印象深く、大きく影響を受けました。

みなさんが今後社会に出た時に壁にぶつかることもあるかもしれませんが、県大ではそこから立ち直るためのものの捉え方や考え方を身に付けることができます。県大は、学問の専門知識だけでなく生きる上で必要な力を学べる、そんな大学です。

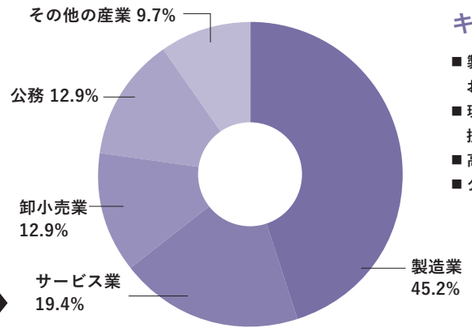


## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

100%

就職 66.0%　進学 31.9%　その他 2.1%




### キャリア展望

- 製造業（薬品、化学品、食品など）における研究、工程・品質管理、製造業務
- 環境関連の調査分析の企業における技術員
- 高等学校教員（理科）
- 公務員（農林業など）

### 卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

［福井県内］前田工繊、フクビ化学工業、田中化学研究所、福井村田製作所、日東シンコー、ウラセ、サカイオーベックス、酒井化学工業、ふじや食品、福井県庁、福井県警察本部、福井県環境保全協業組合、福井中央魚市、福井県民生活協同組合　など

［福井県外］大日本住友製薬、京セラ、井村屋、はごろもフーズ、NTTデータMSE、アルフレッサファーマ、富士薬品、エースコック、イチビキ、農林水産省植物防疫所　など

［進　　学］福井県立大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院　など

### 取得可能な資格

- 高等学校理科教諭一種免許状
  ※教職課程の単位を修得することにより得られる。
- 修習技術者
  ※JABEE（日本技術者教育認定機構）認定校であり、プログラム修了により取得できる。

**資格要件が得られるもの**　※所定の単位修得が必要。

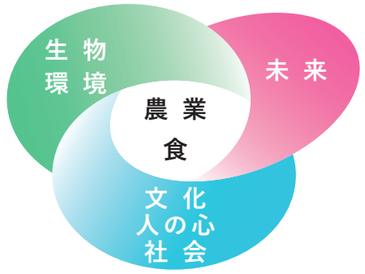
- 自然再生士補
- 危険物取扱者甲種
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
  ※採用者等が資格の有無を判断するため、就職後採用者等に確認すること。

生物資源学部

# 創造農学科

創造農学科で学ぶ領域は、総合知としての「農」です。「農」とは農業だけを指すのではなく、食・環境・文化・生活といった「農業」を中心とした社会全般です。そこで、1年生の専門科目では、専任教員に加え、70名を超える各方面の専門家（特任講師）による実習が中心となります。「食・環境・文化・生活」そのつながりをそのまま体験し、現場から学ぶ。聞いて、見て、やって、考えて、話し合う実習と講義。面白いと思うところを専門家から学び、深める講義。それらを通じて、「農」の中で自分がどう生きるかを考える。その全てを本学科で勉強します！

## 学びのポイント -Point-



### 1 農（食・農業・環境・文化・生活）に関する幅広い知識と技術を学びます

実体験する実習を中心としたカリキュラムにより、将来、様々な分野で活躍するうえで欠かせない、幅広い知識と技術が身に付きます。

### 2 自ら考えて課題を解決する能力を養います

実習や研修で実体験すると、様々な疑問や課題が生まれます。それらについて自然に自ら考え、課題を解決するノウハウが身に付きます。

### 3 コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養います

実習や研修では、様々な人と会い、会話し、考えることが必要となり、自然と高度なコミュニケーション能力が身に付きます。また、課題解決の提案や報告では、常にプレゼンテーションが必要となり、高度なプレゼンテーション能力が身に付きます。

## 学科の特長 -Features-

農（食・農業・環境・文化・生活）の全般が学びの領域です。

- **作物品種改良の理論と実践**
  食用作物、園芸作物、伝統野菜、薬草など、農作物の新品種の開発技術
- **作物の次世代栽培技術の理論と実践**
  大規模農業、次世代施設園芸、植物工場、スマート農業や微生物農業資材など、多様な栽培技術
- **食品の生産から販売までの理論と実践**
  食品開発、食品加工、品質管理、マーケティングなど、食品製造や流通
- **未来につなぐ持続型環境保全の理論と実践**
  福井県土の農環境保全、微生物による環境浄化・廃水処理技術

専任教員の専門領域は卒論研究や大学院で深く掘り下げて学びます。





## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|
| | **食・農・環境の全てを体験！**<br>福井県すべてをキャンパスに、食・農・環境の全てを体験します。体験して疑問に思ったことを自ら調べ、仲間とワイワイ話し合って身につけた学びは、一生忘れない財産になります。割り当てられた自分の畑で好きな農産物を生産し、加工や販売も行います。 | **「農」を実践し、面白い！を発見**<br>農業を中心に、食や環境、文化、社会は全てつながって総合知としての「農」を形成します。このつながりを実践の中で体感し、科学的な根拠にもとづいて論理的に考え、その考えを分かりやすく人に伝え、共に行動する力を養います。その中で自分が面白い!と思えることを見出します。 | **面白い！を深め、自分の生きる道を考える**<br>自分が面白い！と思うことを専門の実験や講義でより深く学びます。専任教員や地域のプロフェッショナルと共に様々な活動をし、たくさん会話し、感動を分かち合う中で、自分の生きる道を模索します。 | **好きな場所で好きな学びを深化**<br>専任教員や地域のプロフェッショナルに弟子入りして、自ら課題を設定し、卒業論文に取り組みます。「農」の中で自分がどう生きるかを見定めます。 |
| 専門科目 | 食農環境・文化概論、総合農学<br>食農環境実習Ⅰ<br>食農環境演習Ⅰ<br>実践農業英語 | 食農環境実習Ⅱ、食農環境演習Ⅱ | 食品加工実習、育種学実験Ⅰ・Ⅱ<br>蔬菜園芸学実験、花卉園芸学実験<br>果樹園芸学実験<br>微生物利用学実験<br>植物保護学実験<br>地域農政学実験 | 専攻演習<br>卒業論文 |
| | 先端農業技術活用論、総合的生物多様性管理論、地域農政論、地域森林利用論、農業市場論、農業経営論、蔬菜園芸学、花卉園芸学、果樹園芸学、雑草管理学、微生物利用学、育種学Ⅰ・Ⅱ | | | |
| 集中講義 | 農業インターンシップⅠ・Ⅱ | 施設園芸学、作物学 | 農業戦略論 | |
| 学部共通科目 | 農産物利用学、食品化学<br>食品衛生学　ほか | 植物病理学、農薬化学<br>動物資源学　ほか | 応用気象学、土壌学<br>生態学Ⅰ・Ⅱ　ほか | |

## PICK UP CLASS

### 「収穫祭」における農業インターンシップ報告会

**農業インターンシップⅠ・Ⅱ**

森川（もりかわ） 峰幸（みねゆき） 教授

農業インターンシップは、主に夏休み期間中に、特任講師となっている県内生産者や農業試験場などを訪れ、様々な体験学習をする授業です。毎年11月の「あわらキャンパス収穫祭」における報告会で、特任講師の皆さんを招待して、その成果をポスター発表の形で報告しています。

### こんにゃく作り

**食品加工実習**

水口（みずぐち） 亜樹（あき） 准教授／篠山（しのやま） 治恵（はるえ） 准教授

福井県池田町にある「魚見手作りこんにゃく道場」での実習です。こんにゃく芋の粉に水を加えて、ひたすら練っていくと、ある瞬間に「ねばねば」が弾力に変わります。手作りの美味しさを味わうとともに、理論を交えながら食品加工の面白さを体感します。

インタビュー動画はこちら▶

interview 在学生 インタビュー

## 農にまつわる総合的な学修で広がる未来の可能性

創造農学科
**佐々木 雅**さん　福井県立三国高等学校出身

創造農学科に興味を持ったきっかけはオープンキャンパスです。実習が多く、自分の畑を持って自由に作物を栽培できると知り、座学だけでない実践型の学びにひかれ県大を選びました。農作業はもちろん、調理実習や伝統文化体験など、この2年間で実際に多くのことを経験できました。単純な「農＝農業」だけではなく「農＝食・環境・文化・生活」と捉え、農に関することを幅広く学ぶべるところに、この学科ならではの楽しさを感じます。

個性的な先生方が多く、質問しやすい環境があるのも魅力。学業以外のことも気軽に相談でき、安心して大学生活を送れています。本格的な研究が始まる3年次からは、果樹についての研究をしたいと思っています。

卒業後は公務員になって福井県の農業を支える一員になることが目標です。私は県大で農業に関わる仕事の多様さを知り、叶えたい夢を見つけました。まだ具体的な将来のビジョンが見つからない人も、様々な未来の可能性が広がる県大に来れば、きっとやりたいことを見つけられるはずです。

interview 教員 インタビュー

## 体験に基づいた学びで“農”をもっと身近に

**松本 大生** 准教授

果樹園芸学研究室でオウトウ（さくらんぼ）とアケビの自家不和合性について研究し、安定して果樹を結実させる方法を模索しています。自家不和合性とは、雌ずいが自分の花粉を見分けて拒絶する性質のこと。植物の精巧なメカニズムの不思議に触れられる面白さがあります。担当する「果樹園芸学」では、植物生理学の目線から、生物としての果樹の反応や栽培管理の原理を教えています。これらは将来、果樹園の経営や公務員として営農指導を行う上できっと役に立つことでしょう。また、授業では様々な果物について、ちょっとした豆知識などを紹介しています。みなさんが普段何気なく食べている果物を、もっと身近に感じてもらえたらと思っています。

創造農学科の大きな特徴は、農のあらゆることを実習で体感できることです。野菜、花、果樹、稲の栽培体験のほか、外来種駆除や山林調査といった自然環境保護、サバのへしこやみそ作りなどの伝統食に関することまで幅広い実習があり、学問を身近に感じられます。また、少人数なので同級生の仲が良く、収穫祭などの行事では学年を超えた交流もあります。ぜひ一緒に創造農学科で楽しく農を学びましょう。

## 卒業後の進路 -Future-

### 多方面に展開する卒業後の進路　「食・農・環境が密接に繋がる社会」＝新しい「農」の　リーダーとして活躍！

**1 「食と農」を担う**
生産・加工販売や農業ビジネス

農林畜産物の生産・販売、
６次産業（個人・法人経営）、
植物工場、農作物商社（JA・卸売業者等）、
食品加工会社 等

**2 「食と農」を支える**
研究・開発・営業

種苗会社、農業機械メーカー、
肥料・農業メーカー、食品会社、
農業施設・資材メーカー 等

**3 「環境」をまもる・育む**
調査と保全

環境調査会社、
環境コンサルティング会社、
造園・緑化会社、森林組合 等

**4 「食と農と環境」連携と社会実装、未来へつなぐ**
政策立案・教育指導

地方公務員（県普及指導員、
県農業試験場、市町公務員 等）、
国家公務員（植物防疫官 等）、
教員（農業）、JA（営農指導）等

### 取得可能な資格

■ 高等学校教諭一種免許状（農業）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。

### 資格要件が得られるもの

■ 食の６次産業プロデューサー
※所定の単位修得により資格要件が得られる。

創造農学科
オリジナルWebページ

めちゃめちゃ面白いので見てね！
創造農学科教員一同

海洋生物資源学科／先端増養殖科学科

# 海洋生物資源学部

Faculty of Marine Science and Technology

## 海洋生物資源学部の特長 -Features-

若狭湾に面した小浜キャンパスおよびかつみキャンパスを拠点とする日本海側唯一の水産・海洋系学部です。海洋生物資源の持続的な利用を目指して、水圏生態系の多様な生物と環境因子との関係、生物生産の仕組み、水産物の利用・加工、さらにゲノムやＡＩを活用したマーケティング、ビジネスモデル構築を含む最先端の水産増養殖技術に関する教育と研究に取り組んでいます。

## 学部の概要 -Overview-

### 海洋生物資源研究の基礎から応用そして社会実装を目指す学部

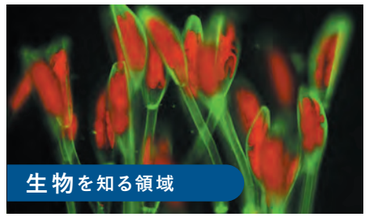
海洋生物資源学部は、海洋生物資源学科と2022年4月に開設された先端増養殖科学科の2学科で構成されています。海洋生物資源学科は、生物・環境・食と健康に関わる3つの領域で構成され、水圏の生物学・生態学的研究、流れや水質の調査・分析などから明らかにする水圏環境の研究、さらに食品加工・健康の研究といった幅広い分野を網羅しながら高度な研究活動を展開しています。先端増養殖科学科は生命科学、環境科学、情報科学を基盤として、応用のための基礎から社会実装までを対象に研究を進めています。本学部では、両学科の特長を活かした独自のプログラムに加えて、互いに講義内容を補完する共通カリキュラムも組まれ、知識や技術を広く、深く学ぶことができます。

海洋生物資源学部

# 海洋生物資源学科

本学科は海・河川・湖といった水圏の楽しさに深く触れ、水圏と人の関わり方について探究しています。水圏は多くの生物が生きる場であり、人々の食生活、文化や交流を支える場でもあります。さまざまな視点から水圏の学問領域について学び、基礎研究から応用・実用研究まで追求できる環境が整っています。

## 学びのポイント -Point-



珪藻外来種の増殖をとらえた顕微鏡写真

### 1 海・河川・湖沼、それらのつながりについて、地域スケールから地球スケールの視点で学ぶ

地球は「水の惑星」と呼ばれています。本学科では、海洋、河川、湖沼、地下水といった水圏全体を研究対象にしています。特定の水域を深く調べる研究に加え、水の循環やつながりに注目した研究も進めています。

### 2 水圏に関連する生物、食と健康、環境について高度な専門的知識を学ぶ

水圏の「生物を知る領域」、「生物を育む環境を知る領域」、「食と健康を知る領域」で構成されています。生物についての研究だけでなく、生物の棲む環境から利用・加工に至るまで多様な分野をカバーしています。

### 3 理論と実験・現場実習から、これからの水圏と社会の関わりについて学ぶ

大学での講義や実験による学びに加え、フィールドワーク、民間会社や研究機関への訪問など、社会での学びも大切にしています。

### 4 水圏に興味を持つ学生が集い、気付き合いながら学ぶ

水圏に興味を持つ学生が集うこと、そのことが新たな気付きや大学生活の楽しさを生み出します。新たな出会いと多面的な学問領域での学びをもとに、現代の水圏が抱える諸問題の解決に向けて取り組みます。

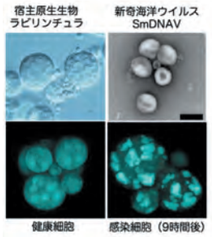
## 学科の特長 -Features-

水圏について幅広く学べる学科は全国的にみても限られています。本学科へ集まってきた水圏への興味を持つ仲間と共に学ぶことは、本学科の魅力の一つといえるでしょう。また、キャンパスの近くには若狭湾、三方五湖、河川や豊富な湧水といった豊かな自然があり、小浜は鯖街道の起点の街として古くから京都の「食」文化を支えてきた地です。水圏を学ぶにふさわしい環境で、伸び伸びと学習や研究を進めることができます。

## カリキュラム -Curriculum- 〜4年間の学びの流れ〜

| | | 1年次 自然科学の基礎を学ぶ | 2年次 海洋生物資源の基礎を学ぶ | 3年次 専門分野の応用力を身に付ける | 4年次 教育・学修の総仕上げ |
|---|---|---|---|---|---|
| 専門基礎科目（必修） | | 生物学I・II、化学I<br>物理学I、数学基礎 | 化学II、生物学実験、化学実験<br>科学者および技術者の倫理 | | |
| 専門応用科目 必修 | 学部共通 | | 生化学、分子生物学<br>大気・海洋学概論<br>藻類学概論、漁業制度論 | 基礎演習 | 専攻演習、卒業論文 |
| 専門応用科目 必修 | 学科必修 | 海洋生物資源学フィールド演習I | 海洋生物資源学フィールド演習II<br>魚類学、微生物学概論、海洋化学<br>水産資源利用学 | | |
| 専門応用科目 選択必修 | 水圏生物の生命現象の解明 | | 動物生態学、水圏微生物生態学 | 浮遊生物学、藻類生理学、生態遺伝学<br>進化系統学、水圏生命情報科学 | |
| 専門応用科目 選択必修 | 水圏環境の保全と修復 | | 環境水理学、海洋生産環境学<br>沿岸海洋学、水産施設工学 | 海洋環境工学、沿岸生態工学<br>水圏環境科学、山川里海連関学<br>生物地球化学 | |
| 専門応用科目 選択必修 | 水圏生物資源の有効利用 | | 食品化学<br>海洋生物資源学特別講義II | 食品工学、食品保全学<br>生物資源分析化学、食品微生物学<br>食品安全管理論、食品栄養学 | |
| 専門応用科目 選択必修 | 実験・実習演習 | | 地域活性化演習、海洋生物学実験<br>食品化学実験、水圏環境学実験 | 水圏保全遺伝学実習<br>海洋環境工学実習<br>海洋微生物生態学実験<br>食品工学実験、インターンシップ | |
| 専門応用科目 選択 | 海洋生物資源の幅広い視野の涵養 | 地学概論 | 海洋地質学、水産経済学、<br>水産増養殖学概論<br>海洋生物資源学特別講義II・V | 動物生理学、水族病理学、魚類免疫学<br>水産資源学、科学英語I・II | |

## PICK UP CLASS




### 海洋生態代謝学研究室

近藤 竜二 教授
高尾 祥丈 准教授／片岡 剛文 准教授

海洋・湖沼・河川をフィールドにして微生物の群集形成・細胞生理・生物間相互作用の仕組みを明らかにする研究を行っています。微生物を単離し培養や遺伝子分析を用いて水圏生態系での物質循環を担う微生物の生態解明を目指しています。

### 海洋環境工学研究室

瀬戸 雅文 教授／兼田 淳史 教授
田中 祐希 准教授

若狭湾などの沿岸域から太平洋などの外洋域までの流れや波、水質などの海洋環境を、現場観測・水槽実験・数値シミュレーションなど様々な手法を用いて調べ、流れの発生機構や海洋環境の変動、海洋環境と生物の関係について研究しています。

### 海洋生物学研究室

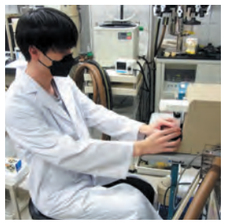
吉川 伸哉 教授／佐藤 晋也 教授
山田 和正 助教

生産者として水圏の生態系を支えている藻類を対象に、進化、形態形成、環境応答、藻類が作る物質の有効利用の研究をしています。藻類の特性を理解するための知見を積み上げるとともに、資源としての藻類の利用に貢献できるように努めています。

### 水産資源生物学研究室

杉本 亮 教授／小路 淳 准教授
松林 順 准教授／山本 昌幸 准教授

水産資源の変動機構の解明と、その持続的利用に不可欠な生態系の構造と機能の理解を目的として、水圏生態系の物質循環や生物生産、水圏動物の生態や生物多様性に関する基礎的・応用的研究を行っています。



### 食品化学研究室

横山 芳博 教授／水田 尚志 教授
細井 公富 准教授

海洋生物資源に含まれる各種有用成分の探索とその構造・機能解明に関する研究や、養殖魚の鮮度維持や飼料改良による品質向上に関する研究を行っています。海洋生物資源を食料はもとより、化粧品や医薬品など生活関連素材として有効活用することを目指しています。

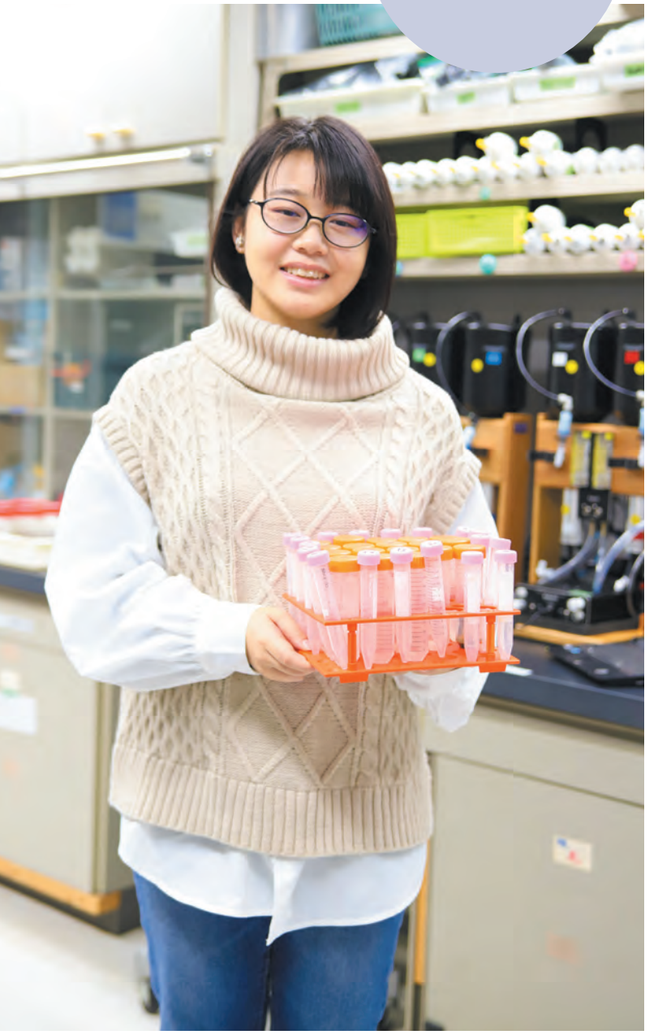
### 食品工学研究室

松川 雅仁 教授／今道 力敬 准教授
下畑 隆明 准教授

食料資源として水産物を持続的に有効利用するために、魚肉タンパク質の品質制御や加工技術の基盤となる研究、水圏由来の有害微生物の制御を通じた食の安全と安心に資する研究、および健康機能有用成分の探索に関する研究を進めています。

インタビュー
動画はこちら▶

interview
在学生
インタビュー



## 漠然と“海が好き”でも大丈夫！小浜だからできる学びと経験

海洋生物資源学科
**髙柳（たかやなぎ） 百花（ももか）**さん　愛知県立旭野高等学校出身

昔から生き物が好きで海にも関心がありましたが、専攻したい分野を絞れなかったので、海洋について幅広く学ぶことができる県大へ。海は好きだけれど、海洋にはどんな分野があってどんなことを学べるのか分からないという人には、学びながら自分の興味のある分野を探すことができるのでおすすめです。地域と連携して行う漁業体験や環境調査などのフィールドワークでは、学外の方と話す機会も多いので、コミュニケーション力や企画力といったスキルも身に付きました。

卒業研究として、稚魚の採取や水域の栄養などを調べるフィールド調査を行い、小浜湾の環境、生物相などの季節的な変化と場所ごとの違いについて研究中です。調査地の数が多く体力も必要で、環境調査ならではの大変さを実感していますが、調査や文献から得た情報を整理し、文章にして発信する訓練にもなっています。このスキルは今後社会に出てからもきっと役に立つと思います。

県大は、学業に限らず貴重な体験がたくさんできる場所だと思います。小浜という地域ならではの学びと経験で、充実した大学生活にしてください。

## 海が好きな仲間たちと切磋琢磨する濃厚な4年間

福井県海浜自然センター 勤務
**西村（にしむら） 碩教（ひろゆき）**さん　2016年度卒業

現在は自然環境保護に関する普及・啓蒙業務に取り組み、若狭湾や三方五湖を舞台に、海釣り体験や生き物観察会などを開催する仕事をしています。海や湖の魅力を知って関心を示す参加者の様子や「魚が好きになった」という声に、非常にやりがいを感じます。

昔から海や川の生き物が好きで、地元である福井県を舞台とした授業や研究などの取り組みに魅力を感じ、海洋生物資源学科に進学しました。研究室では、森里海のつながりをテーマに研究していました。沿岸域の生態系は陸域から供給される栄養によって支えられています。河川による供給だけでは説明がつかない部分があり、海底から湧出する「海底湧水」がどう影響しているのかを研究しました。新しい知識や発見を得るたびに物事に対する解像度が高まり、突き詰めて学ぶことの楽しさを知ることもできました。フィールドワークの手法や物事を正確に把握するための考え方、研究結果の伝え方は、現在の業務においても非常に役立っています。

海洋生物資源学科は海や生き物が好きな人たちばかり。仲間たちと同じ熱量で高め合っていける4年間は、間違いなく楽しいものになりますよ！

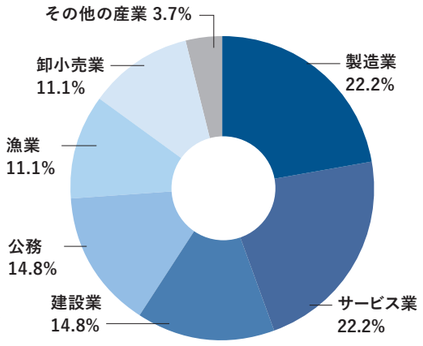
interview
卒業生
インタビュー

## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

100%

就職 56.3%　進学 37.5%　その他 6.3%




### キャリア展望

- 食品・水産加工品の研究開発・品質管理、製造業務
- 魚市場、漁業協同組合
- 環境・建設コンサルタント、環境分析
- 水族館、生物飼育産業、観賞魚関連企業
- 医薬品など化学製品の研究開発
- 国家・地方公務員、試験研究機関などの公務員
- 高等学校教員（理科、水産）

### 卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

［福井県内］福井県漁業協同組合連合会、JA福井県、福井中央魚市、小浜海産物、京福コンサルタント、ゲンキー、ウラセ、カワグチ、福井システムズ、フクビ化学工業、ふじや食品、森永北陸乳業、福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部、小浜市役所　など

［福井県外］いなば食品、五洋建設、信州ハム、はま寿司、あきんどスシロー、大水、東興ジオテック、エステム、マルハニチロ、キューピー、西日本電信電話、ヤクルト、日本食品検査、日本海洋生物研究所、楽天、富山県庁、東京都教育委員会　など

［進　　学］福井県立大学大学院、東京海洋大学大学院、早稲田大学大学院、金沢大学大学院、九州大学大学院　など

### 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（理科／水産）
  ※教職課程の単位を修得することにより得られる。
- 修習技術者
  ※JABEE（日本技術者教育認定機構）認定校であり、プログラム修了により取得できる。

**資格要件が得られるもの**　※所定の単位修得が必要

- 自然再生士補
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
  ※採用者等が資格の有無を判断するので、就職後採用者等に確認すること。

海洋生物資源学部

# 先端増養殖科学科

いまや養殖は世界の漁業生産量全体の50％を超えるようになり、大企業やベンチャー企業の活発な参入、さらにはSDGsへの取り組みなど水産増養殖を取り巻く環境が大きく様変わりしつつあります。先端増養殖科学科は、水産科学、ゲノム科学、環境科学、情報科学など幅広い分野の教員による少人数制での研究指導が行われます。また、設備の整った新しい飼育施設と目の前の若狭湾を実験フィールドにして、増養殖の基礎から応用までの知識と技術をシームレスに学ぶことができます。4年間で先端技術を実践的に活用する能力を身に付け、地域、国内はもとより海外でリーダーシップをもって活躍できる人材を育成します。

## 学びのポイント -Point-

自然の恵みを利用した養殖に水圏環境学の技術は不可欠です

宿泊実習で水産増養殖と環境保全のコラボレーションに関して議論する

### 1 増養殖に関する基礎知識と専門知識

自然科学、数学、経済学などの基礎をしっかりと修得したうえで、増養殖に必要な知識を体系的に学び、思考して実践するための力を身に付けます。

### 2 学んだことを実践する能力

知っているだけでは、実際に修得した知識を使うことができません。本学科では、学んだことを養殖の現場で実行する実習に力を入れています。その中で、「なぜ」、「どのように」と思考しながら実践する能力を身に付けます。

### 3 課題を設定し論理的に解決する能力

社会的背景を理解して水産増養殖に関わる課題を設定し、解決のための計画を立案して実践します。そして、得られた結果を客観的に考察して合理的な結論をまとめ、社会実装するための能力を身に付けます。

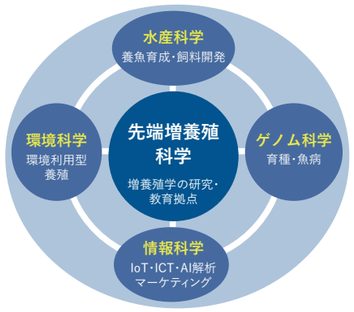
### 4 得られた成果を他者に伝える能力

課題解決に向けて、他者と相互に意思疎通を図りながら行動し、成果をまとめて文章と口頭で論理的にわかりやすく発表する能力を身に付けます。

## 学科の特長 -Features-

### 新しい発想と感性で水産増養殖を科学しよう

先端増養殖科学は、水産科学・ゲノム科学・環境科学・情報科学を基盤にして、多様な分野にまたがる学際的な分野です。水産増養殖を通して社会に貢献する研究をしてみたい皆さん、新しい発想と感性で先端増養殖科学を学びませんか。



### 先端育成科学分野 無給餌養殖学

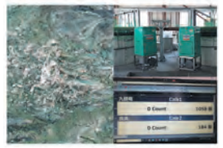
濵口 昌巳（はまぐち まさみ） 教授

マガキなどの二枚貝類は、海水中で発生する植物プランクトンなどを餌として利用できるため、環境にやさしい無給餌での養殖が可能です。加えて、マガキなどは天然海域で発生する幼生を採取して養殖することが出来るので、福井県の海洋環境を最大限に活用した地域完結型の生産が可能です。昨夏、小浜湾で採取したマガキ種苗は成長が早く、約7か月で出荷サイズに到達しており、新たなブランド化（仮称：若狭桜かき）を目指しています。

### 先端育成科学分野 魚類種苗生産学

田原 大輔（たはら だいすけ） 教授

多くの養殖ではその種苗を天然で捕獲した稚魚に依存していますが、天然資源は不安定かつ減少傾向にあります。そのため、人工的に種苗を生産することができれば、安定かつ周年的に養殖を営むことが可能になります。福井県特産種のアラレガコ（カマキリ）を中心に魚類の効率的な種苗生産技術の開発に取り組んでいます。また、放流に頼らない増殖方法に関する研究も進めていきます。



### 先端育成科学分野 養魚育成管理学

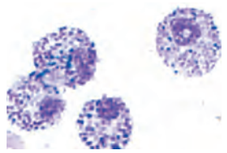
富永 修（とみなが おさむ） 特命教授

魚類養殖では、飼料代が経費全体の約6割を占めています。そのため、過剰な給餌は、環境汚染を引き起こすだけでなく、飼料経費の増大にもつながります。私たちは、食べ残しの餌の量を継続的にモニタリングすることで、食欲の時間変化を計測する手法の開発に取り組みました。現在、この技術を活用して、低コストで計画的に魚を養成する給餌ナビゲーションシステムの開発を目指しています。

### 先端育成科学分野 飼料栄養学

佐藤 秀一（さとう しゅういち） 教授

現在、世界の水産養殖業は目覚ましい発展を遂げております。今までは、水生動物に魚由来の原料で作った飼料を与えていましたが、水産養殖の発展に伴い原料の供給が難しくなってきました。そこで、魚を使わない飼料、すなわち植物性原料でつくる飼料の開発を行い、ベジタリアン養殖魚の創生を目指しています。



### ゲノム応用科学分野 魚病学

末武 弘章（すえたけ ひろあき） 教授

養殖業は世界的な成長産業です。同時に、魚病の発生も拡大しています。また、新たな養殖魚種へのニーズも増えていますが、それに伴い新しい病気も現れてきています。病原体と魚介類の両方を理解し、その相互作用として魚病をとらえ、その対策を考えていきます。

### ゲノム応用科学分野 免疫学

瀧澤 文雄（たきざわ ふみお） 准教授

養殖魚の感染症対策として免疫系を活性化させるワクチン接種が行われていますが、ワクチンがどのように魚に効いているのか不明な点が多いです。私たちはどうやって魚の免疫細胞がワクチンによって活性化して病原体を撃退しているか調べ、魚の免疫系の特徴を理解することにより、養殖魚を感染症から守ることを目指しています。

### ゲノム応用科学分野 水産育種学

奥澤 公一（おくざわ こういち） 教授

この分野では生物の姿形、色や大きい・小さいなど様々な性質を決定している遺伝情報（ゲノム）を利用して、水産物の育種に関する研究を進めます。人にとって望ましい、成長が良い、病気に強いといった性質を持つ魚介類をどうしたら効率よくつくれるかを考えます。性質を決める遺伝子の研究などにも取り組みます。

### ゲノム応用科学分野 生物工学

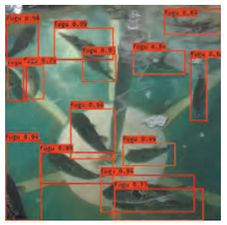
吉浦 康寿（よしうら やすとし） 教授

農作物や家畜では１万年以上の歴史があり、私たちの生活を豊かにする様々な品種があります。一方、魚類養殖はわずか50年のため、品種改良が遅れています。ゲノム編集などの新しい品種改良技術を魚介類に導入し、育種をスピード化することで安くて美味しい水産物を届けることを目指しています。

### 情報・社会科学分野 生命情報科学

西辻 光希（にしつじ こうき） 准教授

「海藻の花」を見たことがありますか?そうなんです、植物ではない海藻では、花が咲きません。人為的な交雑は難しく、海藻の品種改良は極めて困難です。けれども気候変動の影響もあり海藻生産量は世界的に減少していて、新たな品種が求められています。このような問題をゲノムや遺伝子という観点から、次世代シーケンサーを用いた生命情報科学で解決し、新たな海藻品種の作出を目指しています。



### 情報・社会科学分野 情報数理工学

八杉 公基（やすぎ まさき） 准教授

養殖水槽を泳ぐ魚の成長や健康状態を調べるためには、魚を水から出して計測するのが一般的です。しかしこの方法では、計測をすることで魚が弱ってしまう可能性がありますし、そのためにかかる労力も決して少なくありません。画像処理やAIを利用することで、水槽内を撮影した動画像から魚を検出して、魚の成長の様子や健康状態をモニタリングできる手法の開発に取り組んでいます。

### 情報・社会科学分野 水産情報解析学

渡慶次 力（と けし つとむ） 准教授

私たちは、とにかく現場に行き、漁業者等との意見交換を通して水産現場の課題を見つけ、関係者と一緒に取り組みながら、情報科学を駆使して課題を解決していきます。そのため、レーダーで海の流れを計測、ズワイガニ資源量の推定、養殖魚のブランド化など、他大学、国や地方公共団体、民間企業と協働しながら、情報科学を切り口に色々な研究を行っています。

### 情報・社会科学分野 養殖ビジネス学

東村 玲子（ひがしむら れいこ） 准教授

世界各地の水産業の現場を見て歩いています。カナダ、アラスカ州、インドネシア、ミャンマーなどで漁業と水産加工業の調査をしています。写真は、カナダで1週間毎日漁船に乗船させてもらった後で「もう乗組員として合格だな!」と言ってもらった写真です。

interview
在学生
インタビュー

インタビュー
◀動画はこちら

## 先生は学内だけじゃない！地域がまるごと学びの舞台

先端増養殖科学科　**山本 冴夏**（やまもと さえか）さん　福岡県立香住丘高等学校出身

海洋環境や魚の生態、食べるための魚介類など様々なことに興味があり、それら全てに関わる海洋資源系の学部を探していた時に県大を知りました。深く調べるうちに養殖に興味が湧き、養殖を専門的に学べる先端増養殖科学科への進学を決めました。

専門基礎科目の生物は複数の先生が授業を担当しており、様々な研究の話を聞くことができます。また、地域で水産業に関わる方々の話を聞く機会も多くあります。個人で小さな水族館を経営されている方の話など、水産業を多角的に捉えた学びや発見があり、水産と観光を組み合わせて地域を発展させたいと思うようになりました。今後AIを活用したスマート養殖について学び、卒業後は地元でその技術を活かしていきたいです。

地域の方々や先生方の多様な話を聞ける機会に恵まれ、小浜という地域ならではの学びがあることが県大の大きな魅力です。可能性に満ちた様々な経験が、ここならできると思います。

## 最先端の養殖技術を身に付け夢へと邁進！

先端増養殖科学科　**赤澤 瞬**（あかざわ しゅん）さん　香川県立高松商業高等学校出身

幼い頃から魚に興味があり、将来は自分の育った港町に水族館を造って地元を活性化したいという夢があります。養殖のノウハウを学んで夢の実現へと繋げたいと思い、先端増養殖科学科を選びました。魚を増やす技術や病気への対策、さらにIoTなどの情報技術を学ぶことは、魚を長期間飼育する水族館運営にきっと活かせると思います。

「フィールド演習」の授業では、九頭竜川付近の内水面研究施設でアユやサクラマスの人工授精を体験しました。座学だけでは得られない知識を、体験を通して楽しく学べます。また、少人数制なので先生との距離が近く、手厚い指導を受けられます。プレゼン資料を作った際には、懇切丁寧に添削して励ましてくださり、とても勇気づけられました。

2022年に新設されたばかりの先端増養殖科学科は、最先端の養殖の技術を学ぶことが出来る唯一の学科です。私たちと一緒に、これからの先端増養殖科学科の歴史を作っていきませんか？

## カリキュラム -Curriculum-　～4年間の学びの流れ～

| | | 1年次<br>水産増養殖を学ぶための教養を身に付ける | 2年次<br>水産増養殖の基本的な知識を学び応用力を養う | 3年次<br>社会とのつながりを意識して実践能力を高める | 4年次<br>課題を設定し、解決する能力を鍛える |
|---|---|---|---|---|---|
| 専門基礎科目 | | 生物学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ、数学基礎<br>海洋生物資源学フィールド演習 | 化学Ⅱ、科学者および技術者倫理<br>生物学実験、化学実験 | | |
| 学部共通 | | | 藻類学概論、分子生物学<br>大気・海洋学概論、生化学、漁業制度論 | | |
| 増養殖研究 | 基礎科目 | | 増養殖統計学Ⅰ、水産増養殖学概論<br>海洋生物学、魚類生理生態学<br>動物生理学、水族遺伝育種学Ⅰ | 基礎科学英語、専門科学英語 | |
| 増養殖研究 | 応用科目 | | 水圏種苗生産学、藻類養殖学、養魚育成学<br>魚類免疫学、水族発生工学、水産物流通論<br>水産経済学、国際海洋ビジネス論 | 飼料栄養学、水族病理学、水族遺伝育種学Ⅱ<br>生命情報科学、ICT応用工学<br>増養殖統計学Ⅱ、地域活性学 | 専攻演習<br>卒業論文 |
| 増養殖研究 | 幅広い視野の涵養 | | 食品安全管理論 | 水産資源学、水圏微生物生態学、水産施設工学<br>地学概論、沿岸海洋学、海洋化学、水産資源利用学 | |
| 実験・演習 | | | 増殖学実験、養魚育成学実験<br>魚類免疫学実験 | 増養殖環境学実験、遺伝育種学実験<br>情報科学演習、水産物流通演習、基礎演習 | |
| 実習 | | | 養殖学実習Ⅰ<br>養殖インターンシップⅠ | 養殖学実習Ⅱ、養殖インターンシップⅡ(海外)<br>インターンシップ | |

カリキュラム
詳細はこちら



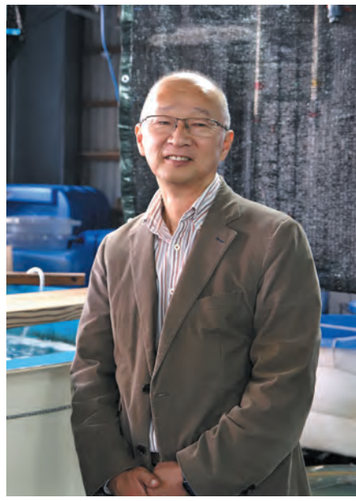
interview
教員
インタビュー

## 最新設備の整ったキャンパスで、立場を超えて学びを高め合う

ゲノム応用科学分野　**吉浦 康寿**（よしうら やすとし）教授

農作物などに比べて品種改良が遅れている魚類養殖。魚類の繁殖、性分化、免疫についての幅広い研究を基礎として、TILLING法（植物で開発された、突然変異を誘発する品種改良技術）やゲノム編集を養殖魚の品種改良に導入し、高成長なトラフグを作り出すことに成功しました。これらの技術を多くの魚介類でも利用できるように、基礎から応用まで広範囲に研究を行っています。新設されたかつみキャンパスは、最新機器を導入した実験室、飼育室等が整備されており、最先端の実験・実習が可能です。また、キャンパスの目の前には有名な釣りスポットがあり、四季を通じて色々な魚が釣れます。授業の合間に海釣りをすることもでき、釣りが好きな人にはたまらない環境です。

日々の学びの中で生まれるたくさんの疑問。それらを解決することは、知的好奇心と探求心を満たし、学びを楽しいものにしてくれるでしょう。私も楽しく教えながら、皆さんと一緒に学び続けたいと思います。



## 持続可能な飼育法の確立で、食料不足に立ち向かう

先端育成科学分野　**佐藤 秀一**（さとう しゅういち）教授

本学科は、水圏生物を生命科学的に研究し、水圏生物と共存しながら適切に利用する方法を教育・研究する学科です。その中で、魚類を持続可能な方法で飼育する方法について研究しています。刺身や寿司のネタになる魚の多くは肉食性で、小さな魚介類を餌としています。自然の魚介類を守るために、魚を使わない、大豆やトウモロコシ、昆虫、微細藻類などを用いた飼料の開発に取り組んでいます。深刻化する人口増加による食料不足に対応する手段として、食料供給の非常に重要な位置を占める研究であると考えています。

海の近くに立地したキャンパスは、実践的な教育・研究にとても適した環境で、勉学に集中できます。教員と密に接することができる少人数制も特長で、最先端の研究を行う教員たちと共に、楽しい研究生活を送ることができるでしょう。皆さんも、水圏生物の生命科学を学び、持続可能な利用について一緒に研究してみませんか。

## 卒業後の進路 -Future-

### キャリア展望

- **水産養殖に関する生産・育成の分野**
  民間企業、漁業協同組合などの養殖生産業、観賞魚生産、ペット産業
- **水産物の加工販売や水産ビジネスの分野**
  食品会社、水産加工会社、流通、商社、水産物販売、観光業、起業
- **情報・環境・コンサルタントに関連する分野**
  IT・Web関連、ソフト開発、環境調査会社、環境コンサルティング
- **水産増養殖に関連する技術開発・研究の分野**
  水産関連の国・地方・独立行政法人などの公設試験研究機関、民間研究機関、水族館、養殖関連機械・飼料生産メーカー
- **水産分野に関する政策立案・教育指導・国際貢献の分野**
  国・都道府県・市町村の公務員、教員、国際機関、青年海外協力隊
- **大学院への進学**

### 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（理科／水産）
  ※教職課程を修了することにより得られる。

### 資格要件が得られるもの

- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
  ※所定の単位修得が必要。採用者等が資格の有無を判断するので、就職後採用者等に確認すること。

# 看護福祉学部

看護学科／社会福祉学科

Faculty of Nursing and Social Welfare Sciences

## 看護福祉学部の特長 -Features-

### 1 看護学と社会福祉学の融合

看護学は医療・保健を対象とし、社会福祉学は生活・福祉を対象としますが、両学科は「人の健康と生活」を追求するという共通のテーマを有します。すなわち、人を健康と生活の両面から捉え、高い専門性と倫理観の習得ができます。

### 2 豊かな人間性と社会性の育成

地域住民との積極的な交流や、看護や社会福祉における実地経験を通して社会の一員としての自覚を養えます。また、米国の大学との定期的な人的交流を通して国際性を育めます。

### 3 デジタル教育技術の積極的活用

看護学科と社会福祉学科に共通の実習シミュレーションシステム導入と情報通信技術（ICT）利用による双方向性の遠隔教育を効率よく取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大時等においても質の高い学修を持続できます。

## 学部の概要 -Overview-

看護福祉学部は、看護学科と社会福祉学科の二つの専門性の高い学科からなります。看護学科では看護師・保健師、社会福祉学科では社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格を得ることができ、ともに高い合格率を維持しています。また、教員免許状（養護教諭一種あるいは高等学校教諭一種（福祉））の取得もできます。

看護福祉学部

# 看護学科

ヒューマンケアの理念のもと、人々の健康生活を支援できる専門的人材の育成を目指しています。少人数教育を通して看護およびその対象である人間と生活への理解を深め、人々の多様なニーズに対応できる知識と技術を修得できるよう支援します。学生が相互に刺激し合えるようグループワークやディスカッションを多く設けています。また、保健・医療・福祉の包括的な視野を持ち、多職種と連携・協働しつつリーダーシップを発揮できる人材を育成しています。

## 学びのポイント -Point-

### 1 情報通信技術（ICT）を活用した演習により臨床判断能力を培う

福井県内の大学で初導入の「多職種連携ハイブリッドシミュレータ」を演習、実習でフル活用しています。多様な事例を用いて、看護の専門的知識の活用能力と臨床判断能力、技術力の向上を目指します。

### 2 地域高齢者とのふれあいでコミュニケーションの土台を築く

1年次前期に開講される「健康生活支援演習」では、地域高齢者とのふれあいを行います。この演習を通して入学後早い段階から対象理解・関係性構築のためのコミュニケーション能力を身に付けることができます。同時に地域住民の生活と健康の課題について考察し、その結果を永平寺町と共有しています。

### 3 地域、在宅、病院、施設の場で看護の実際を学ぶ

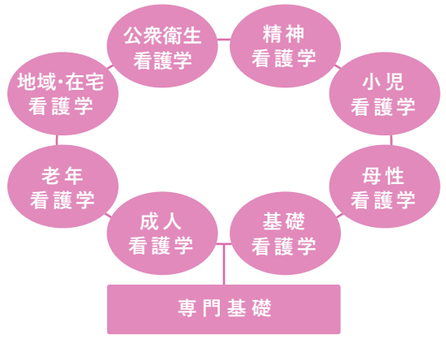
看護学実習は1年次から行われます。県・市町の行政機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、施設など多様な現場で対象者のライフサイクルや健康レベルに応じた看護を実践します。実習を通して豊かな感性を育み、倫理観を高めていきます。同時に、地域住民・個人・家族の多様なニーズに対応できる実践力が身に付きます。

### 4 看護におけるマネジメントや研究の基礎を学ぶ

4年次開講の「看護マネジメント実習」では看護の現場におけるリーダーシップやマネジメントについて学びます。「卒業研究」では研究のプロセスを踏むことにより研究の基礎を学びます。この過程を通して看護職に必要な科学的思考力と看護の専門性を探求する態度が身に付きます。

## 学科の特長 -Features-

**専門基礎領域と8つの看護学領域において専門的知識と技術、看護実践を学びます**



## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | **看護の基礎**<br>一般教育科目や社会福祉学科との共通関連科目、専門基礎科目を履修します。専門基礎科目では人体の構造・機能や病気の成り立ちなどを学び、専門科目では基礎看護技術、看護理論など看護の基礎を学びます。 | **看護の対象・場の理解**<br>看護の対象である、さまざまなライフサイクル・健康レベルにある人々や病院・施設・在宅などの療養生活の場を理解する専門科目が加わります。2年次前期には病院に入院中の患者を受けもつ基礎看護学実習があります。対象に必要な日常生活援助を実践しながら、看護職としての高い倫理観を育み、看護過程を展開する基本的能力を修得します。 | **看護の実践**<br>3年次前期はライフサイクルと健康レベル、看護の場に応じた看護の実践方法について学びます。後期は看護学実習です。病院・施設・在宅などの場で多様な人々と信頼関係を築きながら、広く深く看護の実践能力を身に付けます。保健師の資格取得を目指す人は、看護学実習終了後、公衆衛生看護学に関する科目を履修し4年次の実習に備えます。 | **看護の発展**<br>学修領域が看護の発展へと広がり、看護マネジメント学、災害看護学、看護情報学などを学びます。また最終実習である看護マネジメント実習があります。卒業研究では関心のあるテーマについて、教員の指導のもと、自主的・計画的に研究を遂行し卒業論文を完成させます。 |
| 共通関連科目 | | 病気・人間・社会<br>福祉のまちづくり論 | 社会政策、居住福祉論<br>医療福祉工学、社会調査の基礎 | | |
| 専門基礎科目 | | 解剖生理学I・II、臨床病態学I・II<br>精神保健、公衆衛生学<br>社会保障・社会福祉概説 | 臨床栄養学・生化学、臨床薬理学<br>微生物・免疫学、病態生理学、臨床病態学III・IV<br>疫学、保健医療福祉行政論、保健統計学 | | |
| 専門科目 | 看護の基礎 | 看護学概論、看護理論、基礎看護技術<br>臨床看護技術、健康生活支援演習<br>基礎看護学実習 I | 看護過程展開論<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習 II、看護倫理学 | | |
| 専門科目 | 看護の対象・場の理解と実践方法 | | 母性看護学概論、小児看護学概論<br>成人・老年看護学概論、緩和ケア論<br>急性看護学、セルフケア支援論<br>老年看護援助論、地域・在宅看護学<br>精神看護学概論、精神看護学<br>公衆衛生看護学概論、保健指導論<br>公衆衛生看護活動論I、学校保健I | 母性看護学、母性看護学演習、小児看護学<br>小児看護学演習、急性看護学演習<br>セルフケア支援演習、老年看護援助演習<br>地域包括支援論、地域・在宅看護学演習<br>精神看護学演習、公衆衛生看護活動論II<br>政策形成過程演習、公衆衛生看護技術I・II・III<br>公衆衛生看護管理論、産業保健論、学校保健II | |
| 専門科目 | 看護の実践 | | | 母性看護学実習、小児看護学実習、急性看護学実習<br>セルフケア支援実習、緩和ケア実習<br>老年看護援助実習、精神看護学実習<br>地域・在宅看護学実習、地域包括支援実習 | 公衆衛生看護活動展開実習<br>公衆衛生看護管理実習 |
| 専門科目 | 看護の発展 | | | 看護研究方法論 | 卒業研究、看護マネジメント学、看護マネジメント実習<br>看護教育学、災害看護学、看護情報学、看護倫理発展セミナー<br>がん看護発展セミナー、生殖看護発展セミナー<br>小児看護発展セミナー、精神看護発展セミナー<br>家族看護発展セミナー、認知症看護発展セミナー |

### PICK UP CLASS

#### 人体の「構造」と「機能」を理解し実践に活かす！

**解剖生理学**

水谷 哲也（みずたに てつや） 教授

解剖生理学では人体の「形態」と「はたらき」を学び、人が生きるしくみを理解していきます。これは専門看護領域や病気の発症機構を学ぶ上で必要な基礎知識になります。医療に携わる上で基盤となる科目ですが、初めて聞くたくさんの専門用語や複雑なしくみを理解するのは大変かもしれません。しかし、解剖生理学を理解してくると人体の精巧で巧妙なしくみに魅了されます。この授業を通して、将来にわたって実践で活用できる知識になるよう学修します。

#### 問診・視診・触診・打診・聴診を駆使し、全身の状態を判断する技術

**フィジカルアセスメント**

大島 千佳（おおしま ちか） 教授

フィジカルアセスメントとは、問診・視診・触診・打診・聴診などの身体診査を用いて、対象の状態を判断する技術であり、対象の状態に合わせた適切な看護ケアを選択・実施するために不可欠なものです。「フィジカルアセスメント」演習では、最新のシミュレータを用いて、対象のどの部位を、何のために観察するのか、そこで得られる観察内容はどのような意味があるのかを考え、教員やグループメンバーとのディスカッションを通して学習します。

インタビュー動画はこちら▶

interview 在学生インタビュー

## 実践的な学びで一人一人に合った看護を

看護学科
**四ツ井 智香**（よつい ともか）さん　福井県 仁愛女子高等学校出身

1年次に基礎を丁寧に学ぶことができるカリキュラムや少人数教育に魅力を感じて県大の看護学科を選びました。また県大は一般教育科目が豊富で他学部との交流も盛んなので、専門知識だけでなく幅広い知識や教養、協調性を身に付けることもできます。

学生同士で患者役・看護師役を演じるロールプレイングや高齢者疑似体験といった演習が多いのも特長です。座学だけでは得られない知識が身に付き、さらにグループディスカッションを通して様々な視点から学びを深めることができます。看護の現場では学びと実践が異なるケースもありますが、対象理解が深まる実践的な演習によって、個々人に合わせた看護が可能になるのだと実感しています。先生方も一人一人に親身になって丁寧にフォローアップしてくださるので、安心して大学生活を送ることができています。

よさこいのサークル活動も楽しく、大変だけど日々充実しています。友人との時間やアルバイト、サークルなど、学業以外にも大学生活には楽しみがたくさん！ぜひ県大で夢や可能性を広げてください。

interview 卒業生インタビュー

## 実習で得たスキルを生かして子どもに寄り添った養護教諭に

越前町立萩野小学校 勤務
**宮腰 美来**（みやこし みらい）さん　2021年度卒業

養護教諭として保健室来室者の対応のほか、環境衛生管理や学校医との連携など、子どもの心身の健康と健やかな学校生活のサポートに努めています。学校で唯一の存在だからこそ、しっかりと看護の専門知識を持った養護教諭になりたいと考え、看護も教職課程も充実している県大を志望しました。

実習では、患者さんとの関わりの中で、視る・触わるといった五感を活用して身体を看るフィジカルアセスメント力が培われました。教育現場でも子どもの不調の原因を判断する際に役立っています。また、非言語コミュニケーションの大切さも学びました。上手く言語で表現できない子どもの表情や行動の小さな変化を見落とさず、その子の思いや悩みに寄り添っていけるよう心がけています。

実習はとにかく日々の記録が多くて大変でしたが、行き詰まったときには先生が精神面でも生活面でも相談に乗ってくださり、困難を乗り越えることができました。学んだことを実践で活かすことができ、有意義な実習になったと思います。学生に寄り添い親身になってサポートしてくれるのは、県大の大きな強みだと思います。

## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

**100%**

就職 95.6%　進学 2.2%　その他 2.2%

医療・福祉 83.7%　公務 9.3%　教育 7.0%

### 卒業生の主な就職先（過去5年間）

#### 看護師

［福井県内］福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井厚生病院、福井循環器病院、光陽生協病院　など

［福井県外］金沢大学附属病院、名古屋大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、関西医科大学附属病院、国立がん研究センター、東京慈恵会医科大学附属病院、杏林大学医学部付属病院、大阪赤十字病院、兵庫県立こども病院　など

#### 保健師

都道府県、市町村、企業

#### 養護教諭

小学校、中学校、高等学校

### 進学

大阪大学大学院、敦賀市立看護大学（助産学専攻科）、札幌市立大学（助産学専攻科）　など

■ **大学院　修士課程・博士後期課程への進学**

2023年度より大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）が開設されます。福井県内の看護系大学では初の博士後期課程となります。大学4年間で学んだことを、修士課程で発展させ、さらに博士後期課程へ進学するという一貫した教育を受けられます。

博士後期課程では、看護学と社会福祉学を融合した領域横断的な視点から研究を行います。大学院へ進学することで、看護学を深めるだけでなく、健康課題と生活課題の両方の視点から考えられる視野の広い、実践者、教育・研究者への道が広がります。

### 取得可能な資格・免許状

■ **看護師国家試験受験資格**

■ **保健師国家試験受験資格**
※保健師課程の単位を修得することにより得られる。

■ **養護教諭一種免許状**
※教職課程の単位を修得することにより得られる。

### 国家試験合格率

■ 看護師 **97.8%**

■ 保健師 **96.3%**

# 社会福祉学科

ソーシャルワーカーとは、自分自身と社会資源を活用して、発達、疾病、障害、育児、介護、高齢、貧困、虐待、暴力などによる生きづらさを抱えている人を支援する専門職です。本学科では、講義・演習・実習を組み合わせて、クライアントとのつながりや地域との関わりを体験しながら学び、クライアントに共感できる豊かな感受性を育みます。多様な人々がつながりあって暮らせる社会を創造するための実践力をもつ人材を育成しています。

## 学びのポイント -Point-

### 1 看護学科との共通関連科目により医療・保健の知識も修得

健康の概念や病気・障害の特性を知っておくことは、社会福祉士や精神保健福祉士が相談・支援活動を行ううえで極めて有用です。
看護学科との共通関連科目により、実践で役立つそれらの知識を幅広く得ることができます。

### 2 少人数教育で きめ細やかに学修指導

徹底した少人数方式で指導します。多彩な専門分野の教員が学生の個性を尊重しながら、福祉現場での実習から卒業研究、資格取得まできめ細やかに学修指導を行います。

### 3 社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格、教員免許状の取得

社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することが可能です。さらに教職課程を選択すれば、高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得することができます。

## 学科の特長 -Features-

本学科は「日本一小さい社会福祉学科」であり、徹底した少人数指導によって、人間と環境の相互作用を把握する能力やそこに介入する能力、他の専門職・関係機関と連携する能力を育み、幅広い分野で役立つ教育を行います。1年次から4年次までの体系的な学びを通して、ソーシャルワーカーとして欠かせない人間の尊厳、人権擁護、社会正義などの視点や、クライアントの抱える課題を個人と社会との関係から捉える総合的な課題解決能力が身に付きます。





## カリキュラム -Curriculum- ～4年間の学びの流れ～

| | 1年次<br>社会福祉の基本と共通科目を学ぶ<br>多様な一般教育科目とともに、共通関連科目で医療・保健・福祉の接点を学びます。また、社会福祉学概論などの専門科目を通じて、ソーシャルワーカーへの学修の歩みを始めます。 | 2年次<br>専門科目の学びが本格的に<br>社会福祉について幅広く学んでいきます。さらに社会福祉基礎演習（ゼミ）では、情報収集やプレゼンテーションの方法などの基本的な技術も学びます。 | 3年次<br>援助技術を身に付け現場実習を行う<br>演習と実習指導を通じて、ソーシャルワーカーとして必要な価値、知識、技術などを修得します。後期には県内の社会福祉関係機関や施設で2か月弱のソーシャルワーク実習（選択）を行います。 | 4年次<br>卒業研究に取り組みソーシャルワーカーとしての知識を総合する<br>前期には、精神保健ソーシャルワーク実習（選択）を行います。また4年間の学修のまとめとして卒業研究を提出します。さらに、学科内のサポートのもとで、2つ（社会福祉士・精神保健福祉士）の国家試験の受験に備えます。 |
|---|---|---|---|---|
| 共通関連科目 | 病気・人間・社会<br>居住福祉論<br>福祉のまちづくり論 | 社会政策、医療福祉工学<br>社会調査の基礎 | | |
| 専門科目 | 社会福祉学概論<br>社会理論と社会システム<br>法学概論、現代人権論<br>医学概論<br>ソーシャルワーク論／演習 | アンケート調査の設計と分析<br>社会保障論、児童家庭福祉論<br>高齢者福祉論、障害者福祉論<br>社会福祉発達史、地域福祉論<br>国際福祉論<br>スクールソーシャルワーク論<br>ケア概論、所得とニーズの保障<br>社会問題論、民法（家族法）<br>発達心理学、心理学概論<br>精神医学、精神保健<br>精神保健福祉の原理<br>ソーシャルワーク論／演習／実習指導 | 公的扶助論、保健医療と福祉<br>更生保護論、社会福祉管理運営論<br>ソーシャルワーク特別講義<br>権利擁護を支える法制度<br>精神障害リハビリテーション論<br>精神保健福祉制度論<br>ソーシャルワーク演習／実習／実習指導<br>精神保健ソーシャルワーク論／演習／実習指導 | 共生社会論<br>社会的起業論<br>ソーシャルワーク特別講義<br>精神保健ソーシャルワーク演習／実習指導／実習 |
| 総合部門 | 現代福祉問題論、入門演習 | 社会福祉基礎演習、外書講読 | 社会福祉演習 | 卒業研究 |

## PICK UP CLASS

### 本質を探究していく面白さ

**精神保健福祉の原理**

岡田（おかだ） 隆志（たかし） 准教授

精神保健や障害者福祉を学ぶにあたって基盤となる「障害のある人をどう捉えるか」「精神の障害とはどのような状態か」「精神障害のある人を取り巻く社会環境はどのようなものか」といった問いに対して、多面的な視点や様々な価値基準をもとに探求していきます。その過程を通じて、特に精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの理解を深め、実践する意義を学んでいきます。

### 多文化な視点から ソーシャルワークを考える

**国際福祉論**

舟木（ふなき） 紳介（しんすけ） 准教授

グローバル化する現代社会におけるソーシャルワークの課題について、多文化な視点からソーシャルワークの理論、実践を学びます。特に、多文化・多言語の背景を持つ滞日外国人やその子どもたちの多様な暮らしの課題と支援方法について、映像や外部講師の講義を交えて考えます。また、難民問題、国際養子縁組などの国際的な福祉の課題についても扱います。

インタビュー動画はこちら▶

interview 在学生インタビュー

## 医療の現場で福祉の学びを活かした支援を

社会福祉学科
谷元（たにもと） 剛希（ごうき）さん　大阪府立豊中高校出身

もともと医療に関心があり、福祉の分野から医療に関わることができると知って社会福祉学科を選びました。社会福祉士と精神保健福祉士の2つの国家試験の受験資格が取得可能なこと、高齢者・障害・児童・医療など幅広い福祉の分野を学べることも魅力でした。将来は医療の現場の中で、福祉の視点を持ちながら患者を支援していきたいと考えています。

ゼミでは各自関心があるテーマを調べ、プレゼンを行います。私は睡眠障害などの障害分野を研究しましたが、他の人のプレゼンから多様な知識を得られることもゼミの楽しさの一つです。授業は少人数制で対話やコミュニケーションを重視した科目が多く、先生方と深く関わることができます。先輩との交流の時間を設けてくださり、実習や就活、国家試験対策などのアドバイスをもらうこともできました。

4年次に行われる精神保健福祉の実習準備や就活、部活動などで日々忙しく過ごしていますが、自然が多く、落ち着いた環境で学業にもしっかり集中できています。部活やサークル活動も楽しみながら、充実した学生生活を送ってください。

interview 卒業生インタビュー

## 価値観が覆る刺激的な学びとあらゆる経験を成長の糧に

社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会 勤務
松山（まつやま） ひなたさん　2020年度卒業

地域福祉コーディネーターとして、地域福祉の推進や誰もが住みよいと感じる地域づくりを行っています。日常的な相談対応など様々な活動の中で日々住民の皆さんと顔を合わせるので、「誰のために仕事をしているか」ということを常に実感でき、嬉しい言葉も厳しいご指摘も直接受け取れる点が、この仕事の魅力でありやりがいでもあると思います。

社会福祉学科では、自分の「当たり前」を覆される日々の連続でした。様々な境遇の方の多様な生活に触れ、「毎日ご飯を食べて学校に行ける」ことが当たり前ではないと痛感しました。「何かしなくては」という使命感を抱くようになったと同時に、人それぞれが持つ個性を受容する姿勢も培われ、今の仕事にも大いに役立っていると感じます。

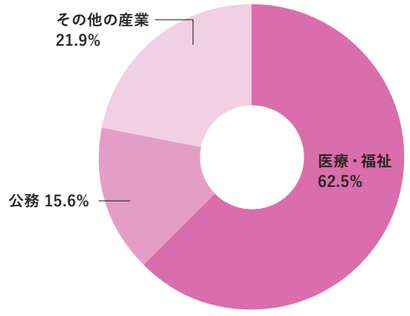
専門分野の学修だけでなくサークル活動や留学、アルバイトなど色々な経験を通して、たくさんの方と出会い、人間的に大きく成長できた4年間でした。将来自分がどんな仕事に就きたいか、まだ漠然としている方もいるかと思いますが、県大は自分の気持ち次第で多くの将来のヒントを得られる場所だと思います。

## 卒業後の進路 -Future-

### 就職率（2022年度卒業生）

100%

就職 91.4%　進学 2.9%　その他 5.7%




### キャリア展望

- **生活相談員・生活支援員**
- **高齢者施設職員**
- **障害者支援施設職員**
- **児童指導員**（児童福祉施設）
- **福祉活動専門員**（社会福祉協議会）
- **ケースワーカー**（福祉事務所）
- **児童福祉司**（児童相談所）
- **医療ソーシャルワーカー**
- **スクールソーシャルワーカー　など**

### 卒業生の主な就職先（過去5年間）

［福井県内］光道園、足羽福祉会、六条厚生会、永平寺町社会福祉協議会、かすみが丘学園、福井県済生会病院、福井循環器病院、福井村田製作所、坂井市社会福祉協議会、福井県庁、福井市役所　など

［福井県外］各種社会福祉法人、日本年金機構、石川県庁、金沢市役所　など

### 取得可能な資格・免許状

- **社会福祉士国家試験受験資格**
  ※指定科目を修了することにより得られる。
- **精神保健福祉士国家試験受験資格**
  ※指定科目を修了することにより得られる。
- **高等学校教諭一種免許状（福祉）**
  ※教職課程の単位を修得することにより得られる。

### 国家試験合格率

※大学等の新卒者の合格率

- **社会福祉士**　93.5%　全国平均 65.0%
- **精神保健福祉士**　100%　全国平均 78.8%

厚生労働省から発表された2022年度国家試験の学校別合格率において、本学は全国平均を上回る高い合格率を示しています。

一般教育

# 学術教養センター

Center for Arts and Sciences

## 学術教養センターの概要 -Overview-

学術教養センターは、全国でも珍しい一般教育科目のための専門の機関です。それは本学が、一般教育を学生の人格形成を担う「教養教育」として捉え、各学部での専門教育と同じように重視しているしるしです。

# 学生が語る 県大一般教育の魅力

## 多彩な一般教育科目

**梶：**県大では多彩な一般教育科目が開講されていて、自分の興味に合わせて自由に選ぶことができます。皆さんの印象に残っている科目は何ですか？

**上田：**「コケの世界」がおもしろかったです。植物学の観点からコケについて学ぶだけでなく、学内の敷地を巡ってコケを探して観察したり、採取したコケでテラリウムを作ったりと、コケ一つからさまざまなことが体験できて楽しかったです。

**橋本：**「スポーツ科学」です。個人や社会における健康問題を学ぶと同時に、自分が生活や運動する上で必要な知識を学ぶことができました。授業で得た知識で本格的なダイエット計画を作るなど、実生活にも役立っています（笑）

**江守：**「哲学」です。偉人たちの名言を用いて分かりやすく説明してもらい、教養とは何かについて考えるきっかけになりました。

**橋本：**「国際政治学」や「政治学」などの授業も印象に残っています。先生の分かりやすい解説によって、ニュースや新聞を読むだけでは理解できなかった政治や社会情勢の動きについて理解や関心が深まりました。

**梶：**県大の一般教育には、大学で学ぶための基本的なスキルを身につける1年次の「導入ゼミ」・「教養ゼミ」と、2年次以降にさらに教養を深める「学術ゼミ」があります。皆さんはゼミでの経験はどうでしたか？

看護福祉学部 社会福祉学科
橋本（はしもと） 都（みやこ）さん

生物資源学部 生物資源学科
江守（えもり） 祐汰郎（ゆうたろう）さん

**江守：**導入ゼミ、教養ゼミで「法学」を選択しました。大学生に考えてほしいトピックに絞り判例を紹介され、法解釈について時間をかけて取り組みました。私は生物資源学専攻ですが、法学の楽しさに触れることができました。

**梶：**私は学術ゼミの「国文学」が印象に残っています。小説を読む楽しさや、登場人物の行動を論理的に分析していくことを学びました。少人数のゼミ形式のため先生との距離が近く、いろんな話をしてもらえました。

**上田：**ゼミはアットホームで自分の思っていることを話しやすい雰囲気ですよね。

**橋本：**少人数で行われるため、自然と他の学部の人と仲良くなれて、友だちが増えて良かったです。

## 一般教育科目を学ぶ意義

**梶：**専門教育科目とは別に一般教育科目を広く学ぶことについてどう思いますか？

**上田：**元々人間の心理に興味があったので、自分の専攻の海洋生物資源学とは別に、哲学や心理学についても学べるのがうれしかったです。自分の興味のある分野を学べることは純粋にうれしいし、関心が広がっていく感覚が楽しいです。

**江守：**自分の専攻以外の分野を学ぶことで視野が広くなっている感覚があります。これから生物資源学について専門知識を身に付けていくためのヒント、土台になったと感じます。

**橋本：**社会福祉学と一般教育の他の学問分野では物事の捉え方が変わるのがおもしろいと感じました。たとえば人権や福祉に関する社会問題について、福祉の視点だけで考えてしまいがちですが、一般科目を履修したことで他の角度からも考えられるようになりました。

**梶：**自分の専攻した分野の専門的知識を深めるだけではなく、幅広い分野の一般教養に触れたことで多様な視点から物事を考えられるようになった気がしますね。

## 県大の一般教育の魅力

**梶：**最後に県大の一般教育の良さを教えてください。

**橋本：**県大では一般教育科目が充実しているので、専門以外の幅広い分野に興味を向けるチャンスがあります。また、一般教育科目の受講を通して他の学部の人とも仲良くなれます。

**江守：**おもしろい先生が多く、講義は楽しいしためになります。先生と学生の距離が近いので気軽にディスカッションできるし、先生にいろんな話をしてもらえるのがいいところです。

**上田：**びっくりするくらい多種多様な科目があるので、少しでも気になる講義があったら受講してみると楽しいと思います。

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科
上田（うえだ） 睦姫（むつき）さん

経済学部 経営学科
梶（かじ） 知聖（ちしょう）さん

## 一般教育プログラムの4特長 -Features-

### 1 初年次ゼミ

**大学生になる**

ゼミとは、少人数で参加者が自ら学びを深める大学特有の授業形式です。「読む」「書く」「伝える」「議論する」「調べる」といったアカデミック・スキルを実践的に学べるよう、本学では1年次に導入ゼミ（前期必修）・教養ゼミ（後期選択）を設けています。自分の興味関心に応じて選んだクラスで、「生徒」から「学生」への第一歩を踏み出します。

**教養ゼミ（じっくり考える）**　大石（おおいし） 善隆（よしたか）教授

このゼミでは、「日常のちょっとした疑問への答えを探すこと」をテーマとして、大学での学びや研究に取り組むために必要な作法・技術を磨いていきます。また、グループワークなどを通して他学部・学科の学生との交流を促進し、学生の視野を広げることも目指しています。

### 2 基礎科目／外国語・情報・体育

**学びの基礎体力をつける**

大学での学びには、世界に目を向けるための基礎的な語学力と、レポート作成やデータ処理のための情報処理能力が必要です。また、健康の維持・増進も、大学生活を送る上で欠かせません。本学では外国語・情報・体育を必修にし、一人ひとりに目が届くクラス規模のもと、学生は基礎的かつ実践的な知識・技能・体力を修得します。

**体育実技Ⅲ（スクーバダイビング）**　石原（いしはら） 一成（かずなり）教授

本授業はスクーバダイビングのCカード取得を目的として、学科講習、プール実習、海洋実習を行います。座学だけではなく学外に出て体験・学習するフィールド型授業で、福井県内の観光業やインストラクターという職業を知る機会にもなります。

### 3 講義科目

**幅広い教養を育む**

社会科学・自然科学を中心とする各学部の専門科目とは別に、人文科学の科目群をはじめ豊富な講義科目を開講しています。さまざまな知見にふれ、グループワークなどで学部・学年が異なる学生と意見を交換し、またオムニバス講義や地域科目などを通じて多くの教員とふれあうことで自分の専門を捉え直し、幅広い教養を育みます。

**地理学**　石丸（いしまる） 香苗（かなえ）教授

世の中の事象を空間的に整理・分析する力をつけ、様々な分野にその能力を応用できることを目標とします。授業はフィールドワークやワークショップ、ディスカッションなどを含み、能動的に考える姿勢を大切にしています。

### 4 アドバンスト科目

**教養をさらに深める**

主に2年次以降向けの「アドバンスト科目」は、他大学にはあまり見られない福井県立大学の一般教育・教養教育の特長です。専門のゼミだけでなく、学生はそれぞれの興味関心に応じて一般教育のゼミ（「学術ゼミ」）や英語のゼミ（「英語特論」）などを選択し、少人数での議論・交流によって教養をさらに深めることができます。

**英語特論ⅡF**　長岡（ながおか） 亜生（あき）教授

比較文化をテーマに日本の絵本や児童書が、海外に向けてどのように翻訳されているのかを検証します。作品の英訳版を「逆翻訳」し、日本語原作との比較検討を通して、各言語の構造の違いや特徴に気づき、作品の背景にある文化についても理解を深めます。

## カリキュラム -Curriculum-

| 基礎科目 | 自由科目 |
|---|---|
| **ゼミ**<br>▶導入ゼミ ▶教養ゼミ | **A　大人数講義**<br>▶哲学 ▶西洋史 ▶言語学 ▶文学概論 ▶国文学 ▶社会学 ▶法学 ▶神話学 ▶地理学<br>▶東アジアの文化と社会 ▶解析学 ▶恐竜学 ▶福井を学ぶ ▶スポーツ科学 ▶心理学<br>▶コケの世界 ▶地（知）の拠点 大学による地方創生推進事業開講科目 ほか |
| **外国語**<br>▶英語 ▶中国語 ほか | **B　少人数講義・演習**<br>▶言語文化（ロシア） ▶運動処方論 ▶情報処理 ▶プログラミング ほか |
| **情報**<br>▶情報基礎演習 ほか | **C　少人数ゼミ**<br>▶学術ゼミ ▶英語特論 |
| **体育**<br>▶体育実技Ⅰ～Ⅲ | |

教員情報は
HPをチェック!!

# 情報センター Center for Information Science

**数理・データサイエンス・AI教育、学びのDXを推進する**

本学では、2023年4月に「情報センター」を開設しました。情報センターでは、専門教育の基盤となる知識を養い、情報活用能力や技能を育成するために、全学共通教育として、数理・データサイエンス・AI基礎教育を提供しています。また、教育・研究活動を支援するため、学内ネットワークや各種情報システムなどのICT環境を整備するとともに、学びのDXを推進しています。

開設にあわせ、学生が自分のノートパソコンを持参して学ぶBYODに対応した授業のほか、個人・グループでの自主学習にも利用できるアクティブ・ラーニング室を新設しました。また、学生のパソコン利用に関する様々な相談にも応じています。

アクティブ・ラーニング室

# 大学院

Graduate School

## 「知の活用」を学び、豊かに現代社会を生き抜く人材を育てる

日々複雑化・高度化する社会の課題を解決し、持続可能な社会を実現する鍵は、「知の活用」にあります。本学大学院には、特色のある４研究科８専攻が設置され、「知の活用」を学ぶ上で最適な学修環境を提供し、専門的知識・能力の活用を図る人材の育成と高度な学術研究を推進しています。

## 経済・経営学研究科

経済・経営学研究科では、学部からの進学者だけではなく、海外からの留学生、現役の社会人、退職後にあらためて深い学びを希望する方など、多様な院生が互いに刺激し合いながら研究に励んでいます。大学院での研究には、教員からの知識を受け身で学ぶだけでなく、主体的に自らの研究課題を設定し、先行研究を調べ、新たな知見を得ようとする姿勢が求められます。学術論文として研究の成果を発表するまでの道のりは決して楽なものではありませんが、本研究科には皆さんの一連の研究をしっかりとサポートすることのできる教員が揃っています。また、教員との距離が近いという本研究科ならではの特長もあります。

### 地域・国際経済政策専攻 ｜ 博士前期課程 2年

- 経済学に基礎を置き、地域公共政策、国際経済の研究を行います。
- 修士論文を書いて、修士（経済学）の学位を取得できます。

### 経営学専攻（ビジネススクール） ｜ 博士前期課程 2年

- 経営学に基礎を置き、企業経営・管理の研究を行います。
- 修士論文、またはプロジェクト研究に取り組み、修士（経営学）の学位を取得できます。

### 経済研究専攻 ｜ 博士後期課程 3年

- 理論と政策を一体化させた高度な学術研究を行います。
- 博士論文を書いて、博士（経済学）の学位を取得できます。

## 充実した支援制度

### 長期履修制度

博士前期課程／修士課程／博士後期課程

職業を有している等の事情により、２年（後期課程は３年）では履修が困難な場合、２年（同３年）分の授業料で３年または４年（同４年、５年または６年）かけて履修することができます。

### 教育訓練給付制度

経済・経営学研究科（博士前期課程）
看護福祉学研究科／健康生活科学研究科

一定の条件（雇用保険上）を満たし修了した院生に対し、授業料等の２割（上限10万円）に相当する額をハローワークから支給する教育訓練給付制度の講座に指定されています。

※令和5年度は経済・経営学研究科 地域・国際経済政策専攻を除く。

### ティーチング・アシスタント

博士前期課程／修士課程

学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

### リサーチ・アシスタント

博士後期課程

教員が行う研究プロジェクト等において、研究補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

### フィールドワーク研修旅費助成

博士前期課程／修士課程

授業の一環として、実地調査、情報収集等の研究活動を行う場合において、その研修に要する旅費を助成します。

### 学会参加旅費助成

博士後期課程

研究領域の最新情報の把握と自らの研究成果発表を行う場合において、その学会参加に要する旅費を助成します。



## 看護福祉学研究科

看護福祉学研究科は、看護学専攻と社会福祉学専攻からなり、医療・看護学から社会福祉学までの幅広い領域を対象として扱います。両専攻が共に学べる共通科目を置くとともに、それぞれの専門科目も学修できるようにボーダーレスなカリキュラムを組んでいます。研究において必要な高度な専門知識、方法論、論理的思考や生命倫理を指導します。また、通信情報技術（ICT）の積極的活用による遠隔での授業・研究指導にも対応します。Virtual Reality（VR: バーチャルリアリティー）などの手法の利用や他専門分野との融合研究も推進します。将来の高度専門職・研究者・教育者を担うリーダーとなる人材を育成します。

### 看護学専攻 ｜ 修士課程 2年

- 看護学専攻は看護マネジメント学、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母子看護学、精神看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学の8領域を設けています。
- 看護マネジメント学領域は日本看護協会の認定看護管理者審査要件を満たしています。
- 養護教諭一種免許状を有している人は、「養護教諭専修免許状」を取得できます。
- 修士（看護学）の学位を取得できます。

### 社会福祉学専攻 ｜ 修士課程 2年

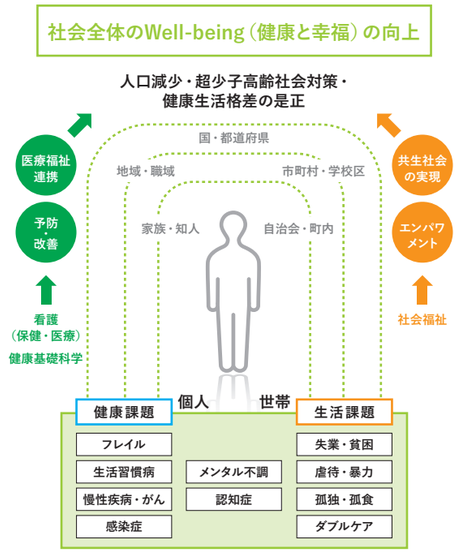
- 社会福祉学専攻は、北陸で最初に開設された福祉系大学院です。
- 毎年行われる研究報告ワークショップや中間発表会で研究のブラッシュアップを図ります。
- 修了生は、福祉・保健・医療・教育・司法・労働等の多方面の分野で全国的に活躍しています。
- 修士（社会福祉学）の学位を取得できます。

## 健康生活科学研究科 2023年4月開設

健康生活科学研究科は、2023年（令和５年）４月に開設されました。看護系の博士後期課程としては、福井県内では初めての設置となります。本研究科では、保健・医療を担う看護学と福祉を担う社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に研究する「健康生活科学」という学問領域を新たに立ち上げ、「Well-being（健康と幸福）に向けた共生社会」を目指す研究の推進と研究者の育成を目的とします。

### 健康生活科学専攻 ｜ 博士後期課程 3年

- 健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な研究者、基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる大学教員や行政担当者を養成します。
- 博士（健康生活科学）の学位を取得できます。

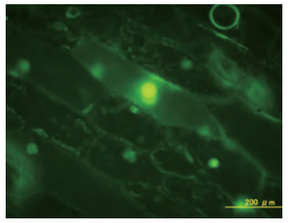


# 生物資源学研究科

## 生物資源学専攻 | 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

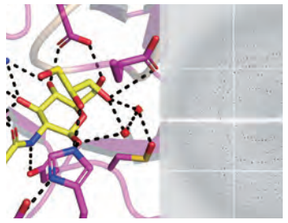
豊かな自然に囲まれた地域特性を活かし、微生物、動物、植物を含む多様な生物資源を作出・開発したり、これらの生物資源を素材とする遺伝子、酵素・タンパク質、代謝産物など分子レベルで生物機能を解明し、これらの成果に基づく応用開発を行います。加えて、有用微生物や食品の機能性について探求し、暮らしに役立てる実学志向の研究を実施し、環境との調和を考える上で重要な植物資源の保護や古生物学なども研究しています。

### 分子生物学




生化学、分子生物学、分子細胞生物学の手法を用いて、高等植物細胞の諸機能を支える遺伝子やタンパク質の働きを解明することを目指しています。具体的には、高等植物が保持するシグナル情報伝達系、病害抵抗性、プログラム細胞死の仕組みを解明しています。更に、これらの成果を応用して新規植物資源の開発を試み、食糧分野や環境分野への貢献を目指しています。

### 応用生化学



生体機能の解明とその工学的応用に関する基礎研究として、タンパク質・酵素の立体構造解析、タンパク質工学を利用した機能改変、新規分子素子の設計および高感度分析法の開発、バイオセンサーやバイオ電池の開発、生物電気化学的手法を用いた生体膜モデル系の基礎研究とその応用に関する研究などを行っています。

### 植物資源学

栽培植物およびそれに近縁の野生植物について、現地調査、採集材料・実験系統の遺伝分析を行うとともに、有用形質の発現機構を分子生物学的に解析し、その育種的利用を図っています。植物と環境の相互作用を生態学的、生理学的に究明するとともに、環境保全に配慮して植生を管理する方法や植物の機能性を高める方法を開発しています。

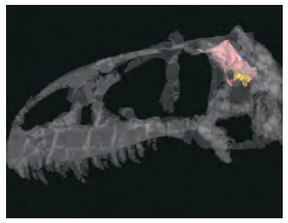
### 創造農学

農作物の品種改良・生産・利用に関する研究、微生物の利活用や資材開発に関する研究、雑草管理を中心とした生態・環境に関する研究、地域農政に関する研究を行っています。これらの研究の成果を統合し、「農の新時代」の実現を目指します。

### 分子機能科学

有用微生物の探索、微生物機能に関する基礎および応用研究を行い、微生物および酵素を応用した産業的有用物質の生産とその機能の開発を目指しています。各種食品成分が示す多彩な生理機能を動物個体や組織・細胞レベルで究明し、機能発現機構を解明するとともに、微生物酵素などを利用した機能性食品の創製を目指した基礎研究を行っています。

### 古生物学



古代の生命の記録である化石を用いて、生命進化や古環境を解明することを目指しています。特に恐竜を中心とした脊椎動物化石について、国内外の野外調査を重視しながら、CT を使った頭骨の内部構造の解析や現生脊椎動物との比較研究、恐竜時代の脊椎動物の分類学的・生態学的研究を行っています。

#### カリキュラム ［博士前期課程］

【基礎科目】

| | |
|---|---|
| 分子生物学 | 植物分子生物学／応用分子細胞生物学／分子生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／分子生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 植物資源学 | 遺伝資源学／生物生産環境学／植物資源学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／植物資源学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 分子機能科学 | 微生物機能学／食品機能化学／分子機能科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／分子機能科学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 応用生化学 | 構造生物学／生体機能分子工学／応用生化学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／応用生化学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 古生物学 | 生物進化学／地球環境史学／古生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／古生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |

【専門科目】 天然分子機能学／地域生態学／生体物理化学／植物発生遺伝学特論／薬物作用学／植物感染生理学

【研究科共通の授業科目】 分子進化学特論／生命機能有機化学特論／光合成特論／生殖生物学特論／動物遺伝子工学特論
細胞培養工学特論／食料・農業政策特論

#### ［博士後期課程］

【専門科目】

分子生物学
分子生物学特別演習

植物資源学
植物資源学特別演習

分子機能科学
分子機能科学特別演習

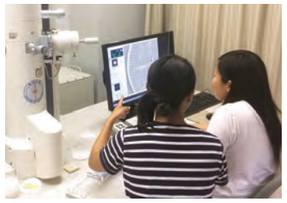
応用生化学
応用生化学特別演習

古生物学
古生物学特別演習



## 海洋生物資源学専攻 | 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

日本海・若狭湾など大学を取り巻く多様性に満ちた海域をフィールドに海洋生物資源の持続的な利用を目指して多角的な調査研究を実施します。魚介類や藻類など海洋生物の生理・生態に関する基礎的研究とともに、有用資源の増養殖に関する研究、海洋環境やその保全に関する研究を行います。加えて、海洋生物の原料学的特性の解明、新機能性食品開発などの応用・開発研究を行います。

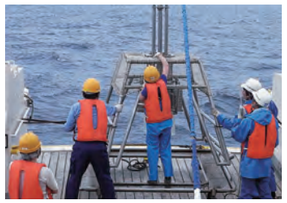


### 水圏生物学

水圏生物の生態、環境応答、環境適応、多様性などの解明を目指し、水圏の一次生産を担う藻類の生物多様性や適応進化、形態形成や生活環の制御機構、独立栄養や繁殖に関する生理生態、魚類を中心とする水圏動物の回遊生態や生物多様性、水圏生態系の生物生産や食物網構造ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。

### 海洋生物培養学

水圏生物の増養殖技術と多様性保全の新たな展開を目指し、海洋生物学、海洋動物生理学、遺伝学、ゲノム科学、生物地球化学、水圏生態学、行動学、水産資源学、海洋動物培養学、水族病理学などを基礎として、理論的および応用的な教育・研究を行っています。



### 海洋生態環境学

海洋や湖沼などの水圏環境を物理学的、化学的、微生物学的に解明することを目指しています。海洋物理学や水理学を基礎とした海洋の流れや波浪に関する研究、生物地球化学や微生物の生理学や生態学的側面から物質循環過程や水質に関する研究、ならびに水圏環境の物理的・化学的・微生物学的諸過程と生物生産の相互作用に関する研究を行っています。

### 海洋生物資源利用学

海洋生物資源を、食料をはじめ化粧品・医薬品など生命関連素材として高度利用することを目指しています。水産物の安全性、鮮度、機能性に関する研究、魚介類コラーゲンの性状解明・有効活用に関する研究、未利用資源からの生理活性物質の探索とその応用研究など、海洋生物資源を有効利用するための研究を基礎から応用まで幅広く展開しています。

### 海洋情報科学・社会科学

持続可能な水産業を確立するためには、儲かる産業である必要があります。海洋情報科学・社会科学では、水産業の食料産業的役割を重視し、漁場環境や資源評価、漁業管理や食品の流通、海洋レジャーなど海洋と水産資源との利用調整の問題について、社会科学や情報科学の分野から、持続可能な水産業のあり方を提案する教育・研究を行っています。

#### カリキュラム ［博士前期課程］

【基礎科目】

| | |
|---|---|
| 水圏生物学 | 藻類学／水圏生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／水圏生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 海洋生物培養学 | 海洋生物培養学／海洋生物育成学／海洋生物培養学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生物培養学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 海洋生態環境学 | 海洋生態工学／海洋微生物生態学／海洋生態環境学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生態環境学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 海洋生物資源利用学 | 生物資源利用学／食品機能化学／海洋生物資源利用学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生物資源利用学専攻実験Ⅰ・Ⅱ |
| 海洋社会科学 | 海洋社会科学／海洋社会科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋社会科学専攻実習Ⅰ・Ⅱ |

【専門科目】 専門特別講義Ⅰ～Ⅵ／水圏植物学特論／海洋生物培養学特論Ⅰ・Ⅱ／海洋生態環境学特論Ⅰ・Ⅱ
海洋生物資源利用学特論Ⅰ・Ⅱ／水産政策学特論／海洋ビジネス論／水圏遺伝資源学特論

【研究科共通の授業科目】 分子進化学特論／生命機能有機化学特論／光合成特論／生殖生物学特論／動物遺伝子工学特論
細胞培養工学特論／食料・農業政策特論／

#### ［博士後期課程］

【専門科目】

水圏生物学
水圏生物学特別演習

海洋生物培養学
海洋生物培養学特別演習

海洋生態環境学
海洋生態環境学特別演習

海洋生物資源利用学
海洋生物資源利用学特別演習

海洋社会科学
海洋社会科学特別演習

※カリキュラムの科目は、令和５年度に開講している科目です。今後変更されることがあります。

# 研究所等
University Institute


■ 地域経済研究所
■ 恐竜学研究所
■ 生物資源開発研究センター
■ 海洋生物資源臨海研究センター
■ 図書館
■ 地域連携本部


## 地域経済研究所

### 地元・地方から世界・地球まで 地域経済の発展に貢献する研究機関

地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。少子高齢化は人口減少を招き、企業の後継者不在問題は、魅力的な働く場を失わせます。また、医療や介護の現場を中心に、人手不足が深刻な状況に陥るなど、多種多様な問題を地域は抱えています。

地域経済研究所では、地域のリアルな実態を客観的に把握し、理論と現場のハイブリットな調査や分析を通じて、地域経済の活性化に向けた研究活動を行っています。

また、経済界への情報提供や行政機関への地域課題の解決に向けた協力、県内企業のグローバルビジネス支援など、多種多様な機関と連携・協働しながら、学術系シンクタンクとしての役割を果たしています。

### CLOSE UP!

#### コロナ禍における県内産業・企業および自治体・地域の実態把握と今後の方向性を提言

新型コロナウイルス感染症の福井県経済への影響について、福井県内の企業を対象に郵送によるアンケートを実施することで得た回答をもとに、分析した結果を公表しました。また、県内自治体と連携し、住民の生活実感調査を実施し、地域問題の解決に資する地域分析や政策提言を行っています。

#### 地域経済やグローバル経済などの最新情報の発信

地域経済やグローバル経済、地域企業の経営、Well-being（幸福）、DXなど、多様なテーマを設け、対面形式やオンライン形式でのセミナーといつでも視聴することのできるオンデマンドセミナーを組み合わせて開講しており、コンテンツの充実を図っていきます。

#### 毎月１回、グローバル経済・金融の最新情報をメルマガ発信

米国、欧州、中国、日本とブロック別の経済情勢と世界の通貨や金利、株式市場などのマーケット動向や、米国や中国、EUなど、今、注目しておきたい最新の国際金融や貿易事情などを、毎月１回提供しています。

#### シンクタンク機能の さらなる充実を推進します

デジタル時代、Society5.0時代を迎え、地域経済を支える条件が変容し続けています。また、地球規模でのコロナウイルス感染症の拡大によって、これまでの前提が通用しない新たな地域や経済圏を創造し始めています。

そうした中、地域経済研究所では、本学の理念の一つでもある「地域と連携した開かれた大学」の実現を目指し、産業界や行政機関などとの密接な連携・協力による地域経済の発展に向けての研究活動やオンラインセミナーの開催、機関誌やメールマガジンの発行、さらには、コロナ時代におけるグローバル人材の育成など、シンクタンク機能の充実を図っています。

## 恐竜学研究所

### 古生物学研究の イノベーションを目指す

日本有数の恐竜化石産地である福井県は、1989年から本格的な発掘調査が始まり、2000年には福井県立恐竜博物館が開館するなど、古生物学への関心が非常に高く、現在では県のアイコンとしても恐竜は欠かせない存在になっています。そんな福井県における古生物学の研究拠点として、恐竜学研究所は2013年にスタートしました。

前述の恐竜博物館との密接な連携により、世界でも指折りの展示や発掘現場を生かした特色ある教育と、収蔵資料や専門機器を活用した質の高い研究を展開し、福井県の恐竜ブランドの機能を教育と研究の両面で発揮させています。

また、国内外の研究機関とのネットワークを駆使して、県外・海外での発掘調査など、グローバルな研究活動を進めています。さらに、近年めざましく発展しているCTスキャン技術の活用はもとより、AIなどの最新技術を活かした研究手法の確立を目指し、恐竜をはじめとする古生物の研究における新たな分野を切り開いています。

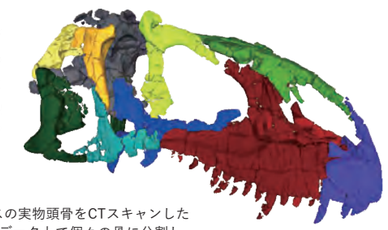
#### 世界に羽ばたく研究を生み出す

恐竜学研究所は、開所11年目を迎えました。開所以来、福井県立恐竜博物館と密接な連携を持って、調査研究や教育を行ってきました。現在は、中国科学院古脊椎動物古人類学研究所とゴビ砂漠などで共同恐竜発掘調査のほか、恐竜博物館と中国浙江省やタイ東北部で恐竜発掘調査を実施しています。また、産業技術総合研究所発ベンチャーである地球科学可視化技術研究所とバーチャル技術を活用した恐竜研究を行うとともに、地域主導型の実践的なオープンイノベーションを推進しています。

### CLOSE UP!

#### 研究成果を学生にフィードバック

本学の一般教育科目「恐竜学」、「地球生命史学」などで、研究所教員が恐竜の化石、発掘などの研究成果を交えながら、学生に恐竜の魅力を教えます。「構造地質学」「古脊椎動物学実習」なども開講しています。



アロサウルスの実物頭骨をCTスキャンした後、デジタルデータ上で個々の骨に分割し、比較研究に活用している。

#### ネットワークを生かした展開

現場重視の研究機関として、福井県立恐竜博物館や中国科学院古脊椎動物古人類学研究所など国内外の大学や研究機関との連携・交流・共同研究により、恐竜学研究のレベルを高めていきます。2016年には日本古生物学会にあわせ、恐竜学に関する国際学会やシンポジウムを開催し、研究成果などを発表しました。

CGによる生体復元
制作：福井県立大学客員教授
吉田雅則

３Dプリントで復元された
フクイプテリクスの骨格

#### 岩石中の化石から骨格を復元 原始鳥類フクイプテリクスの研究

2014年に勝山市の恐竜化石発掘現場で恐竜時代の鳥類の化石が発見され、2019年に新種「フクイプテリクス・プリマ」と命名されました。骨がとても小さいため、普通の方法では岩石から取り出すことができず、CTスキャンで骨の画像を取得し、コンピューター上で骨の取り出し作業を行いました。そして、3Dプリンターでそれぞれの骨をプリントアウトし、それを使って骨格を復元するとともに、分類学的な研究をすすめ、「始祖鳥」に次ぐ極めて原始的な鳥類であったことを明らかにしました。

## 生物資源開発研究センター

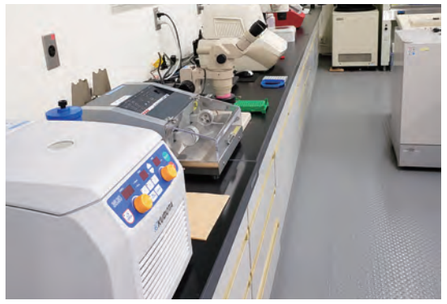
### 「農」に関わる多くの人たちと連携・交流

生物資源開発研究センターは、本県に適した農作物の新品種開発や植物保護新技術、新微生物資材、地域農政課題解決策などの研究成果（シーズ）を民間企業や地域農業者、行政などのニーズとマッチングするとともに、成果品の社会実装を担う大学発ベンチャー「県大アグリ」と連携しながら、産官学共同で地域農業振興への貢献を目指しています。

2020年4月に、創造農学科が開設され、学生たちは、「食・農・環境」に関する様々な実学を通して、生きた『農』を学んでいます。また、この創造農学科の開設を契機として、「農」に関わる多くの農業経営者や企業団体、行政、大学教員による「ふくい農カアップネットワーク」を設立し、情報交換や交流活動を進めています。生物資源開発研究センターは2023年に30周年となります。地域との連携・交流をさらに深め、地域課題の解決や人材育成に取り組んでいきます。

**あわら市二面88-1**
**TEL:0776-77-1443　FAX:0776-77-1448**

## 海洋生物資源臨海研究センター



### 先端増養殖科学科との相乗効果

海洋生物資源臨海研究センターは、水産海洋研究に欠かせない魚介類の飼育設備と実験に必要な高度な分析機器を備えた「かつみキャンパス」の施設です。さらに、目の前に広がる小浜湾で増養殖研究や環境調査をするための調査船「セリオラII」を所有しています。これらは、海洋生物資源学部共通の施設、機器として教員・学生に利用されています。臨海研究センター1階のフロアには、5G通信の基地局が設置されており、ICT、IoTを活用したスマート養殖の先端研究が始まりました。また、2023年10月からは、先端増養殖科学科の研究講義棟とP1Aレベル（ゲノム編集した魚介類育成が可能となります）の飼育実験が可能な新しい飼育棟が供用されます。先端増養殖科学科との相乗効果を発揮して、互いの機能を補完し合うことができ、さらなる教育の充実と研究の深化が期待されます。

**小浜市堅海49-8-2**
**TEL:0770-52-7305　FAX:0770-52-7306**



## 図　書　館

### 学生と教員が知を深めるための情報シンクタンク

図書館では、図書・学術雑誌等を収集・整備し、学生や教員の学修、教育、研究をサポートすると共に、地域に開かれた図書館として、広く県民に閲覧・貸出サービスを提供しています。図書館（室）は永平寺・小浜・あわらのキャンパスに設置しています。

約40万冊の蔵書を備え、年間に図書3,000冊、学術雑誌450種、電子ジャーナル1,700種（SpringerLink他）を購入するほか、各種データベースを整備しています。その他、閲覧室内の一室をアクティブ・ラーニング・スペースとして開放し、グループ学習や授業を支援しています。

## 地域連携本部

### 福井県全域を教育・研究のフィールドに<br>地域の持続可能性を支える大学を目指して

本学では、地域貢献活動を大学一丸となって進めるため、学部の枠を越えた全学的組織として2017年に「地域連携本部」を開設。学生が地域の課題解決策を考えるフィールドワークや県内企業との共同研究・商品開発など、地域とタイアップした様々な取り組みをコーディネートしています。

木元研究室が開発した水仙専用の品質保持剤、福井県のJAはこの保持剤を利用して、全国へ水仙を出荷しました。

写真は記者会見の1コマ、研究担当者の横山夢花さん（当時、大学院生）も発表しました。

#### 大学と地域との「懸け橋」に

「相談事があってもどこに相談すれば良いのか分からない」、「研究面で協力して欲しいが、どの先生に相談すれば良いのか分からない」といった地域の方々が気軽に立ち寄り相談できるよう、地域経済研究所に相談受付オフィスを設置。相談内容に応じて適切な部署や教員等との橋渡しを行います。

#### 教育・研究の成果を地域に還元

まちづくり活動への学生参加や学生と地域住民との交流イベント企画等、地域活性化に向けたきっかけづくりをはじめ、研究面では福井の気候に合わせた小麦やコメの開発、ブランド鯖の養殖など、地域に役立つ様々な取り組みを進めています。

### CLOSE UP!　東京大学地域未来社会連携研究機構との連携

地域連携本部は東京大学地域未来社会連携研究機構とフィールドワークを通じた学生間の交流や地域産業に関する共同研究により、地域の課題解決を進めていくことを目的に連携協定を締結しました。
令和4年度は、県大生と東大生が「中山間地域における空き家問題」についての意見交換・ディスカッションや三国湊のまち歩きをして、観光のあり方について考えるエクスカーションを行いました。

三国湊での県大生と東大生とのエクスカーションの様子

# 国際交流・留学サポート

International Exchange

## 様々な海外研修プログラム

福井県立大学にはさまざまな海外研修・留学プログラムがあります。
学びに合わせて選べますので、ぜひ参加してください。

### 短期海外研修

急速に成長するアジアの国々に目を向け、海外での生活を体験することで国際人としての第一歩を踏み出してもらうための研修等数日から1ヵ月程度のプログラムがあります。

### 長期留学

アメリカのフィンドレー大学をはじめ、海外18大学と学術交流協定に基づいた交換留学制度を設置。長期滞在の中で、外国語を修得しながら自分の専門分野の知識を深めていきます。

### 海外自主研修等

ゼミでの海外研修やフィールドワーク、国際学会への参加などがあります。また、夏休みや春休みに海外ボランティアや自主研究等に参加する学生への支援制度もあります。計画や手配も自分の力で行うことで、グローバル精神が養えます。

## リラックスした空間での多文化交流

### World Café　永平寺キャンパス
### Ocean's X　小浜キャンパス

福井県立大学では、学内に外国人インストラクターとの英会話や多文化交流を楽しめるWorld Café（ワールドカフェ）とOcean's X（オーシャンズ・エックス）を設けています。これらの交流スペースは、留学生による外国語講座や学生同士で留学・旅行の情報共有、各種イベントなどさまざまな交流ができる場として利用され、学生スタッフたちが意欲的に活動に関わっています。

## 支援制度

### チューター制度

外国人留学生の学業および生活を日本語でサポートする学生チューターを学内から募集します。留学生と接する中で文化や考え方の違いに触れることができ、サポートする学生自身の学びや異文化への理解にもつながっています。

### 国際・留学支援課がサポート

国際・留学支援課では本学独自の海外研修留学制度はもちろん、広く海外留学や奨学金などの支援制度に関する情報を提供。海外留学を志す学生や本学で学ぶ留学生に対するサポートを行います。



## 先輩体験談

### 短期海外研修

研修先／イギリス

経済学部
経営学科
舟久保（ふなくぼ） るいさん

### 完璧な英語じゃなくても大丈夫！勇気を出してコミュニケーションを

高校生の頃から留学が目標で、海外への関心が高い人や外国人とのつながりを作って英語を学び続けるモチベーションにしたいと思い、約1ヵ月間イギリスに留学しました。

現地ではいろいろなコミュニティやイベントに積極的に参加し、会話を重視して過ごしました。間違いを気にせず積極的に英語を話すことが上達につながります。また、多様な価値観や考え方に触れ、自分のアイデンティティを確立できたように思います。現地でできた友人とは今もSNSでつながっており、目的意識を持って取り組めたことは自信にもなりました。

何事もやらずに後悔するよりやって後悔する方が、人生を何倍も豊かにできると思います。興味がある人はぜひチャレンジしてみてください！

### 長期留学

留学先／全南大学校（韓国）

経済学部
経営学科
多田（ただ） 真衣（まい）さん

### 現地に行かないと経験できない真の感動を味わって

高校生の頃から韓国に興味があり、実際に韓国へ行って現地の文化を肌で感じてみたいと思い、留学を決意しました。

カリキュラムは、初級から上級まである授業の中から自分で組むことができます。授業や生活の不安もありましたが、現地学生がサポートしてくれるバディ制度があって心強かったです。日本語学科の現地学生とはたくさん交流し、お互いの文化や言語を教え合って仲を深め、親しい友人もできました。

留学を通して、自分で考え、行動することの楽しさと達成感を知りました。培った会話力と行動力を就職先でも活かしていきたいです。百聞は一見に如かず。聞くだけでは得られない感動や経験を味わいたい方は、ぜひ留学に挑戦してください。

### 海外ボランティア

活動先／カンボジア
（マングローブの保全活動）

生物資源学部
創造農学科
川端（かわばた） 凜花（りんか）さん

経済学部
経済学科
梅田（うめだ） 頼（らい）さん

生物資源学部
生物資源学科
法邑（ほうむら） 知奈（ちな）さん

### ボランティア活動を通じた現地の人との交流が醍醐味

カンボジアでのマングローブ植樹ボランティアとして、保全グループのスタッフや地元の漁師とマングローブ林の植樹や植え替えの手伝いなどの活動を実施しました。

日本語はもちろん英語も通じない中で、言語が異なっていても村の人々は私たちに興味を持って笑顔で接してくれ、毎日が楽しい雰囲気で過ごすことができました。ジェスチャーや知っているクメール語を羅列してコミュニケーションを取り、現地の人の温かさにも触れる事ができ、唯一無二の忘れられない経験となりました。また、現地の人と同じような生活をすることで、スマートフォンなどの便利な物にどれだけ自分が囚われていたのかを実感し、普段の生活の価値観も変わりました。

自分の目で見て新しい世界に触れることは、自分の大きな財産になると思います。今後は他の国のボランティアにも挑戦していきたいです。

# キャリアサポート・就職支援

Career Support

## キャリアセンターによるきめ細かな就職支援

就職活動では大学での学びや経験によって培われた自分自身を分析し、強みや熱意を企業等に正しく伝えることが求められます。県大には就職活動の拠点となるキャリアセンターがあり、さまざまな支援プログラムと個別の面談を通して、学生一人ひとりに寄り添った手厚い就職支援を行っています。

## 就職を希望する学生のほぼ 全員が就職

**2022年度**
**卒業生の就職率**

**99.4%**

※就職希望者のうち就職した学生の割合

### 就職ガイダンスの開催

年間を通じて、就職活動に必要となる業界研究や自己分析の方法など、就職活動について一から学べるテーマ別のガイダンスを実施しています。また、内定を得た先輩による就職活動体験報告会では、就職活動を終えた先輩から後輩への体験談やアドバイスを聞くことができます。

| | |
|---|---|
| 就職活動オリエンテーション | エントリーシートの書き方 |
| インターンシップ対策 | 内定者から学ぶ業界・企業研究 |
| 自己分析・自己PRの作成 | 面接に向けたマナー講座　　など |

### 図書・雑誌の閲覧

就職試験対策・面接対策に役立つ参考書や経済雑誌、公務員採用試験の問題集など就職活動に役立つ資料を豊富に取り揃えています。

### 求人情報閲覧システム「つぐみナビ」

学内専用の閲覧システム「つぐみナビ」では、各企業から寄せられた求人情報のほか、先輩の就活体験記を閲覧できます。

### 企業説明会の開催

県内外から企業を招き、学生向けの業界研究セミナーや個別企業説明会を開催しています。さまざまな業種の企業の人事担当者やOB・OGから学生が直接説明を受けられる機会を設けています。

### 公務員対策も充実

2022年度の就職者のうち2割以上の学生が国家公務員や地方公務員として就職しています。大手公務員対策の専門学校と連携した公務員試験対策講座を学内で受講できるほか、官公庁人事担当者やOB・OGを招いた学内官公庁説明会や内定者報告会を開催するなど、公務員として働きたい学生の皆さんを強力にバックアップしています。

### 個別面談

民間企業での採用実務やキャリアコンサルティングに熟達した就職アドバイザーが常駐し、学生からの相談に個別に対応し、丁寧にアドバイスしています。エントリーシートの添削や面接試験を想定した実践的な指導なども随時行っています。

### インターンシップ

インターンシップとは企業などで就業体験を行う制度であり、職場に触れることで仕事への理解を深めるものです。キャリアセンターでは県内外の情報を集めて提示するほか、事前ガイダンス等の事前指導を行っています。

**君の「やりたい。」を**
**全力でサポート！**

## 年次別スケジュール

| | 1～2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|
| 就職活動スケジュール | | 自己分析<br>業種・業界・企業研究<br>インターンシップ<br>エントリーシート準備<br>会社説明会 | 選考開始（筆記試験・面接試験） |
| キャリアセンター就職支援 | キャリアガイダンス | 就職ガイダンス<br>業界研究セミナー、業種・業界説明会<br>（随時）個別相談、エントリーシート、個別面接対策 | |

# キャリアインタビュー Career Interview

経済学部
経済学科
加藤 智也（かとう ともや）さん

## 大切な最初の一歩は自分自身を知るところから

就活が始まって最初の壁は「自分の強みや向いている仕事が分からない」ということでしたが、キャリアセンターで自己分析をサポートしていただき「福井に貢献できる仕事がしたい」という就活の軸を定めることができました。大学祭の実行委員長を務めた経験などから「人と関わる仕事が良いのでは」と導いてくださり、企業探しもスムーズに。最終的に、やりたいことにマッチしていた団体に就職が決まりました。

自己PR作成や面接、グループディスカッションにおいても具体的なアドバイスをいただけ、行動に移しやすくて助かりました。親身になって話を聞いてくださるので、少しでも不安があったらぜひキャリアセンターを利用してみてください。

海洋生物資源学部
海洋生物資源学科
和田 良太（わだ りょうた）さん

## 手厚いサポートで夢に一歩近づく！

身内が漁業を営んでおり、幼い頃から親しんでいた海や魚について深く学びたいと県大に進学。大好きな地元福井県でこの先も漁業に関わっていきたいと思い、今の就職先に決めました。県大での学びをしっかり生かして業務に励み、いつかは越前がにの競りに携われるようになるのが目標です。

就活については最初は何をすればよいか分からず不安でしたが、キャリアセンターに相談しながらスムーズに進めることができました。センターが開催する説明会やセミナーにも積極的に参加しました。小浜キャンパスは学生数が少ないこともあってサポートが手厚く、就活のことはもちろんそれ以外の学生生活のことも気軽に相談でき、とても心強かったです。

## 的確な自己分析で知らなかった自分を発見

人と話すことが好きなので、お客様と関わりながら成長していける金融業界をメインに就活を行いました。これまで自分という人間を客観的に見たことがなかったため、自己PRの作成や自分の長所を言語化することには苦労しましたが、キャリアセンターでは私の過去の経験から的確に長所を導き出してくださいました。自分でも気づいていないような側面をいろんな視点から多面的に引き出してくださったおかげで、実際の選考では聞かれたことにもしっかりと対応できたと思います。志望動機やエントリーシートの添削もしていただき、職場や社員の雰囲気に魅力を感じていた金融会社から無事に内定をいただけました。

経済学部
経営学科
上木 優美（うえき ゆうみ）さん

## 不安に寄り添ってくれる心強いパートナー

悩みや不安に寄り添い、就活のあらゆるサポートをしてくれるキャリアセンター。看護の理念に深く共感した病院を志望していましたが、入りたい気持ちが強い分不安も大きかった私は、とにかく頻繁にセンターに通いました。面接シートや文章の書き方に対するアドバイスはとても参考になりましたし、入室から退室までを一連の流れで行う模擬面接によって、面接にも自信が持てるように。希望の病院で働く先輩から体験談を聞く機会も設けてくださったので、実際の試験や面接を具体的にイメージできたのもよかったです。

おかげで無事に第一志望の病院に決まりました。仕事は大変だと思いますが、心あたたまる看護を目指して頑張りたいです。

看護福祉学部
看護学科
柴田 玲奈（しばた れいな）さん

生物資源学部
生物資源学科
中村 茂都（なかむら しげと）さん

## 傾向が知りたいなら必見！就職活動体験レポート

高校の授業をきっかけに生物に興味を持ち、もっと深く学びたいと生物資源学部へ。卒業後は水処理事業を行う企業で工場排水の機械設計に携わる予定です。業務に必要な資格の取得には、県大で得た化学の知識が大いに役立つと思います。

キャリアセンターには3年次の1月頃から通い始め、エントリーシートの添削や模擬面接でとてもお世話になりました。企業研究の際には、自分だけでは探せなかったような企業を紹介してくださり、候補の幅がグッと広がりました。また、「就職活動体験レポート」も非常に参考になりました。実際に過去の面接で聞かれた質問の内容や作文のテーマなどが詳しく掲載されているので、事前の対策におすすめです。

看護福祉学部
社会福祉学科
西川 敬梧（にしかわ けいご）さん

## 不安を払拭してくれる先輩方の就職体験記

障がい者をメインに、高齢者や児童まで幅広い福祉サービスを展開している社会福祉法人に就職が決まっています。福井県社会福祉協議会が開催する「ふくい福祉就職フェア」をきっかけに興味を持ち、明るく活気がある社風に惹かれました。

キャリアセンターでは、履歴書の添削をはじめ、面接のコツなどを指導していただきました。特に参考になったのは先輩方の就職体験記。実際の面接でどんなことを聞かれたかが分かるので、落ち着いて面接に挑むことができました。

就職後は、利用者の方々を笑顔にできるよう頑張っていきたいです。

CAMPUS LIFE

# クラブ＆サークル紹介

**CLUB & CIRCLE**

かけがえのない仲間と出会える魅力的なクラブ・サークルがたくさん！

女子アイスホッケー部

男子バレーボール部

管弦楽部

アカペラ部

ハンドボール部

kotoiroサークル

写真部

環境保全クラブ

よさこいサークル

茶道部

遊狩漁部

弓道部

男子アイスホッケー部

小浜キャンパス 軽音楽部

ダンス部

女子バレーボール部

バドミントン部

アメリカンフットボール部

## 学友会／永平寺キャンパス　EIHEIJI

### 一から大きなものを創っていく

学友会は福井県立大学永平寺キャンパスの大学祭である「白樫祭」を中心に、学内で行われるイベントの運営などを目的とした団体です。活動内容は様々ですが、定期的にメンバーで会議を行い、白樫祭までの限られた期間でしなければいけないことを共有し、必要に応じて役職の割り振りやチームの作成、企業に協賛金を頂くための活動を行っています。

## 海友会／小浜キャンパス　OBAMA

### 誰もが主役

大学祭である「白樫祭」を中心に大学のイベントの運営を行っています。永平寺に比べて人数が少ないですが、地域一丸となって白樫祭を盛り上げるのが魅力です。海友会は人数が少ない分、人前に出るのが苦手な人でも様々な仕事で誰もが主役になることができます！

## 永平寺キャンパス　EIHEIJI

### 体育会系クラブ・サークル

- □fpu太極拳サークル
- □アメリカンフットボール部
- □カヌーサークル
- □カバディサークル
- □弓道部
- □県大バドミントン部
- □剣道部
- □サッカー部
- □女子アイスホッケー部
- □女子バスケットボール部
- □女子バレーボール部
- □水泳サークル
- □スノースポーツ部
- □ソフトテニスサークル
- □ソフトバレーサークル 8-feet
- □男子アイスホッケー部
- □男子ソフトボール部
- □男子バスケットボール部
- □男子バレーボール部
- □男子フットサル部
- □男女硬式テニス部
- □ダンス部　JEEZ
- □軟式野球部
- □パラグライダー部
- □ハンドボール部
- □陸上競技部

### 文化系クラブ・サークル

- □BBSサークル
- □kotoiroサークル
- □Open the Sesame
- □S.I.U
- □アウトドアサークル
- □アカペラ部Tran -Baccano
- □アコースティックギター サークル部
- □アフリカのゆかいな 仲間たち
- □裏千家茶道部
- □演劇サークル「劇団くらげ」
- □オカルトサークル
- □キッズボランティアサークル「れいんぼー」
- □競技かるたサークル
- □教職サークル
- □恐竜サークル「DiNo」
- □軽音楽部
- □コミットサミット
- □写真部
- □書道サークル
- □総合創作部
- □日本遊戯振興会
- □農業サークル
- □福井県立大学管弦楽
- □福井県立大学ジャズ 研究会サークル
- □福井県立大学よっしゃこい
- □文芸部
- □モルックサークル
- □旅行研究サークル

### 学友会

## 小浜キャンパス　OBAMA

### 体育会系クラブ・サークル

- □小浜キャンパスアイスホッケー部
- □小浜キャンパスアメリカンフットボール部
- □小浜キャンパス陸上競技部
- □小浜バドミントン部
- □小浜パラグライダー部
- □弓道サークル小浜支部
- □シーカヤックサークル
- □バレーボール部
- □ライフセービング部

### 文化系クラブ・サークル

- □アカペラサークル
- □遊狩漁部
- □環境保全クラブ
- □軽音楽部

### 海友会

CAMPUS LIFE

# 永平寺キャンパス

**EIHEIJI CAMPUS**

禅の里 永平寺町に位置する広大で緑豊かな学術研究フィールド

| | |
|---|---|
| 経済学部 | 経済学科／経営学科 |
| 生物資源学部 | 生物資源学科 |
| 看護福祉学部 | 看護学科／社会福祉学科 |

1

## 県大レストラン

豊富なメニューとリーズナブルな価格帯が人気の県大レストラン。学生だけでなく一般の方も利用可能です。巨大な恐竜にも出会えます。

2

## フォーラム（広場）

永平寺キャンパスの中央に位置する芝生の広場です。テーブルとベンチもあり、みんなの憩いの場です。

3

## 共通講義棟内 大講義室

永平寺キャンパスで一番大きな講義室です。およそ300人が一度に講義を受けられます。

4

## アトリウム

空き時間に友達と集まり会話を楽しむなど、学生が自由に使える空間です。

5

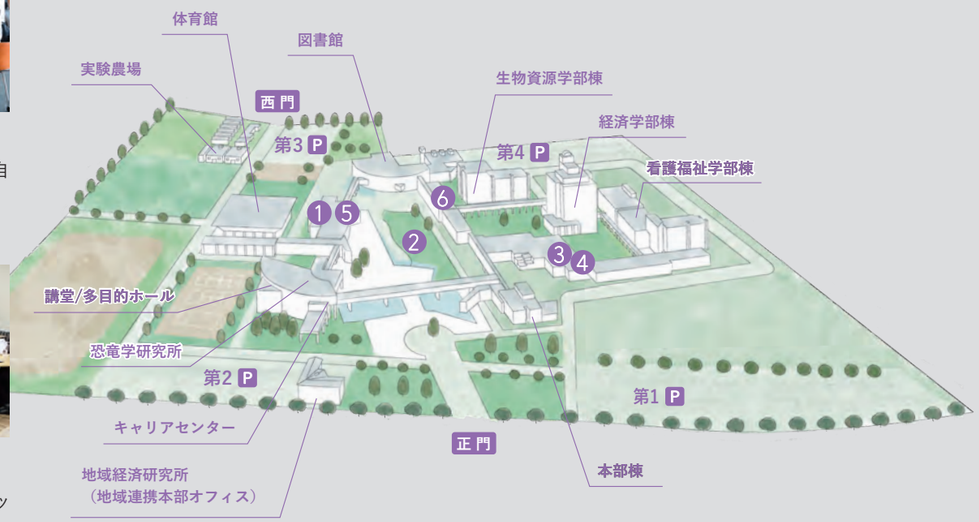
## 学生会館

昼食時や休憩時、自習時など自由に利用できる会館です。

6

## World Café

お茶を飲みながら気軽にスタッフと英会話を楽しめます！






永平寺キャンパス　ひとり暮らし

学友会員として学祭に参加し、盛り上がることも楽しみました！

看護福祉学部 看護学科
大阪府立岸和田高等学校出身

竹口（たけぐち） 明里（あかり）さん

**Q 大学生活をひとことで表すと?**

成長。一人暮らしを始めたりバイトを始めたりと新しいことをたくさん経験して、人間として成長していける時期だと思うからです。

**Q 将来の夢は？**

看護師です。そのために日々の講義、課題をコツコツと取り組んでいます。

**Q 県大を目指す高校生にひとこと**

いろいろな考え方を持つ先輩や同期に出会うことができると思います。そして充実した大学生活を送ることができると思います！後悔の無いように受験勉強頑張ってください！！

**SCHEDULE** ある日の平日 on

| 7:00 | 9:00 | 12:00 | 17:00 | 20:00 | 22:00 | 24:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 起床 | 講義 | 昼食 | 帰宅 | 夕食 | 入浴 | 就寝 |

大学近くのコンビニで昼食を購入し、友人と講義室で話をしながら昼食をとります。

サークルがある日はサークルへ、ない日は家に帰って課題をしたり、バイトに行ったりします。

永平寺キャンパス　実家暮らし

講義の課題で永平寺町内を探索！

経済学部 経営学科
福井県立鯖江高等学校出身

小山（おやま） 夏輝（なつき）さん

**Q 大学生活をひとことで表すと?**

自由で自分次第。高校とかと比べると本当に自由だから、その分責任も大きくなります。

**Q 県大に入って良かったと思うことは？**

教授のつながりで、社会で活躍している人達の話を聞けたり悩みを相談したりが講義を通してできる点です。

**Q 休日に遊びに行く場所は？**

福井県内の新聞やニュースで気になったところへ家族でドライブ。お気に入りは平泉寺白山神社です。

**SCHEDULE** ある日の休日 off

| 8:30 | 10:00 | 12:00 | 14:30 | 17:00 | 23:30 | 24:30 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 起床 身支度 | 家事 | 昼食 | 買い物 | 夕食 バイト | 帰宅 入浴 | 就寝 |

掃除や洗濯など

近くのショッピングモールへ

CAMPUS LIFE

# あわらキャンパス

AWARA CAMPUS

あわらの自然豊かな里地里山のフィールドがそのまま学び場に

生物資源学部　創造農学科

1

## 実習棟

実習で収穫した農作物等について調べる調査室を整備。個室の更衣室兼シャワー室もあります。

2

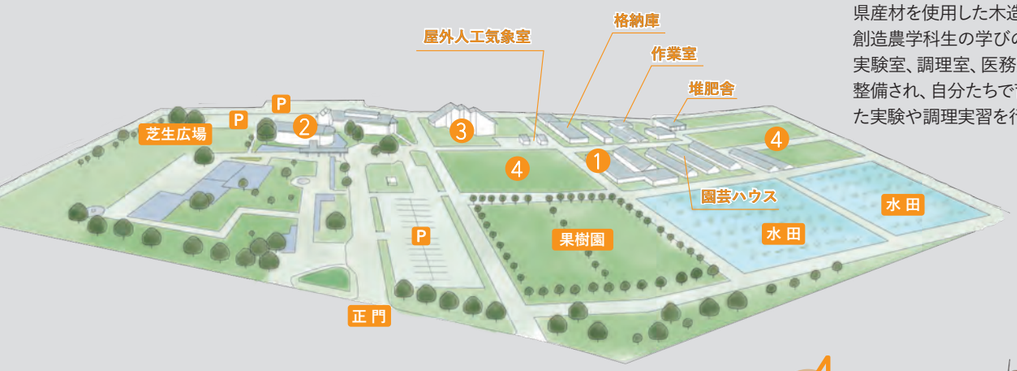
## 管理・研究棟

学生カウンターのほか、創造農学科教員の研究室や実験室があります。卒業論文研究が中心となる4年次以降は、この建物で過ごす時間が多くなります。

3

## 教育棟

県産材を使用した木造1階建ての建物で、創造農学科生の学びの拠点です。講義室、実験室、調理室、医務室、学生スペースが整備され、自分たちで育てた農作物を使った実験や調理実習を行います。




4

## 畑

キャベツやすいか等多様な作物を栽培しているほか、創造農学科生は自分専用の畑「My Farm」を持ち、土壌分析を行い、肥料や堆肥の量を考え、学生自身で作物を育てます。



あわらキャンパス　ひとり暮らし

実習は、毎回楽しく取り組んでいます！

生物資源学部 創造農学科
長野県 上伊那農業高校出身

小松（こまつ） 佑真（ゆうま）さん

**Q 大学生活をひとことで表すと？**

「いろいろなことを経験できる」です。勉強や生活など、今までと大きく変わりました。きっとこの先、人生で活きてくることがあると思います。

**Q 通学手段、通学時間は？**

車か自転車。永平寺キャンパスは車で35分くらい、あわらキャンパスは自転車で10分くらいです。

**Q 普段の食事はどうしてる？**

朝はお茶漬け、お昼はお弁当か売店で買って食べます。夜は自分で簡単に作って食べてます。

**SCHEDULE** ある日の平日 on

| 7:50 | 9:00 | 12:10 | 18:00 | 21:00 | 24:00 |
|---|---|---|---|---|---|
| 起床 | 講義 | 昼食 | バイト | 夕食 | 就寝 |

身支度をして自転車で学校へ。

あわら温泉の旅館で布団敷きのバイトをしています。

あわらキャンパス　実家暮らし

あわらキャンパスでの雪遊び。昼休み、友達と雪合戦をして遊ぶことも。

生物資源学部 創造農学科
福井県立武生東高等学校出身

酒井（さかい） 花菜（かな）さん

**Q 大学生活をひとことで表すと？**

新しい！ 実習で色んな新しい知識を学べるし、新しい人との出会いが沢山あるからです。

**Q 通学手段、通学時間は？**

車です。永平寺キャンパスは約1時間、あわらキャンパスは最大でも1時間20分かかります。

**Q 県大を目指す高校生にひとこと**

楽しいこと・やりたいと思ったことをやらせてくれるいい場所だと感じているので、ぜひ県大に来て欲しいです！

**SCHEDULE** ある日の休日 off

| 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 18:00 | 23:00 | 24:30 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 起床 | 朝食 | バイト | 昼食 | 夕食 | 入浴 | 就寝 |

バイトがない日は友達と遊びに行きます。

朝食と夕食は家で家族とご飯を食べます。

CAMPUS LIFE

# 小浜キャンパス

## OBAMA CAMPUS

雄大な日本海を目前に望む開放感あふれるキャンパス

海洋生物資源学部　海洋生物資源学科／先端増養殖科学科

### シンボルヨット「望（HOPE）」

海洋生物資源学部のシンボル。海を望む高台で将来を築いてほしいという願いが込められています。

## 1

### 海洋環境工学実験棟

海洋で起きる波や潮流、潮汐等の自然現象を再現するための装置を取り付けた水槽が4種類あり、先進的な設備・機器が備わっています。

## 2

### 講義棟

県産スギや若狭和紙、若狭塗などの県産品をふんだんに使用した講義棟です。テラスからは小浜湾を一望できます。

## 3

### 県大レストラン＆キッチンBOO

海が見渡せ学生たちで賑わう県大レストラン。併設のキッチンBOOでは地産地消にこだわったバイキングが楽しめ、県大生は割引価格で食べられます。

## 4

### 多目的ホール

大学イベントのほか授業や公開講座で使用する、小浜キャンパスで最も広いホールです。

## 5

### 海が見える広場

小浜の街と海を見下ろせる開放感あふれる広場。4月には藤棚が満開になります。

小浜キャンパス　ひとり暮らし

学食から見える景色は絶景です！

海洋生物資源学部　海洋生物資源学科
福井工業大学付属福井高等学校出身

みやざき　あらた
**宮﨑 新さん**

**Q 大学生活をひとことで表すと？**

変化。今までは、料理とか親にしてもらっていましたが、全部自分でやったり、お金の管理も自分でやるなど環境や生活が色々変化したと思います。

**Q 将来の夢は？**

IT系。大学の卒論でもプログラミングを活用した内容に取り組んでいます。

**Q 県大を目指す高校生にひとこと**

県大は色々な事に挑戦しています。その挑戦に一緒にやりたい、共感できるような人が沢山いるので是非気持ちを高ぶらせてきてください。

**SCHEDULE** ある日の平日 on

| 8:00 | 9:00 | 12:00 | 17:30 | 20:00 | 24:00 |
|---|---|---|---|---|---|
| 起床 | 講義 | 昼食 | 帰宅 | 入浴 | 就寝 |

一旦家に帰りご飯を食べます。

夕食を作ります。友達の家で一緒に作ったり、外食もします。

小浜キャンパス　ひとり暮らし

キャンパスは少し高い場所に位置にしていて、シカやサルに遭遇することがあります

海洋生物資源学部　海洋生物資源学科
静岡県立沼津東高等学校出身

い とう　あん
**伊藤 杏さん**

**Q 大学生活をひとことで表すと？**

多彩。個性豊かな様々な人と日々付き合っていくからです。

**Q 普段の食事はどうしてる？**

朝や昼はバナナや卵かけご飯など簡単なものです。夜はバイト先でいただいたり、自炊をしています。

**Q 県大に入って良かったと思うことは？**

山にも海にも囲まれた自然豊かな場所でのびのびと勉強し、楽しめたことです。

**SCHEDULE** ある日の休日 off

| 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 18:00 | 24:30 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 起床 | 家事 | 買い物 | 昼食 | 勉強 | 夕食 | 就寝 |

空き時間があれば、テレビや動画を見ています。

家で集中できないときは大学の図書室で勉強します。

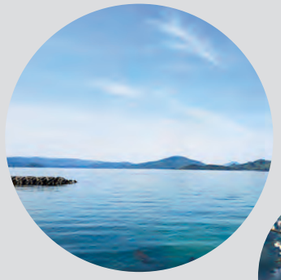
CAMPUS LIFE

# かつみキャンパス

KATSUMI CAMPUS

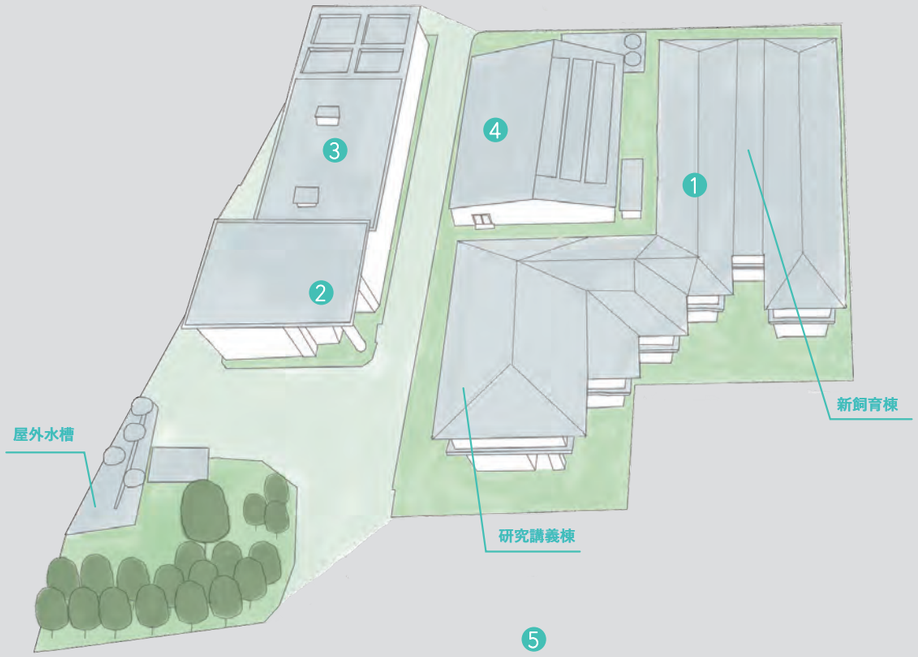
先端増養殖科学の教育・研究拠点

海洋生物資源学部　先端増養殖科学科



かつみキャンパスの前浜

静かな小浜湾



## 1 先端増養殖科学科棟

かつみキャンパスは、永平寺キャンパス、小浜キャンパス、あわらキャンパスに続いて、福井県立大学の4番目のキャンパスとして設置されました。2023年夏には、かつみキャンパスに先端増養殖科学科の研究講義棟と遺伝子組み換え実験のためにP1Aレベルの拡散防止措置をとった新飼育棟が完成します。研究講義棟は、教員と学生のスペースが隣接し、コミュニケーションが潤滑に行えるように工夫されています。また、1階には広いサロンが配置されており、学習や憩いの空間としてだけでなく、地域の人たちとの交流もできるようになっています。

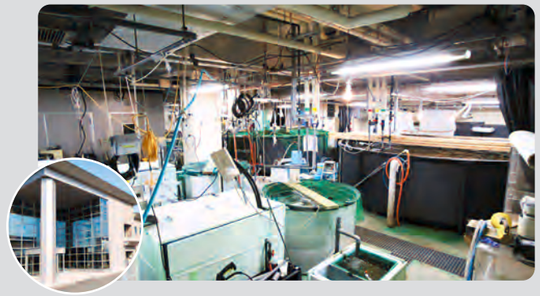
## 2 5G高速通信基地局

隣接する海洋生物資源臨海研究センターには、5G通信の基地局が設置されており、ICT、IoTを活用したスマート養殖等の先端研究が進められています。

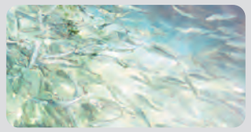
最適な給餌システムを開発するための実験

## 3 臨海研究センター研究棟

1階には25tの閉鎖循環水槽が2基設置されている繁殖制御実験室、調温海水が利用できる実験室、感染魚実験ができる魚病実験室があります。2階にはゲノム解析や水分析ができる実験室があります。



閉鎖循環水槽で養成される
福井のブランド若狭フグ



水温管理された水槽で生産された
県大産マサバ人工種苗

## 4 臨海研究センター飼育棟

ワムシ・アルテミアの生産や親魚を育成して実験するための施設です。

胎生魚タケノコメバルの人工授精の様子

稚魚の餌シオミズツボワムシの培養水槽

## 5 目の前の若狭湾が実験フィールド

かつみキャンパスの目の前には小浜湾が広がり、美しい景観を望むことができます。小浜湾内とその周辺の水域では、マサバやトラウトサーモン、トラフグなどの海面魚類養殖だけでなく、ワカメやマガキ、真珠などの無給餌養殖も行われています。この立地条件を活かして、かつみキャンパスで増養殖技術の基礎と理論を修得したのち、すぐ近くの海面で応用実験、さらに実証的実習・演習を実施することができます。写真は小浜湾のマガキ養殖場を上空から見たものです。通常のカキ養殖では出荷まで2年程度かかりますが、小浜湾で天然採苗して養殖したマガキは、約7か月で出荷可能サイズに到達しました。“一年ガキ養殖”を目指して研究を進めています。

Support FPU

# 学生生活サポート

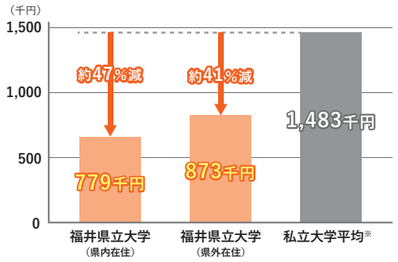
## 修学に必要な費用等

### 入学料・授業料等（令和5年4月現在）

| | 福井県内に在住の方 | 福井県外に在住の方 |
|---|---|---|
| 入　学　料 | 188,000円 | 282,000円 |
| 授業料（年額） | 535,800円 | |
| その他（学生保険等） | 約55,000円※ | |
| 合　　計 | 778,800円 | 872,800円 |

※令和4年度の実績であり、金額が変更される場合があります。

私立大学と比べると負担が少ない！




※文部科学省「令和3年度 私立大学入学者に係る学生納付金等調査結果」より作成

### 奨学金

#### 日本学生支援機構

**貸与奨学金**

| 区分 | | 貸与月額 |
|---|---|---|
| 第一種（無利子） | 自宅通学者 | 20,000円、30,000円、45,000円から学生が選択した額 |
| | 自宅外通学者 | 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から学生が選択した額 |
| 第二種（有利子） | | 月額20,000円～120,000円の間で、1万円単位で学生が選択した額 |

**修学支援新制度**
**（給付奨学金＋授業料減免）**

※大学院、留学生は対象外
※カッコ内は生活保護世帯等の金額

| 区　分 | 給付月額 | | |
|---|---|---|---|
| | 第Ⅰ区分 | 第Ⅱ区分 | 第Ⅲ区分 |
| 自宅通学者 | 29,200円（33,300円） | 19,500円（22,200円） | 9,800円（11,100円） |
| 自宅外通学者 | 66,700円 | 44,500円 | 22,300円 |

詳細については、日本学生支援機構のホームページ等でご確認ください。

#### その他の奨学金制度

地方公共団体、公益法人、民間企業等が行う奨学金制度があります。
募集がある場合に大学ホームページに掲載します。

### 入学料・授業料減免制度

#### 日本学生支援機構

「大学等における修学の支援に関する法律」による修学支援新制度に基づき、授業料および入学料の免除また減額を受けることができます。
詳細については、日本学生支援機構のホームページ等でご確認ください。

#### その他の制度

大学院生、留学生を対象とした授業料の免除または減額の制度があります。
募集がある場合に大学ホームページに掲載します。



## 充実した相談体制

#### 教員による学生相談

大学での学びや生活、健康、進路など、様々な悩みや不安に対して、各学部・学年ごとに配置された学生相談担当教員が相談に応じます。

#### 修学、生活などの相談

「授業に出席できない」「大学になじめない」「自信が持てない」など、学生生活の悩み事に、専門知識や援助技術を持つキャンパスソーシャルワーカーが相談に応じます。

#### 身体や心の悩み相談

健康診断や健康相談、メンタルヘルス相談、カウンセリングなどに、看護やカウンセリングの専門スタッフ（学校医、保健職員、カウンセラー）が応じます。

## 福井を学ぶ、もう一つのキャンパス

F·SQUARE

### 大学連携センター Fスクエア

Fスクエアは、福井県内の全ての大学、短期大学、高等専門学校の学生が集って学べる、JR福井駅東口のビル「AOSSA（アオッサ）」の7階にあるサテライトキャンパスです。福井の魅力や県内企業の特色を学ぶ講義を受講できます。

- 卒業に必要な単位として認められます。
- 土日にまとめて開講し、短期間で修了する科目もあります。
- 無料カフェや共有スペースなど自由に使用できる空間があります。

#### ふくい地域創生士を目指そう！

「ふくい地域創生士」とは、地域を学び、自分を知ることにより「地域に貢献できる人材」と認定される制度です。各大学が指定した12単位以上を取得し、インターンシップ等に参加し、既定の成績に達している学生は申請が可能です。

## もっと知りたい！県大のこと

#### 福井県立大学HP

各学部・研究科の情報や学生へのお知らせ、入試情報、オープンキャンパス情報など、大学の最新情報を発信しています！

**https://www.fpu.ac.jp/**

#### 県大公式ＳＮＳ

県大の最新ニュースやイベント情報等をお届けしています。ぜひフォローお願いします！

**Twitter**
@FukuiPref_Univ

**Facebook**
@FukuiPref.Univ

#### 県大YouTube

県大の学科・研究室の紹介動画を多数掲載しています！

**・福井県立大学**
**Fukui Prefectural University**

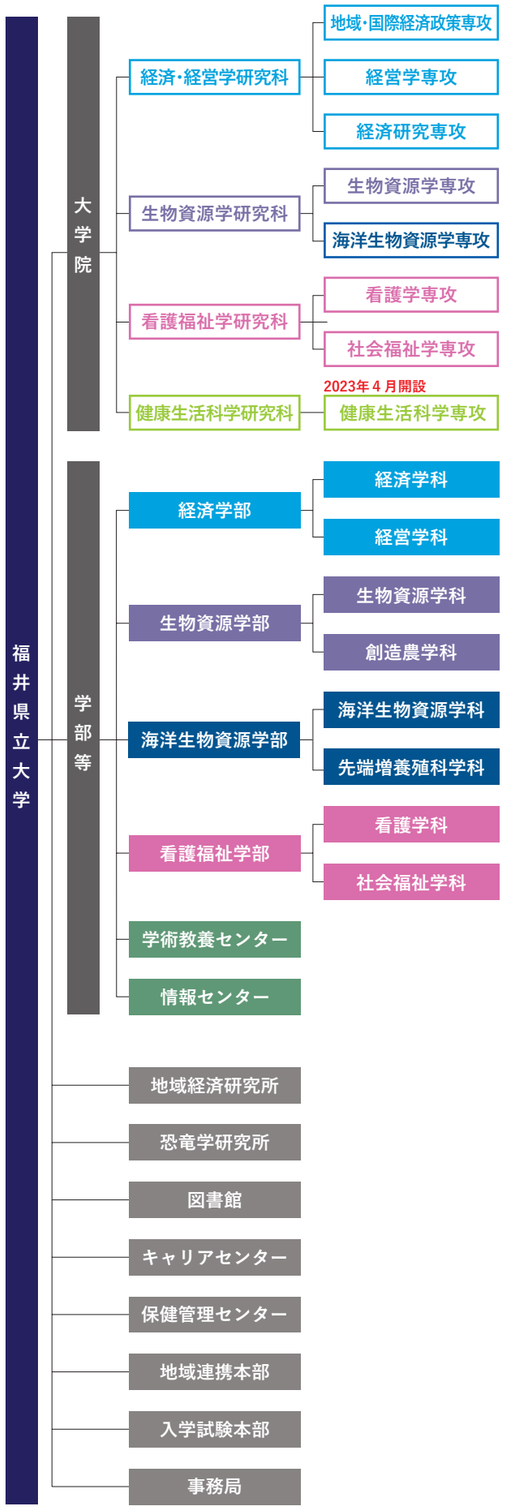
#### 大学広報誌「FPU NEWS」

在学生の活躍、卒業生紹介、県大ニュースなど県大の情報が満載の広報紙です！

# 沿革

| | |
|---|---|
| 1920 | 福井県農業試験場内に福井県農業技術員養成課程を設置 |
| 1966 | 福井県農業短期大学校に改称 |
| 1975 | 福井県立短期大学(農学科、経営学科、看護学科)を開学 |
| 1982 | 第二看護学科を開設 |
| 1984 | 専攻科地域看護学専攻を開設 |
| 1992 | 開学[福井キャンパス(経済学部・生物資源学部)]<br>初代学長に坂本慶一が就任 |
| 1993 | 小浜キャンパス(海洋生物資源学科)、<br>生物資源開発研究センターを開設<br>看護短期大学部を併設 |
| 1994 | 看護短期大学部を福井キャンパスに移転 |
| 1996 | 大学院修士課程を開設 |
| 1998 | 大学院博士課程を開設<br>第２代学長に常脇恒一郎が就任 |
| 1999 | 看護福祉学部を開設 |
| 2001 | 看護短期大学部を閉学<br>地域経済研究所を開設 |
| 2002 | 学術教養センターを設置 |
| 2003 | 海洋生物資源臨海研究センターを開設<br>大学院看護福祉学研究科を開設 |
| 2004 | 第３代学長に祖田修が就任 |
| 2006 | 大学院にビジネススクールを設置 |
| 2007 | 公立大学法人に組織変更 |
| 2009 | 海洋生物資源学部を開設(小浜キャンパス) |
| 2010 | 第４代学長に下谷政弘が就任<br>キャリアセンターを開設 |
| 2012 | 地域経済研究所にアジア経済部門を設置 |
| 2013 | 恐竜学研究所を開設 |
| 2016 | 第５代学長に進士五十八が就任<br>「福井県立大学オープン・ユニバーシティ構想」を発表<br>「福井キャンパス」の名称を「永平寺キャンパス」へ変更 |
| 2017 | 地域連携本部を開設 |
| 2018 | 大学院生物資源学研究科生物資源学専攻に<br>古生物学専門種目を開設<br>大学院看護福祉学研究科看護学専攻に<br>看護マネジメント学領域を開設 |
| 2020 | あわらキャンパス開設<br>生物資源学部創造農学科を開設<br>福井県立大学ブックレットシリーズ発行 |
| 2022 | かつみキャンパス開設<br>海洋生物資源学部先端増養殖科学科を開設<br>第６代学長に岩崎行玄が就任 |
| 2023 | 大学院健康生活科学研究科を開設<br>情報センターを開設 |

# 組織図




# 入試DATA

## ▷ 志願者・合格者・倍率（令和５年度）

| 学部 | 学科 | 一般選抜・前期日程 | | | | | 一般選抜・後期日程 | | | | | 一般選抜 計（A） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 |
| 経済学部 | 経済学科 | 40 | 145 | 132 | 66 | 2.0 | 35 | 432 | 131 | 76 | 1.7 | 75 | 577 | 263 | 142 | 1.9 |
| | 経営学科 | 40 | 161 | 140 | 73 | 1.9 | 35 | 266 | 72 | 43 | 1.7 | 75 | 427 | 212 | 116 | 1.8 |
| | 計 | 80 | 306 | 272 | 139 | 2.0 | 70 | 698 | 203 | 119 | 1.7 | 150 | 1,004 | 475 | 258 | 1.8 |
| 生物資源学部 | 生物資源学科 | 14 | 62 | 57 | 28 | 2.0 | 17 | 150 | 60 | 29 | 2.1 | 31 | 212 | 117 | 57 | 2.1 |
| | 創造農学科 | 13 | 12 | 12 | 12 | 1.0 | — | – | — | — | — | 13 | 12 | 12 | 12 | 1.0 |
| | 計 | 27 | 74 | 69 | 40 | 1.7 | 17 | 150 | 60 | 29 | 2.1 | 44 | 224 | 129 | 69 | 1.9 |
| 海洋生物資源学部 | 海洋生物資源学科 | 25 | 68 | 57 | 32 | 1.8 | 10 | 86 | 28 | 19 | 1.5 | 35 | 154 | 85 | 51 | 1.7 |
| | 先端増養殖科学科 | 10 | 34 | 33 | 12 | 2.8 | 6 | 60 | 22 | 6 | 3.7 | 16 | 94 | 55 | 18 | 3.1 |
| | 計 | 35 | 102 | 90 | 44 | 2.0 | 16 | 146 | 50 | 25 | 2.0 | 51 | 248 | 140 | 69 | 2.0 |
| 看護福祉学部 | 看護学科 | 20 | 60 | 57 | 25 | 2.3 | 10 | 69 | 33 | 10 | 3.3 | 30 | 129 | 90 | 35 | 2.6 |
| | 社会福祉学科 | 15 | 49 | 47 | 21 | 2.2 | 7 | 84 | 40 | 11 | 3.6 | 22 | 133 | 87 | 32 | 2.7 |
| | 計 | 35 | 109 | 104 | 46 | 2.3 | 17 | 153 | 73 | 21 | 3.5 | 52 | 262 | 177 | 67 | 2.6 |
| 総計 | | 177 | 591 | 535 | 269 | 2.0 | 120 | 1,147 | 386 | 194 | 2.0 | 297 | 1,738 | 921 | 463 | 2.0 |

| 学部 | 学科 | 学校推薦型選抜（B） | | | | | 総合型選抜（C） | | | | | 特別選抜（D） | | | | | 総計（A＋B＋C＋D） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
| 経済学部 | 経済学科 | 25 | 45 | 45 | 25 | 1.8 | — | — | — | — | — | 若干名 | 0 | 0 | 0 | – | 100 | 622 | 308 | 167 |
| | 経営学科 | 25 | 48 | 48 | 27 | 1.8 | — | — | — | — | — | 若干名 | 3 | 3 | 1 | 3.0 | 100 | 478 | 263 | 144 |
| | 計 | 50 | 93 | 93 | 52 | 1.8 | — | — | — | — | — | 若干名 | 3 | 3 | 1 | 3.0 | 200 | 1,100 | 571 | 311 |
| 生物資源学部 | 生物資源学科 | 11 | 16 | 16 | 13 | 1.2 | 3名以内 | 0 | 0 | 0 | — | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 45 | 229 | 134 | 71 |
| | 創造農学科 | 7 | 11 | 11 | 7 | 1.6 | 5 | 13 | 13 | 6 | 2.2 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | — | 25 | 36 | 36 | 25 |
| | 計 | 18 | 27 | 27 | 20 | 1.4 | 8 | 13 | 13 | 6 | 2.2 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 70 | 265 | 170 | 96 |
| 海洋生物資源学部 | 海洋生物資源学科 | 10 | 8 | 8 | 8 | 1.0 | 5 | 10 | 10 | 7 | 1.4 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | – | 50 | 172 | 103 | 66 |
| | 先端増養殖科学科 | 8 | 9 | 9 | 8 | 1.1 | 6 | 16 | 16 | 8 | 2.0 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | – | 30 | 119 | 80 | 34 |
| | 計 | 18 | 17 | 17 | 16 | 1.1 | 11 | 26 | 26 | 15 | 1.7 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | – | 80 | 291 | 183 | 100 |
| 看護福祉学部 | 看護学科 | 20 | 32 | 32 | 21 | 1.5 | — | — | — | — | — | 若干名 | 0 | 0 | 0 | – | 50 | 161 | 122 | 56 |
| | 社会福祉学科 | 8 | 22 | 22 | 9 | 2.4 | — | — | — | — | — | 若干名 | 1 | 1 | 0 | — | 30 | 156 | 110 | 41 |
| | 計 | 28 | 54 | 54 | 30 | 1.8 | — | — | — | — | — | 若干名 | 1 | 1 | 0 | – | 80 | 317 | 232 | 97 |
| 総計 | | 114 | 191 | 191 | 118 | 1.6 | 19 | 39 | 39 | 21 | 1.9 | 若干名 | 5 | 5 | 2 | 2.5 | 430 | 1,973 | 1,156 | 604 |

## ▷ 合格者の最高・最低・平均点（令和５年度）一般選抜

| 学部 | 学科 | 前期日程 | | | 後期日程 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 最高点 | 最低点 | 平均点 | 最高点 | 最低点 | 平均点 |
| 経済学部 | 経済学科 | 391.2 | 287.3 | 318.2 | 440.9 | 368.3 | 394.4 |
| | 経営学科 | 375.7 | 283.3 | 314.5 | 480.5 | 351.2 | 377.0 |
| 生物資源学部 | 生物資源学科 | — | — | — | 375.5 | 320.6 | 345.3 |
| | 〈試験A〉 | 328.3 | 200.2 | 240.6 | — | — | — |
| | 〈試験B〉 | 332.0 | 228.2 | 253.3 | — | — | — |
| | 創造農学科 | 439.0 | 206.5 | 343.1 | — | — | — |
| 海洋生物資源学部 | 海洋生物資源学科 | 327.2 | 228.0 | 268.0 | 473.8 | 318.3 | 399.3 |
| | 先端増養殖科学科 | 324.2 | 236.6 | 263.3 | 459.5 | 381.2 | 424.2 |
| 看護福祉学部 | 看護学科 | 357.6 | 291.5 | 317.4 | 463.3 | 356.9 | 392.3 |
| | 社会福祉学科 | 298.1 | 233.5 | 261.1 | 343.6 | 313.2 | 326.3 |

■学部(学科)により満点が異なります。
※前期日程：経済学部、看護福祉学部看護学科500点満点。生物資源学部創造農学科600点満点。
他の学部(学科)400点満点。
※後期日程：経済学部、海洋生物資源学部、看護福祉学部看護学科600点満点。
他の学科500点満点。

## ▷ 入試日程（令和６年度入学者選抜）

| 区分 | | 出願期間 | 試験日 |
|---|---|---|---|
| 一般選抜 | 前期日程 | R6.1.22(月)～R6.1.31(水) | R6.2.25(日) |
| | 後期日程 | | R6.3.12(火) |
| 学校推薦型選抜 | | R5.11.1(水)～R5.11.9(木) | R5.11.18(土) |
| 総合型選抜 | | R5.10.2(月)～R5.10.10(火) | R5.11.19(日) |
| 特別選抜 | 帰国生徒<br>中国引揚者等生徒<br>社会人<br>私費外国人留学生 | R5.11.1(水)～R5.11.9(木) | R5.11.18(土) |

※日程は令和５年５月現在の予定です。
変更される場合がありますので、本学HPでご確認ください。


▷ 入試に関するお問合せ
福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
0776-61-6000　0776-61-6012　nyusi@fpu.ac.jp


＼入試情報はこちらから！／

# 大学DATA

## ▷ 学部学生数（令和５年５月１日現在）

| 学部・学科 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 経済学科 | 108（47） | 118（45） | 104（44） | 118（39） | 448（175） |
| 経営学科 | 115（57） | 113（52） | 107（61） | 120（60） | 455（230） |
| 経済学部計 | 223（104） | 231（97） | 211（105） | 238（99） | 903（405） |
| 生物資源学科 | 51（32） | 48（21） | 53（25） | 44（15） | 196（93） |
| 創造農学科 | 25（11） | 28（20） | 33（17） | 30（17） | 116（65） |
| 生物資源学部計 | 76（43） | 76（41） | 86（42） | 74（32） | 312（158） |
| 海洋生物資源学科 | 53（16） | 53（18） | 48（10） | 56（8） | 210（52） |
| 先端増養殖科学科 | 31（6） | 30（4） | | | 61（10） |
| 海洋生物資源学部計 | 84（22） | 83（22） | 48（10） | 56（8） | 271（62） |
| 看護学科 | 55（50） | 54（49） | 54（50） | 61（55） | 224（204） |
| 社会福祉学科 | 31（26） | 33（31） | 33（30） | 32（24） | 129（111） |
| 看護福祉学部計 | 86（76） | 87（80） | 87（80） | 93（79） | 353（315） |
| 全学部計 | 469（245） | 477（240） | 432（237） | 461（218） | 1,839（940） |

※（　）は女子人数

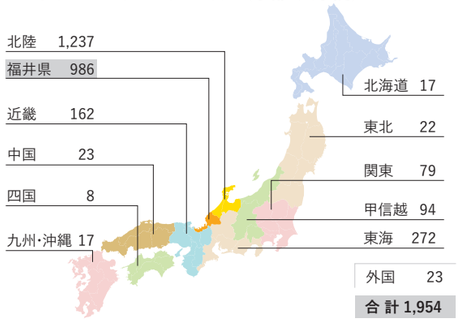
## ▷ 大学院学生数（令和５年５月１日現在）

| 博士前期課程・修士課程 | | 1年 | 2年 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 経済・経営学研究科 | 地域・国際経済政策専攻 | 3（0） | 3（1） | 6（1） |
| | 経営学専攻 | 8（3） | 9（6） | 17（9） |
| 生物資源学研究科 | 生物資源学専攻 | 12（5） | 23（7） | 35（12） |
| | 海洋生物資源学専攻 | 14（7） | 7（1） | 21（8） |
| 看護福祉学研究科 | 看護学専攻 | 0（0） | 5（3） | 5（3） |
| | 社会福祉学専攻 | 4（3） | 9（3） | 13（6） |
| 合　計 | | 41（18） | 56（21） | 97（39） |

| 博士後期課程 | | 1年 | 2年 | 3年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 経済・経営学研究科 | 経済研究専攻 | 1（0） | 1（1） | 3（1） | 5（2） |
| 生物資源学研究科 | 生物資源学専攻 | 1（0） | | 4（1） | 5（1） |
| | 海洋生物資源学専攻 | | 3（1） | | 3（1） |
| 健康生活科学研究科 | 健康生活科学専攻 | 5（4） | | | 5（4） |
| 合　計 | | 7（4） | 4（2） | 7（2） | 18（8） |

※（　）は女子人数

## ▷ 出身地域別学生数（学部・大学院）




## ▷ 専任教員数（令和５年５月１日現在）

| 学　部　等 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学長・副学長 | 3 | | | | | 3 |
| 経済学部／経済・経営学研究科 | | 17 | 12 | | 2 | 31 |
| 生物資源学部／生物資源学研究科 | | 15 | 12 | 2 | 2 | 31 |
| 海洋生物資源学部／生物資源学研究科 | | 15 | 14 | | 1 | 30 |
| 看護福祉学部／看護福祉学研究科<br>健康生活科学研究科 | | 22 | 11 | 1 | 12 | 46 |
| 学術教養センター | | 12 | 8 | 1 | | 21 |
| 情報センター | | | 3 | | | 3 |
| 地域経済研究所 | | 2 | 1 | | | 3 |
| 恐竜学研究所 | | 2 | 1 | | 2 | 5 |
| キャリアセンター | | | 1 | | | 1 |
| 計 | 3 | 85 | 63 | 4 | 19 | 174 |

［発行］公立大学法人 福井県立大学　令和５（2023）年５月

# ACCESS MAP

### 永平寺キャンパス
〒910-1195
福井県永平寺町
松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-61-6000（代）
FAX 0776-61-6011

〈京福バス〉
JR福井駅西口バスターミナル
大学病院線「県立大学」下車
（所要時間約40分）
〈乗用車〉
JR福井駅より約20分
北陸自動車道 福井北I.C.より約10分

### あわらキャンパス
〒910-4103
福井県あわら市二面88-1
TEL 0776-77-1443（代）
FAX 0776-77-1448

〈乗用車〉
永平寺キャンパスより約40分
北陸自動車道 金津I.C.より約15分

### 小浜キャンパス
〒917-0003
福井県小浜市学園町1-1
TEL 0770-52-6300（代）
FAX 0770-52-6003

〈コミュニティバス〉
JR小浜駅よりバス
（あいあいバス）で約10分
「西津公民館前」下車徒歩15分
〈乗用車〉
JR小浜駅より約10分
舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約5分

### かつみキャンパス
〒917-0116
福井県小浜市堅海49-8-2
TEL 0770-52-7305（代）
FAX 0770-52-7306

〈コミュニティバス〉
JR小浜駅よりバス
（あいあいバス）で約20分
「堅海」下車
〈乗用車〉
小浜キャンパスより約15分
舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約20分